

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-44)、
廃棄物管理施設(20)、MOX燃料加工施設(2-14))」
2. 日時：令和5年3月22日(水) 10時00分～12時10分
13時30分～18時50分
3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
核燃料施設審査部門
(原子力規制部新基準適合性審査チーム)
古作企画調査官、大橋上席安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任
安全審査官、羽場崎主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審
査官、上出安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、
清水係員
日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他19名
中部電力株式会社 原子力本部 原子燃料サイクル部
サイクル戦略グループ 課長
九州電力株式会社 原子力発電本部 原子燃料サイクルグループ 副長
三菱重工業株式会社 原子力セグメント
機器設計部 プラント機器設計課 主任技師 他1名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. その他
提出資料
「コメントに対する対応方針(共通12)」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年
12月26日)

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）

「日本原燃（株）から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和5年2月17日

「日本原燃（株）再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

・ 令和5年3月20日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	どこから来ました。
0:00:03	それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日と、令和5年2月28日に申請があったフィスコに申請について、
0:00:16	資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになりますとまず規制庁側の出席者を紹介いたしますと本庁会議室からコサクタカナシ。
0:00:26	タジリフジワラシミズ。
0:00:29	その他WEBからハバサキ、カミデ、大賀オオハシ、キシノ、セトガワ、
0:00:39	はい。あと以上になります。それで、日本原燃の方からの出席者の紹介とそれぞれの役割について、役割についてと、
0:00:50	あと本日のヒアリングの議題の構成の説明をお願いします。
0:00:58	はい日本原燃の藤尾です。日本原燃側の出席者ですが、まず、本日のヒアリングですがスケジュール関係ですね先週の月曜日に提示させていただいたものの説明と、そのあと引き続いて、
0:01:11	介護医療関係の説明をさせていただきたいなと考えています。
0:01:15	原燃側の出席者ですが、事務局ですね、再処理側として、サトウ、
0:01:21	セガワ、
0:01:23	タナカ
0:01:25	フジノ。
0:01:26	それからMOXがわーはイシハラ。
0:01:30	のみとなってます。それからスケジュール関係ですが、耐震関係でトガシムラカミホシノ。
0:01:38	それから共通12関係ですね、シミズハラダ。
0:01:42	タナカエビナ。
0:01:44	あと一声関係で篠崎。
0:01:46	それからSA関係でホリグチ。
0:01:48	なってます。それから会合資料ですね。今のメンバーに加えて、申請書不備の関係でズスキ、藤で、ツジモトですね、が追加になります。
0:02:00	よろしければ、まずスケジュールの説明の方からさせていただきたいと思います。

0:02:08	資料ですが、資金の対応スケジュール等ですね、あといつも出してございます設工認に係る資料提出及びヒアリングスケジュールということで、3月20日に提出したスケジュールになってございます。
0:02:20	いつも通り順番に上からご説明させていただきますが、
0:02:24	まずナンバー1から4の会合資料関係ですね資金の対応スケジュール本日、この後ヒアリングやりまして、本日の指摘事項を踏まえて、対応したものを24、
0:02:35	提出というような予定で積みたいと思っています。ヒアリングの状況によってこちらは別途ヒアリングの中でご説明させていただければと考えています。
0:02:45	それから5番から7番の目次の補足説明資料関係ですね。
0:02:49	こちらは今日ちょっと共通08の2番ですね、再提出させていただいておりますが、こちら合わせさせていただいて、一応本日ヒアリングとなっておりますが、これイシハラの方ともちょっと話しまして、ヒアリングは別途、
0:03:03	ちょっと設定させていただきたいなというふうに考えておりますので事務局の方と調整させていただきたいなと思っています。
0:03:12	よろしければ共通中に関係ですね、スケジュールちょっと説明したいと思います。
0:03:23	はい。日本原燃清水です。共通12関係につきましては荒谷ナンバー9番ということで、コメントに対する対応方針というものを、すいません遅くなりましたけども本日、22日朝、提出させていただきまして、
0:03:37	ここの説明の中に、
0:03:39	コメントリストと、今回の提出させていただいてる資料の内容をあわせてご説明させていただきたいと思っています。
0:03:47	スケジュールに合わせ点としては、ナンバー16ですね、重大事故の類型分類の説明ですけども資料としては20日に提出させていただいておりましてその内容を、本日午後の部屋の中でご説明させていただきたいと思っています。
0:04:02	一方通常のスケジュールとしては、
0:04:08	はい。まず共通循環系までで一旦切りたいと思いますがよろしいでしょうか。

0:04:14	すいませんコサクです先ほど石原さんと相談でって言ったのぬ、ごめんなさい何の話でした。
0:04:23	供給 8-2 です。
0:04:26	今回いろいろと情報特に P P 数字関係も大分情報を付加しましたんでちょっと時間をおいた方がいいかなと思った次第でした。
0:04:41	古作です。
0:04:45	8 課に提出されている資料があって、
0:04:51	その資料確認の時間が必要じゃないかっていうことですかね。
0:04:57	はい。二本木西原でございます。はい。先にこっちで推測してしまって恐縮 1 日だったかに、
0:05:03	時間としては十分じゃないかなと思ってます。
0:05:10	古作です。まず、
0:05:13	ちょっと見てないから
0:05:15	何とも言いづらいんですけど、
0:05:19	あれ、記録ないな。
0:05:21	話をした方が早いというものもあるような気はしていて、
0:05:32	と P P S G 関係っていう意味だ等、資料を見るより話した方がいいような気がするんです。
0:05:43	詳細詰めていて見ていかないとというのは時間をおいた方がいいと思うんですけど。
0:05:49	共通 08 って何が。
0:05:54	問題というか、対応しなきゃいけないことなんでしたっけ。
0:06:02	はい。三宅西田でございます。はい。
0:06:05	今回大きく達したところ二つありまして、添付 13 ということで構造説明の部分の、
0:06:13	関係の整理の話、拡充をしたということと、
0:06:17	添付 14 ということで P P S 時関係で今回の申請対象設備に関係する部分
0:06:25	A p p 設備広くあたってますので全体の配置を示しながらどういうものが近傍にいるのかというようなことの配置の説明であったり設計上考慮すべき事項が何かということの整理をしています。

0:06:37	おっしゃっていただいたように整理としての進め方がこれで、何ていうかここが全然ずれてないかということの確認は、早めにやった方がいいよという気はします。ただ中身として、
0:06:48	実際上に乗かって設備の構造の説明であったり、そのリンク、それぞれの影響確認の結果であったりというところは時間を置いてやった方がいいかなというところでもございました。
0:07:01	はい。補足です。
0:07:04	そうだ。そうしないとちょっと。
0:07:08	混乱しそうだなっていう気がしてですね、そもそもこの共通 08 って、
0:07:14	元の共通 08 とどういう関係になってて、
0:07:19	書類としてどうなんだろうっていうのをもうちょっと、私自身、
0:07:23	迷子になっていてですね。
0:07:26	そういうところを踏まえてどうしていくのかは話をしたいので、
0:07:33	今日、話ができる時間が残るのかどうかわかりませんが、
0:07:41	いずれにしてもあれですよ。介護資料との関係でも共通 12 とのセットものの感じで、
0:07:48	話は必要なんですよね。
0:07:53	はい、日本イシハラでございますはい添付 13 のところで構造説明しますが最初の共通 12 と同じように進めないといけないので、正しく
0:08:03	どうやってこの設計方針を抽出したのかという部分の考え方はまだ書き切れてません。そこが正しく追加をしないといけないところだと思っています。
0:08:13	基本的には基本設計方針添付書類の関係についてはMOXについてはって言い方がいいのかどうかあれですけど、設備が少ないので別紙の中で全部の設備を、固有名詞で紐付けをしているので、
0:08:28	どの設備がどの設計方針と絡んでるかっていうのは、その中で整理ができています。そこをキックにして前回共通 12 で再処理があったように、
0:08:38	有給種別からの紐付けをして比較の整理をして、必要なものを抽出してくると、いうことをやった結果として今載せてるんですが、その考え方がまだ書き切れてないというところはあると思っています。

0:08:49	そういうところが正しく入口としてお話をしないといけないかなと。各審査会合の資料の中でもそこは説明しないといけないかなと思ってたところでした。
0:08:59	はい。
0:09:02	今の石原さんの考えだと共通 08 を太らせる方向なんですけど、太らせて他の資料とダブらせて何の意味があるんだらうっていうのが私の疑問なので、
0:09:12	そういったところも含めてちょっと午後なのか、
0:09:17	ヒアリングと時間をとって、詳細はまた別途っていう形に進めていければと思いますけど、よろしいですか。
0:09:26	はい。二本木西田でございます。はい。承知いたしました。
0:09:34	コサクです共通中にも午後ヒアリングということで、先ほど話ありましたので、
0:09:40	その中でまたどう進めるべきかっていう話になろうかと思えますからその場での方がいいかなと思ってます。
0:09:57	はい。日本原燃藤です。了解しました。
0:09:59	よろしければ、次ナンバー18 から 21 の耐震関係ですね、これカミデさんからしご指摘いただいたように、4 列ですね地盤建物、労働機器配管系ということで、
0:10:12	仕分けをしまして、大きい話だけをこっちの資金の対応スケジュールの方に今載せております。
0:10:19	細かいスケジュールはですね、
0:10:22	協会スケジュールの方に減配すると、というような形で所修正いたしました。
0:10:28	それから金融課からの変更点のところはですね耐震建物 01 に統合するような形で今それぞれ準備を進めたいな、進めたいと思い
0:10:37	対応しているところでございます。
0:10:41	耐震関係は以上になります。
0:10:48	古瀬町カミデですけど、
0:10:52	耐震建物 01 こんなふうにまとめていきますっていう話を、
0:10:57	いつするんでしたっけ。
0:11:02	はい、日本吉田でございます。はい。そこについてはすいません今日やりたかったんですけど、こちら、

0:11:09	指示は金曜日にして、イメージも伝えてるんですけど資料が今日お出しをした明日の朝の
0:11:16	パラミーティングでさせていただければと思います。
0:11:21	はい。規制庁上出です。わかりましたけど、なんで最初にそういう説明してくれないんですかね。
0:11:32	日本の日ですいませんちょっと私の方でそこ、体験をかけていたと思います。申し訳ありません。
0:11:39	すいませんコサクですけど、対応かけていたっていう結果だけ言ってもしょうがなくて、なんでかけたんだって聞いているんだと思いますよ。
0:11:47	はい。二本木の分ですちょっと金曜日なかったり月曜日ちょっと世帯のものが多かったりして、私ちょっと情報をピックアップしきれしきれなかったってところが原因だと思います。
0:11:58	コサクですだとしたらしゃべらないでください。
0:12:01	↑は理解してる人がしゃべるっていうのがヒアリングの基本ですよ。
0:12:08	はい。すいません。了解しました。
0:12:15	藤規制庁カミデです。
0:12:17	あとですね、
0:12:21	01はそれで話をしているって、あと、地盤モデルの方が、
0:12:30	今、次の会合だと4グループ分先行で、こんな今途中経過ですっていう話を聞いてく。
0:12:39	ことになっていて、
0:12:40	それ以外は、3月いっぱいには結果を出してみたいな話を、ヒアリングで聞いてたんですが、
0:12:49	詳細版のスケジュールを見ていっても、08が耐震建物08、出てくるのが、4月の14。
0:13:00	ていうことになっていてこのタイムラグなり、は何なんだろうなと思ってるんですけど1ヶ月間、
0:13:11	はい、米田星でございます。昨日先日のヒアリングの際に現状の説明のところで、3月末という話をさせていただいております。こちらの方、解析結果が出てきますと3月末になっておりましてそれから資料の取りまとめ等々ですね当間。

0:13:27	その分析の内容というところを記述していくというところがございまして今現状の資料としましては4月の2週目というような形の方で置かさせていただいてというような状況でございます。
0:13:41	藤規制庁蟹江です。
0:13:44	4月の会合で、
0:13:47	一定程度結論、
0:13:49	なり、しっかり議論したいってことなんですよね事業者としては、
0:13:57	第二部の小橋でございます。先日の会合で申し出しいただいた通りで、
0:14:04	そういうそこを少し目指しているところなんですけども今進捗状況を考えて、今、3月の中旬ぐらいといったところが補足説明資料として取りまとめてお話しませんコサクです。
0:14:17	富樫さんもいい加減そういう説明の仕方やめましょうよ。
0:14:22	事実だけ言えばいいっていうんじゃないんで方針どうすんだっていう話を聞いてて、
0:14:26	だったら審査会合伸ばすんですか。
0:14:29	だとしたら今回の会合のときにちゃんとそういう旨で説明しないと駄目ですよ。
0:14:35	どういうつもりで作業してるんですか。
0:14:43	はい梅干でございます。おっしゃる通りで4月、
0:14:48	末といったところを今目指して作業の方を進めているところになってございます。ちょっとこの進捗状況のところに関しましては少し作業を
0:14:59	早めるような形の方で対応していきたいというふうに思っております。コサクですすいません4月末って言ってますけど我々会合は24日で予定してるんですよ。
0:15:23	はい。与儀内藤氏でございます。
0:15:29	24日というお話がございましたので、ちょっとこの部分4月の会合の中でどこまでっていったところはちょっと再度少し社内の中でちょっと議論させていただいて、ご回答したいというふうに、
0:15:51	と規制庁カミデ議論の結果というのは、端数のアサカイとかでも聞けるぐらいのスピード感で話をしてもらえますか。
0:16:03	はい。米川でございます。ちょっと持ち帰り社内の方で、マウスの総会の場でご説明できるよう、私の方で調整していきたいというふうに思います。以上です。

0:16:12	はい。規制庁神です。現状4月で一通り説明するってということで今月の会合の資料作ってるでしょうから、それを後倒すようなことがあるんだと。
0:16:22	介護支援もこんなふうに変えていきますという話も含めて明日話が出るような話をしてください。
0:16:30	24で議論をするっていう意味だと、1週間早めても、
0:16:38	論点が大きい。
0:16:41	ものなので、1週間はやめれば大丈夫ですよっていう。
0:16:46	ものでもないなので、なるべく早めになっていうこと。
0:16:49	ですけど検討ください。よろしくお願いします。
0:16:55	はい。日本人側でございます。了解しました。
0:16:59	はい。規制庁紙ベース、とりあえず私の方からは以上です。
0:17:07	規制庁清水です。他耐震関係について規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:17:15	よろしければ原燃が続いて説明をお願いします。
0:17:22	はい。日本原燃の篠崎でございます。スケジュールの22行目から、溢水薬品のスケジュールについて、と修正して参りました。
0:17:31	4月の審査会合で、1ポツ或いは2-1を説明するに向けてですね、
0:17:40	はい。大まかな議事録書いてございます。今コメントに対する対応方針使ってやらせていただいておりますけども、そのうち、いわゆる基本設計方針の前提になるような項目、こういったところにつきましては、
0:17:53	しっかりと3月の末から4月の頭にかけて、全部方針を確定させた上で、
0:17:58	基本設計方針の方にフィードバックして、4月の頭には押し込みしたいと思ってございます。
0:18:04	また、2-1につきましても、採用する溢水対策設備、登場人物どれだということと、それに対する設計要求というところは、こちらもコメント対応方針を使いまして、
0:18:16	4月7日までにしっかり
0:18:20	方針方を固めさせていただいた上で、共通12の議論、竜巻、今例で共通にいろいろやってございますけれども、

0:18:29	それと一部並行してという形になりますが、マニュアルために4月の頭からですね、こういった説明ができるかというところ、共通12側とも調整しながら、お示ししていきたいと考えているところでございます。
0:18:40	資金のところでは、先週金曜日に資料提出させていただきましたので、衛藤。
0:18:47	星野金曜日にヒアリングをさせていただきたい。また金曜日に、次のヒアリングに向けた資料の方も提出させていただきたいというふうに考えてるところでした。
0:18:58	はい。説明以上です。
0:19:02	はい。規制庁志水です。
0:19:06	説明あったように1ポツ、設計状況及び他判断基準っていうところも、レメディ急に3月11月頭で説明したいっていうことだったと思うんですけど。
0:19:19	そのコメントリストに出てくるような内容でも特に設計条件に関わるような内容で、
0:19:26	機能としてSAの
0:19:28	話があったと思うんですけども、それ。
0:19:31	確かその以前の話だとSA側でしっかりどういう条件を引き落とすのかっていうのを整理したより溢水側に引き渡して水がれ説明するっていう方針だったと思いますが、
0:19:44	その辺りの、
0:19:46	スケジュール感というか、
0:19:49	どうなってますでしょうか。
0:19:57	はい。日本原燃の堀口です今、
0:19:59	次の重大事故のところのスケジュールでちょっと触れようと思ったんですけど十時17の中で、どこで、
0:20:06	溢水に、
0:20:07	繋がってそれでどこでSA側ではっきりか、引き渡すかってところを、パこうと思ってましてちょっと先走ってしまうと十時10名の
0:20:16	蒸発乾固のところ、今日提出っていうところが、その溢水の部分をまだ書ききれてなくて、明日の午前中に出せるようにスケジュールを
0:20:25	調整したいというところを、次のところで説明しようと思ってました。
0:20:30	以上です。

0:20:33	はい。
0:20:36	十字のところで説明しようとしていたってところで、
0:20:41	古作です。
0:20:44	今日提出予定というものがまだ今作業中というふうに言われたと思うんですけど、
0:20:51	まだ作業中内部レビューとかどう進むのかなって甚だ疑問ではありますけど。
0:21:00	やって出されるんでしようというところそのヒアリングは金曜日ってなってますけど、
0:21:09	筒井の方は、金曜日にまたヒアリング入れつつ資料も提示するとなつて、
0:21:18	その
0:21:20	ヒアリングと資料提示同日ってやってるのとか、今のS Aを入れ込むとかってものの全体の流れがよくわかんないんでもう一度説明していただけます。
0:21:33	はい。藤。日本原燃柴崎でございます。
0:21:36	今S Aの部分につきましては先ほど言ったようにS A条文側では1017でしっかり決めて我々はさ、引き渡されて、それを1セガワの展開ということでそれは1が説明しないっていうふうには認識してございます。
0:21:49	S Aの議論を待たずしてですね、またずしてといいますか資料の方を規制庁に提出させていただきましたら、
0:21:57	それをベースに、当然市側でも作業の方は開始して資料としてまとめて、しかるべきタイミングで出させていただきたいと思ってございました。
0:22:06	は、ごめんなさいコサクです。しかるべきってなんです。
0:22:12	はい、日本原燃篠崎です。すいません明確に言いますと1ポツの議論がちゃんと4月の頭に終わるように、それまでに、ヒアリングを設定させていただきまして、
0:22:23	ますので、それから逆算して、
0:22:27	アピールですよ。逆算してる結果がこの資金の
0:22:31	対応スケジュールなんだと思うんですけどどこで書いてるつもりなんですか。
0:22:45	はい。衛藤篠崎でございます。今ですと、3月の31に、

0:22:52	四角を振ってございますけども、
0:22:56	はい、えっと、
0:22:57	ここでの提出を考えてございました。
0:23:02	コサクですけど、
0:23:04	今日資料重大事故の方では資料展示ができるのに、
0:23:08	溢水の方では添 31 までかかるっていうのはなぜですか。
0:23:20	はい。日本原燃篠崎でございます。すいません。
0:23:24	S A 側から、
0:23:28	渡されて
0:23:29	それセガワ出ても無時間を入れて、
0:23:32	1 週間ぐらい、
0:23:34	リードタイムをとってございましたけども、ちょっと中身を見て、早めるものは早めたいと思います。
0:23:42	古作です。なんかすごいよくわかんないんですけど皆さんの作業も、我々の説明と同じように、順々にしかやることができなくて、
0:23:53	送られてきた後困りますと言ってフィードバックをかけるということもされずに我々に提示をしようっていうことですか。
0:24:12	コサクですけど、これまでのヒアリングで、その縦割りでやってるから、溢水の人には S A のこと聞いても答えてくれない。
0:24:21	衛星の人に聞いたら被水のことは知らない。
0:24:25	ということそなんだろう。
0:24:28	設計できるんですかっていう感じの話をしていて、それをつなぐべく、ちゃんと情報整理をお互いにして、
0:24:36	情報共有をしてと言っていたはずですけどまだ共有できてないってことです。
0:24:42	そんなところでの資料提示を受けても、我々としてコメントする立場にないような気がするんですけど。
0:25:01	コサクですねじゃないからちょっと重ねますけど、何のために体育館集まったんですか。
0:25:07	やめたらいいんじゃないですか。
0:25:12	はい。日本原燃篠崎でございます。
0:25:15	もちろん資料提示前に、S A 側と打ち合わせる、セッティングはしていたんですけども、ちょっとそれは明日ということで、

0:25:24	そういう意味では全然
0:25:26	遅いなというふうに認識
0:25:30	古作です。そうですね、今日資料提示と言っておきながらなぜ明日の打ち合わせにするのか。
0:25:36	意味が私にはわかりませんが、
0:25:40	どう進めます。
0:25:54	古作です。ちょっとよくわかんないようですから、影響し、十時 17 で出そうとしていたものを溢水側の人は見て、
0:26:03	それを踏まえてどう進められるかというのをお互い議論して、
0:26:09	午後、
0:26:12	悪い。
0:26:14	今日は、
0:26:15	S E 関係とかのヒアリングはあるんでしょうか。
0:26:18	それはないんですね。共通事業共通中に、
0:26:23	共通 12 のヒアリングのところでちょっとどう、どういう方向性かっていうのを言っていたとかでもいいですか。
0:26:34	はい。日本原燃篠木でございます。S A 側と地球その辺認識合わせて、どのように進めていくか、今後、説明できるように準備します。
0:26:44	はい。コサクですお願いします。
0:26:50	規制庁清水です。はい。医師薬品関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:26:59	後よろしければ、続いて原燃側説明お願いします。
0:27:06	はい。日本原燃の堀口ですって続いて、
0:27:09	S A の説明をいたします。今、38 行目からなんですけど 8 号取り込みに関しては社内のレビューを終えてそれで今、
0:27:19	資料の修正作業を行っておりますので今日提示できるよう今対応をそれぞれ進めているところでした。
0:27:28	今日提出予定なのが、詳細スケジュールの方にも、今日提出の部分、明日明後日提出済みということで比較を行ってるんですけどパン粉水室を、
0:27:38	プールを、この 2038 行目に関しては、あと通信を出そうと思っております。そして順次、
0:27:47	大塩布施水を、厚ないしあさって提出する予定です。

0:27:51	39 行目の十時 17 に関しまして
0:27:55	ちょっと、
0:27:56	要は資料まだでき上がってないセガワの方と話をしながら広告をした方がいいんじゃないかした方がいいんじゃないかっていうところを話をしながら作成しているところでちょっとまだ、
0:28:06	一部その溢水の取り込みの部分ができないところがあったのでちょっと明日提出できるよう今頑張っているところですのでちょっと今日提出は、できないということで、申し訳ありません、明日、
0:28:18	早い段階で出せるようにいたします。
0:28:21	そしてその
0:28:23	41 行目の 8 号取り込みの残りの条文に関して今日、委員会と T B P を出せるよう、
0:28:32	レビューを受けたコメントの反映をして出す予定ですがこの条文もレビューが終わってましてそれで、
0:28:37	明日明後日提出できるよう今対応をしてるところでした。
0:28:43	はい。
0:28:45	あとは十時中断の他条文は来週提出できるよう、現在動いて動き始めてるところです。説明は以上です。
0:28:58	規制庁高橋です。まず、すいません、今さ、39 行目が今日から明日に予定が変わったということですがそれ以降のスケジュールに関してはちょっと今のところ、明日そのままという。
0:29:09	お考えでよろしいでしょうか。
0:29:13	はい。日本原燃の堀口ですはい。来週、今日みたい明日だし、資料をもとにまず、
0:29:21	来週か、以下出さないと駄目だなと思ってるので来週中に出せるように今、スケジュールを変えず変えない予定です。以上です。
0:29:29	はい、規制庁タカナシでそれをちょっと踏まえてなんですが、その 40 行目と 42 行目が、来週中のどっかで提出ってということで米印ついていて、
0:29:42	24 日金曜日ヒアリング者名は分は必ずしも反映してないのでというのは、それ、あると思うんですがただこれ 1 週間枠を提出の範囲をとっているんですが、

0:29:52	前半の方で確かにまず、その部分はせずに、出せるもの出すっていうのがあるのかもしれませんが、後半の方についても基本的にそれを反映しないまま出すっていう考え方なんでしょうか。
0:30:09	はい。日本原燃の堀口ですちょっと、
0:30:13	今のコメントの中で、僕、椎名日本原電ホリグチ一周 27 の週で、出そうとしていて繰り返し込めた範囲とかで出すのではなく 1 回出したっていうところでこの種のどこかでって考えてました。
0:30:28	規制庁、磯園部は理解してるんですが、要は 1 週間円を出してくるってことなんですが、前半の方で出せるのであれば、出すのであれば、その二次によるは必ずしも反映しきれないのでそこは口頭で補いますっていうのは、
0:30:43	理解できるんですけど、後半の方で出す場合でも、
0:30:47	その 24 日の分は反映しない形で出てくるっていう理解でいいのかっていう確認なんですけど、
0:30:52	あ、すみません日本原燃の堀口です。はい。その認識コメント反映してない番で、表紙のところに注意書きを書いて、
0:31:02	出す予定ですおそらく物量が多くて、コメントを全部開いた形で出すのが難しいと思ってますので、
0:31:11	ノーコメントは未来版で
0:31:15	説明をちゃんと書いた上で、提出して、ヒアリング、資料提出をしたいと考えてました。以上です。
0:31:23	はい。規制庁富樫です。だからその、今 4 月のところに売ってるとか、ヒアリング確認のところでは、その部分は口頭で説明して補うという理解でよろしいということでコサクです。
0:31:33	ちょっと上辺だけになっちゃってるので、原燃の方の実情等どう内容を確定していけるのかっていうことの考えを整理をしたいんですけど。
0:31:45	おそらくコメントがいっぱい出て対応していきなきゃいけない考えなきゃいけないということもあるだろうと。
0:31:52	ということ 24 日のヒアリングっていうのが、その上の、
0:32:01	39 行目っていうところなので、その反映をまずその資料の中で対応しますと。
0:32:09	というのが翌週の作業になってなるべくその週のうちに提出をしたいと。

0:32:15	ということになり、その作業で、方向性が固まっ、
0:32:22	ただ、
0:32:23	それをしっかりと反映すると。
0:32:26	並行して作業できるものはするんでしょうけど、確定としては、39行目の対応を踏まえてということで、次の、
0:32:37	週2、
0:32:40	312、39行目のヒアリングがあるんですかね。違うかその次。
0:32:46	次の人に合ってるのか。
0:32:50	てなると、何かマーキングが後ろ倒しの分が足りないような気がするんですけど。
0:32:57	どうなってます。
0:33:00	はい。最初におっしゃられたように、蒸発乾固の39行目に関しては、明後日の金曜日にヒアリングしてそのコメントのファイバーに関して翌週出しまして4月の1週でヒアリングを、
0:33:15	したいと考えております。
0:33:20	9行目になりますそれで、40行目以降の丹45メーターの42行目の観光以外の部分に関しては、明日提出する分をもとに、資料で
0:33:32	させて、しましてそれで24日の
0:33:37	本
0:33:38	と、
0:33:40	はい。
0:33:48	はい。24日の日観光のヒアリングを受けて資料はちょっと直せないんですけどその部分は、一応、あんだけ。なるほど。
0:34:00	SURCで、口頭補足させていただきながらここをこういうふうに修正するといったところで説明をさせていただきたいと考えてます。3月の最後の週の資料提出に関しては、24日の蒸発を見ませんコサクで進めさせていただきたいと考えており、
0:34:14	はい、古作ですごめんなさい、ちょっと。
0:34:17	篠崎さんと同じような状況で、
0:34:19	或いはと。
0:34:21	富樫さんとも同じような状況で、書いてあることをリポートしても意味がなくて、
0:34:27	私は3月最終週の話してんじゃなくて4月第1週の話で、

0:34:31	しているつもりなんですけど、第1週或いは第2週ですね。
0:34:37	いつ、
0:34:39	39行目のやつが確定し、時系列に合わせて、それ以降の業務のやつが進むんですかと。
0:34:49	いう時に、
0:34:50	第2週でまとめて出しますってなってますけど、これまとめてセットできるというところまで詰め切れるんですか。
0:35:01	という集め切れると思って作ってるってことでいいんですね。
0:35:09	はい。日本原燃の堀切主査のコメントいただいた分を反映し切って出せるというふうに考えて今、4月の2週のところに四角を置いてました。
0:35:19	以上です。
0:35:21	はい。補足です。
0:35:24	結構先週のヒアリングでも感じていただけてると思いますけど、
0:35:30	順次10名の相当問題があって、てこ入れをしていかないと全然まとまらないぞっていう状況だと思ってます。
0:35:39	なので
0:35:43	本当かなっていう。
0:35:45	感じでしかなくて今の皆さんの思ってるイメージと多分がらっと変わっさらに変わると思いますので心しておいてください。
0:35:56	はい日本原燃のホリグチですはい。ありました。
0:36:07	はい。規制庁清水です。改正関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:36:16	後よろしければ、続いて、ちょっと説明原燃側からお願いします。
0:36:24	はい日本原燃の藤です。あと最後40、No.45の申請書の不備についてはですね、本日、ヒアリングということで、ヒアリングの中で、状況というのをご説明させていただきたいと考えています。
0:36:36	スケジュールに関する説明としては非常にあります。
0:36:40	はい。
0:36:40	院長シミズですとスケジュールに関して全体通して規制庁は泊にございますでしょうか。
0:36:48	よろしければ、本日の朝のヒアリングでの説明項目は他と原燃側からありますでしょうか。
0:36:59	日本原燃の藤尾です。特に説明事項朝日藪はございません。

0:37:03	それで一旦振り返りの方をお願いします。
0:37:10	はい。振り返りの方は、フジノの方から代表でさせていただきます。過不足あれば、各条文で補足していただければと思います。
0:37:17	まず目標の共通 82 関係ですが、まずどういうものかという話をですね、共通 08 について本日、対象の共通事項の中にどの関係も踏まえて話をして、あと詳細な説明については別途、
0:37:30	説明すると、いような対応を考えていきたいというふうに考えています。
0:37:36	それから耐震関係ですね、志賀耐震建物 08G なんかがですね 4 月の中旬に資料提出というようなのが置かれているんですが、
0:37:46	今の 4 月の説明の状況というのを考えると、1 週間早めても、論点が大きいものであるのか、どういう状況になるのかということの原因が考えているのかということですね、本日、社内で議論させていただいて、
0:37:59	明日の朝のヒアリングの中で説明させていただきたいというふうに考えています。
0:38:05	あと説明についてはですね、ちゃんと把握している人が説明できるように、全部 1 出します。
0:38:12	それから次、筒井関係ですが、本日ですね、十時 17、それから
0:38:21	溢水ですね、こういったところを議論して共通順位等の
0:38:26	関係性というのを、今日の午後のヒアリングの中で、全体の方向性というのを説明するというので今日の午前中ですね、準備させていただきたいなと考えています。
0:38:37	それから最後 S A 関係ですが、スケジュール関係いろいろ話でしたが、十時 17 のスケジュールリングについては、原燃内、
0:38:47	10 年で考えていることとあと規制庁さん、描いてるイメージっていうのが大分違って、てこ入れが必要だというお話でしたので、ヒアリングなんかを踏まえてですね、スケジュールというようものを、
0:38:59	再度確認したり設定したりしていきたいと、いうふうに考えております。振り返り、簡単ですけど以上になります。
0:39:09	規制庁市民ですと全体を通してお菓子成長がからくりございますでしょうか。
0:39:18	よろしければこれで朝のヒアリングを終了しまして、あと続いて、と介護資料の、

0:39:27	ヒアリングに入りたいと思いますが原岩入れ替えしとかの時間が必要な現場の入れ替えとかの時間必要でしょうか。
0:39:42	はい。日本原電の藤尾です。はい。メンバーの方、そろいましたので、定年側としてはいつ始めても問題ないです。
0:39:50	はい、規制庁がメンバーそろってますので、
0:39:53	ヒアリング続けたいと思いますが原燃側出席者の追加とパ等があれば
0:40:00	紹介の方をお願いします。
0:40:04	はい。日本原燃側の出席者ですが、耐震関係の出席者で自分オガセを参加追加させてください。
0:40:11	それから申請書の不備でタガワ、こちらの追加させていただきたいというふうに考えています。追加になるメンバーは以上になります。
0:40:22	よろしければ、
0:40:24	それはいいんですか。よろしくをお願いします。
0:40:28	はい、よろしければ資料につきましては、再処理等廃棄物もですね、挿し設工認申請の対応状況についてということで、3月20日に提出した資料になってございます。
0:40:41	よろしければですね地盤、それから、再処理関係それからMOX関係、すいません、再処理関係の
0:40:49	設備のところそれから申請書の不備、そのあとMOXの話をさせていただければなというふうに考えています。
0:40:56	よろしければ地盤関係の説明から入りたいと思います。
0:41:01	アイホンの土橋でございます。地盤関係といたしましては先日のヒアリングを受けましてコーセーの方として、6ページ目以降のところ
0:41:11	見直しの方を実施してございます。本文事項のところ、これまで、今後説明する事項といったところは、うちの方に持ってきて対応してございます。
0:41:20	で、
0:41:21	具体的な部分といたしましては減水部分の評価の部分でございすけども、こちらのほう9ページ目の方に該当しますけども、その上で前回の資料といたしまして、5%減衰の方も期待効果の部分でございすけども、こちらの方ですけども、

0:41:35	この辺でちょっとございまして、こちらの方社内の方で議論いたしまして、今回感度解析してる部分といたしまして3%2%、こちらの方の二つ位を記載することとしてございます。
0:41:45	あと11ページ目の方に今後の対応といったところで酸素を設定しております。
0:41:51	あとは、1ページ目の方昨日
0:41:53	先ほどの朝倉の議論を踏まえてこの部分に関しましては本日社内の方で議論したものとしまして必要があればこの部分を少し見直しの方さしていただきたいというふうに思います。説明は以上でございます。
0:42:04	規制庁清水です。それでは耐震部分になります。
0:42:16	あと耐震盤について規制庁からか、確認ございましたらお願いします。
0:42:30	藤規制庁カミデですけど、
0:42:35	6ページ目の記載が、若干なお若干というか、コメントが反映されていて、なんですけど、
0:42:47	前回の会合で聞いたのはその①番中の0102、こうやりますと、これに対して、MOXのモデルの検討の、
0:43:00	考えを、
0:43:04	考慮しますと、というような話が、
0:43:06	前回あって要はMOXの条件と比較をしていきますと、
0:43:11	ということだったんですけど今回それが6ページで現れてないですよ。で、ちょっと、
0:43:19	表せて欲しいとは思うんですけど、まずそのモック数との比較。
0:43:25	ということでどういことを考えてこういう検討になってるのかっていうのをまず説明してもらっていいですか。
0:43:35	はい。日本原燃投資でございます。この部分の前回の部分の資料のところで少し目標部分のところを記載しておきながら、今回資料ちょっと反映しなかったのでもっと申し上げません。その上でMOX側の方の議論を踏まえたところといったところで、
0:43:49	やはり表層MOXの方の影響として表層の影響が大きかったといったところがあたりですね、そういう部分がございますので、その部分でのその違い減衰の取り扱いもそうでございますけどもその部分の各因子の中に、

0:44:02	この目標数との違いっていう部分に関して、大きな要素としてあったものは、その影響の因子等に取り組んでいるといったところがございましたのでその部分で今回着眼点としているその影響度の因子の中に、
0:44:16	木製の影響を踏まえた中での、今回、飲酒の方を抽出しているといったところが、は、現状私どもの方でこちら資料の方で表していると。
0:44:28	はい、規制庁カミデです。
0:44:33	あれですね平均地盤モデルっていうのが今回の工認の
0:44:37	第2回で使ってるモデル、直下が第1回のモデルっていうところが、
0:44:46	わかるように書いておけばいいのかなっていう気もしますけど。
0:44:54	鉄筋地盤モデルが、
0:44:57	今回の
0:45:00	モデルで、直下地盤モデルというのがMOXと同じような条件でやるものっていうことでまず事実関係として合ってますか。直下、もしかしたら違う可能性もあるんですけど、どうですか。
0:45:17	はい。日本原電通してございます。大きくとらえるとその直下といったところに考えてはMOXの考え方っていうところを踏襲してやっていくというふうには考えてございます。その中でモック数との、
0:45:31	中でのその影響の因子っていうところの比較検討として減衰の与え方であったりですね、あと表層の与え方といったところを、今回、各々ちゃんと要因分析を実施した上で、再処理で取り組むべき直下地盤の検討の方を実施していくという意味で、今我々としましてはちょっと地盤の
0:45:50	その影響の因子も踏まえて検討を実施しているといったところが現状のとらえ方でございます。
0:45:57	規制庁神です。聞いたかったのは、資料のイメージとして、平均地盤モデル。
0:46:04	にまず注記を打って、今回の申請のモデルですと、何かこれ全体の話をしていただきますけど、
0:46:11	直下地盤モデルっていうのは注記を振ってMOXと同じようなモデル、考え方でやったモデルですって付記できるかっていう話で、
0:46:24	原燃が今使ってる直下地盤モデルという言葉の意味が、その通りなのか実はちょっと違ってるのかと。
0:46:31	いうことを聞いてるんですけどどうですか。何か1ヶ月前も同じ話をした感じがしますが、

0:46:38	はい、日本へ移動してございます。現状としましてその直下地盤モデルに、注記のほう打って、MOX同じというふうに書いて、第1回と同じというふうに書いてしまうとちょっと語弊があるのかなというふうに思っております。
0:46:52	こちらの方のその直下の地盤モデルを設定するにあたってその各因子の影響度といったところがどの程度あるのかっていうのを今、
0:47:02	影響の分析を実施しているといったところがございましてその意味で、ある意味直下地盤モデルといったところが議会で設定するにあたって、どのように設定していくのかといったところを、今、
0:47:15	現状をまとめているというような作業だというふうに認識してございます。
0:47:20	はい。規制庁深見です。
0:47:23	安全に、もうコスト一緒っていうのはちょっとことバーの意味として正しくないっていうことを、
0:47:31	なんだと思いますけどそうなった場合に、前回会合で説明のあったもう区設工認の第1回申請における地盤モデルの検討に用いたものと同様の考え方っていうこと。
0:47:44	の通りやっていますよっていうのを今回の会合資料でどうやって示せますか。
0:47:55	規制庁コサクです。
0:47:57	富樫さん申し訳ないんだけど、
0:48:00	自分の説明が成り立ってると思ってしゃべってます今、
0:48:13	はい日本原燃富樫でございます。
0:48:17	そうですね
0:48:20	前回付記している内容と、今私どもがやっている内容といったところが、
0:48:29	この特化の設定にあたっての影響の分析を今実施しているといったようなフェーズだというふうに思っております、そのを踏まえて最終的に直下地盤モデルとしてこういう設定をしていくんだといったところを今後説明していく段階の、今、
0:48:46	その前段階のところを今整理しているという認識しております、前回の会合で書いているその最終的なその直下地盤としての設定といったと

	ころに関しては、次回以降説明するものというふうに思っているというのが、
0:48:59	ちょっと私の説明したちゅうことでございます。
0:49:02	コサクですけど、
0:49:06	何を考えてるか時実情はわかってはいる。
0:49:11	カミデもわかってはいるんですけど、
0:49:13	資料でそういうことが全然見えないから、何で見えなくなってるのかというときに、何かよからぬこと考えてないかということ、
0:49:23	こちらは邪気してしまって、
0:49:27	一つ一つ確認しなきゃいけない状態になってると。
0:49:31	ということで、そういう状況だと認識していただけるのであれば、それに応じて、一つ一つ丁寧に説明してもらうのが普通だと思うんですけど。
0:49:43	相変わらず記載してる程度のことでしかしゃべっていただけないというので、
0:49:47	話ができないと。
0:49:49	いう状況なんです。
0:49:51	まずは、そもそも6ページの説明方針っていうところは、前回会合で示した方針に基づいてやっていきますと。
0:50:02	ただ、書いてあるだけのように見えて内容が変わってるから今カミデが話をしてるんですけどこれ意図的ですよ。
0:50:22	においで飛ばしてございます。
0:50:26	そこまですいません、意図的に何かを変えてるっていう、すいません認識はございませんでしたあくまでも前回会合の中で、直下地盤モデルの設定にあたっては各影響因子といったところをしっかりと分析した上で、
0:50:42	評価すいませんしていくと言った笠間はい。
0:50:46	同じこと何度も繰り返さないでください。
0:50:49	やってることはわかってますから。
0:50:51	じゃあ何で書き方変えたんですか。
0:50:56	変えるからこういう議論があるんですよ。無駄な時間使わせないでくださいよ。
0:51:25	はい、日本への投資でございます。

0:51:36	一番と2番に関しましては前回の会合の内容を記載させていただきます。コサクです。違うから言ってる。はい。もう話にならないからやめましよう。
0:51:48	戸川さん以外の方でしゃべる人います。
0:52:05	いないなら、この場で、はい。いらっしゃるんだったらどうぞ。
0:52:13	すいません日本原燃のオガセでございます。前回2月の会合の際にはこちらに書いている①②に加えまして先ほどおっしゃっていただいたようなMOXの、
0:52:23	検討と同様の考えを用いるとかグルーピングを用いるというようなお話を書いていたにもかかわらず、今回の6ページに、その付近のところを書いていなかったというところありますので、ありますがそこについては現状トータルの説明方針として第2月の会合で説明したのから変わりませんので、
0:52:39	きちんと6ページでも抜けのないように書く記載の方をしたいと思います。その上でじゃそのMOXと同じ考えでやりますよってというようなところの話を踏まえた上で、まずはどういう、
0:52:51	観点でこの因子を抽出したのかそれこそ先ほど富樫が申しましたような、MOXでの考えのときに、個々の因子ってのはやっぱり引かかる場所としてありますというところもありますのでまず因子分析でもそこについてMOXのところを見てますよというようなそういうようなちょっと記載がわかるように、流れというか我々やってることがわかるようにちょっと書いてみたいと思います。ちょっとそういうイメージ
0:53:10	で認識ありますでしょうか。
0:53:13	古作です。神谷さんどうぞ。
0:53:18	はい。規制庁カミデです。今の話だと、
0:53:22	6ページ目の①②は何か順番は変わってんのはあれなんですけど、矢印のところはどんな感じで書いていけますか。
0:53:38	日本原燃、日本原燃の大橋でございます。まず、今のこの矢印のところ自体は、前回いただいたご指摘も踏まえての今後のある意味追加の説明方針みたいところですのでこの記載自体は残しかと思ってますんでプラスで、

0:53:52	矢印なのかすいませんこの矢印にぶら下がる、何か矢羽根かをつけるの かもしないんですけども、その因子の抽出にあたっては、第1回のM OXの地盤モデルの
0:54:04	検討の際に着目した。
0:54:18	うん。
0:54:24	規制庁カミデですちょっと話をすると、
0:54:29	ここの矢印大事なところで、地盤剛性とか減衰とか、要は検証、何の検 証するのかっていうところを網羅的になっていうところだから大事なん ですよ。で、
0:54:42	これが抜けてもらっちゃ困るわけですね。なので
0:54:50	一通りのことを抽出してるんだということを言う必要があると。
0:54:54	それに対して、
0:54:56	どうあればいいのかっていうと、前回会合で聞いた通り、もう複数と。
0:55:02	のMOXで使った考え方と今回の考え方の差分については一通り検証し ますということが分かんないといけないということなんです。で、
0:55:13	なので、直下地盤モデルイコールMOXの考え方で作ったものですよって 言って言ってくれと、今の記載できんですよって。
0:55:22	なんだけど、さっき高橋さんも言ってましたけど、直下地盤モデルっ て、何かそれとはまた別なんですと、今これからつくり上げるもの直下 地盤モデルなんですっていう、いうから入口のところ、
0:55:35	ちゃって、検証項目も何でこれで全部でいいのかって、全然わかんなく なっちゃう。
0:55:41	いうところなんですけど、問題意識伝わりますか。
0:55:47	はい。日本原燃のオガセです問題意識は伝わりました。ありがとうございます。 つまりちょっとさっき、下の矢羽根四つありますけれどもここ の抽出したものというのが、まさしくMOXの時に、例えば直下の物性 に変えたとか履歴減衰だけの2%にしたとかという実績があったので、 それと今回我々が使ってる平均
0:56:06	使おうとしてる平均地盤モデルの設定の差として現れるところになっ てますので、そういう観点でMOXと比較した上で差があるところってこ ういう四つの因子があるよねっていうのを行った上で、そこの感度をそ れぞれ見ましょうというそういう目的でやってるところっていう。

0:56:20	ところだと思imasuのでそれがわかるように書けばいいのかなとちょっとわかり思いました。以上です。
0:56:27	はい。規制庁カミデです。
0:56:30	ということなので、
0:56:32	しっかりもう、
0:56:35	今回の元もくそ差分をちゃんと拾い上げて拾い上げた結果この検証コンプライアンスというのがわかる。
0:56:42	してくださいで、なるべくその前回の会合の資料、
0:56:47	の説明した通りってということがわかるように書いてもらうと。
0:56:51	ということだと思imasuのでよろしくお願ひします。
0:56:55	現年オガセですかしこまりましたちょっと具体の記載が今言えずに申しわけないんですがはい。それがわかるように記載のほうを見直しいたします。以上です。
0:57:06	はい。規制庁岡見です。あと1点だけ確認7ページとかのグラフのところですけど、
0:57:15	固有周期が2本入ってるのはこれNSとEWみたいな感じなんでしたっけ。
0:57:21	はい。日本原燃のオガセです。おっしゃる通りでNSとEWの2本になってます。どっちがどっちかわかるようにちょっと数字の上か下に開くようにしたいと思imasu。
0:57:32	はい。規制庁古味です。で、
0:57:35	こういう周期のSEがスペクトルは、
0:57:40	日本ってことは、これはどんどういう方向なんでしたっけ、方向性を。
0:57:46	はい。日本原燃の小畑でございます。これにつきましてはこれはあくまで基礎部の底面レベルにおける地盤の応答を示しているものでありまして、さらにこちら今回の感度分析に関してはSs-Aというところで水平1成分の、
0:58:01	地震はやっているところでしたので、そういう意味では地震は地震入力地震動による地盤応答としては、水平としては1本になるということになれば、以上です。
0:58:13	はい。規制庁菅です。わかりました。ちなみに、Ss-Aだから1本なのか、基礎したのをとまでだから、立派なのかちょっと、どっちなんですか。

0:58:24	はい。日本原燃のオガセでございます。ちょっとだけ細かい話に踏み込んで恐縮なんですけど、S sのB-1からBの5か
0:58:33	これはB-5までにつきましてはあちらにつきましては、基準地震動の成り立ちとして出戸西方断層による地震というところで、どっち側から来る地震か、もう何て言うんすかね固定されてる地震になりますので、NSとEWが、それぞれ、日本、日本、1本ずつ出てくる、N-Sが1本EWが1本というところで一番大友
0:58:53	別々に出てくるで、そのときには、N-Sの地盤応答は建屋のNSの固有周期と比較してEWの地盤音は、EWの建屋の固有周期と比較するというのが正しい概念になるかと思います。
0:59:06	一方でS sの強いOne ConeからC4震源を特定せずの地震動につきましては、あれはどっちから来る地震がわからないようなものになりますので、直交成分X成分とy成分ありますけれども、それら2本、
0:59:20	の組み合わせと、NSとEWそれぞれこういう周期というところで、計4本が重なり合うようなそういうような図になるイメージになっております。ちょっとすいません口だけの説明ですが、以上です。
0:59:31	はい。規制庁菅です。とりあえず状況はわかりました。はい。地盤モデルについて11、12ページまでについて私からは以上です。
0:59:48	規制庁の内野です。
0:59:52	8ページについてなんですけれども、
0:59:55	着目する因子として、岩盤部分の非線形性とあって括弧の中にVsとか層厚とかある、これ正しいんですか。
1:00:10	日本原燃のオガセでございます大変申し訳ございませんこの括弧は7ページだけにして8ページは不要でございます余計なものを追加したので、削除いたします
1:00:20	はい、町長の岸野です。
1:00:22	ちゃんとチェックをしてくださいねということだけ言っておきます。
1:00:25	それと、
1:00:29	この非線形性というところは、
1:00:32	おそらく、
1:00:33	剛性、初期不整の非線形性を表していった、いて、
1:00:38	物理的なご構成等、減衰定数って、対になると思うんですけど、

1:00:43	減衰定数については多分1定値でやっているんですよね。8ページの理解はそういうこと7ページか。
1:00:51	8ページか。そういう理解でいいか、教えていただけますか。
1:00:55	はい。日本原燃のオガセです。おっしゃる通りでこの8ページの評価におきま解析におきましては減衰については同じ数字、一律の数字を線間合成なんていうか、同じ数字の数字では、
1:01:08	両方に同じ数字を入れているということになります。以上です。町長の内野です。はい、わかりましたというか、わかってはいるんですけど、前回もそういったところは正確に書いてねっていうことは、コメントしてたと思うんで、きちんと正確に書いてください。お願いします。
1:01:24	はい。日本原燃のオガセでございます。減衰は同じ条件で一定でやっているという旨こちらに記載させていただきます。ホカホカの多分減衰のところでも同じようなことを書いてあげる必要があると思いますので合成は、
1:01:36	経過を考慮してないとかそういうふうなことを書く必要があると思うので、はい。
1:01:40	記載のほう追加いたします。
1:01:43	説明しますはい。お願いします。あと11ページに飛びますが、
1:01:49	今後深掘りしますよという記載のところ、
1:01:54	すいません、冒頭にまず朝日を受けてここら辺見直しますって言われた、この記載内容を見直すということではなくって、こういった検討の時期を見直すという意味かと理解しました。
1:02:07	が、まずその理解は合ってますか。
1:02:14	はい。おめでとうございます。おっしゃる通りでございます基本的に時期の見直しとあと、もし分割するような形の方あるようですと、来月の会合ではこの内容で、再来月の会合でこういった内容を説明するというような形の方で展開したいなというふうに思っておりました。
1:02:32	説明しますはい、わかりました。
1:02:35	内容については変わらないんですが、どういう前提でちょっとお聞きしますがまず減衰定数について、地盤観測記録、地震観測記録の、を用いかっていうところで、
1:02:47	前回はこの記録の所に頭がついてたんですけど、等の意味を確認したところ特にないんでっていうことが今回されて、

1:02:55	ということかと思いますが、
1:02:57	前回のコメントでもですね、やっぱの観測記録と言ってもそんなに大きな地震のデータってないだろうし、ほかにも何か検討できないのかよく考えた方がいいよねっていうコメントが前回あったと思うんですけど。
1:03:11	それを踏まえてもここは地震観測記録に絞ったことを今考えているということでしょうか。
1:03:34	はい。日本のところでございます前回のヒアリング3今いただいたコメントとしては認識してございただ基本的には地震観測記録を用いた中での分析と、
1:03:44	あと既往の知見の整理とかそういったところで今考えているところでございます。ただ技術的な中身のプラスとしてはやはり、地震観測記録を用いた内容と、見方を変えたもので、いろいろあると思いますけど基本的には地震観測記録をベースにして評価していくのかなというふうに思っていましたので、
1:04:01	今回としましてこの地震探査記録というような表記の方をさしていただいて頭のほうは削除させていただいております。
1:04:07	成長できますはい、わかりました。
1:04:10	ほかにも何か、何かしら補強するようなものがある、ありそうだけれども、図書として、地震観測記録、
1:04:19	というものを示すためにTOWAとしたという、ご説明と、理解しました。
1:04:25	はい。それ等ですね。
1:04:28	二つ目の評価地盤の分について、解析的検討を踏まえたってあるんですけど、これはどんなイメージをお考えなのか、教えていただけますか。
1:04:44	はい日本円土橋でございますちょっとこちらはまだ社内でもいろいろご質問出るところですので、最終的にこれっていったところで、
1:04:55	いえるところなんですけど家田氏のところでは、例えば
1:04:59	ちょっとよろしくないかもしれませんが少し二次元的なもので評価したらどうなるのかとかですネそういったところをもう少しやってみる価値があるのかなっていったところで、単純な記録サイヒョウ
1:05:13	是正の再整理だけではなくてそういったところで少し解析のところでも何かいえるのではないかとといったところも、もう達成しているのでこの

	部分に関しましては回避検討といったところを、付け加えさしていただいております。以上でございます。
1:05:26	成長の機能です。何となくイメージはわかるんです。
1:05:30	ここはまだイメージ、どの程度角度を持って事業者として、どうしようもっていうか、しないではあるんですけども、まだぼやっとしてるのであれば、少し動かしたような書き方で、
1:05:41	解析的な手法を交えた検討等とですね、ごめんなさい別にこれにしてくださいって意味じゃないですけど、例えばそういう、幅広の言い方もできるかなと思いますので、
1:05:53	その辺りはどうなんでしょうか。ある程度もう解析的検討とバンッと見えるものなのかももう少し動かした方がいいのかっていうあたりだと、
1:06:03	はい、日本列島でございますまさしく今、先ほど申し上げた通りで今、
1:06:08	いろいろ間将来、'段階ですので岸野さんのご指摘の通り決め知らなくて少し幅広な部分での記載といったところで交えた検討等の記載のほうに少し見直しの方さしていただきたいというふうに思います以上です。
1:06:22	町長の岸です。はい。そういうお考えであるということでもわかりました。私から以上になります。
1:06:29	ハバサキです。点だけ。
1:06:33	6 ページの一番下なんですけれども、
1:06:36	表層地盤部分の云々文章なんですかね、これ表層地盤。
1:06:41	及び岩盤部分の物性値の設定の違い。
1:06:45	の表記の方が正確というふうに理解すればいいんですか。
1:06:50	黒須と地盤部分だけですか。
1:06:52	日本原燃の大橋でございます。こちら四つ矢羽根のあるもののうち一番上が岩盤部分の地盤物性と書いておりましたんで一応すいません網羅してるように書いたつもりでありましたが、
1:07:03	岩盤部分及び表層地盤部分の地盤物性値と言ってもはいもちろん間違いではないです。今一応後の
1:07:11	スペクトルの7から10ページのところで、よっつうスペクトル書いてますので、それとあるようにちょっと岩盤と調査を分けた次第でございます。以上です。
1:07:21	もう1回確認しますけれども、

1:07:24	一番下の矢羽根に関しては表層も岩盤部分も、直下の条件で地盤物性を設定しているという、
1:07:33	モデルだということで理解しとけばいいんですね。
1:07:40	古作です。ちょっと
1:07:43	ここ混乱していくようなので、
1:07:46	確認なんですけど、6ページは
1:07:49	視点として書かれてるのでこの4支店で分けますと、岩盤と表層で、物性の影響がそれぞれどう出てくるのかというのを考えますということであって、
1:08:00	それに応じて7890とあるということなんですけどそれとその時にモデル化するものの内容っていうのはまた別にあって表層の、
1:08:12	部制の違いを検討する際に、岩盤部分のモデルをどう、どうするのかというところで今、ハバサキから確認があったって思えば、河崎さんいいでしょうか。
1:08:25	おっしゃる通りです。はい。そこの確認だけなんですけど、
1:08:30	すいませんコサクさんハバサキさんありがとうございます。今のところできますとこの四つめの矢羽根で書いている表層地盤づくりの地盤としての設定の違い、ここの視点で着目した影響因子の分析をやりますよって言って10ページのそのスペクトルの、
1:08:44	解析というところはあくまで表層の地盤物性だけが変わったらどのぐらいスペクトルに影響ありますかという観点ですので、実際やっているものとしましては、岩盤部分については平均地盤の物性で入れている、表層部分だけ、直下にしているか平均にしているかの違いが黒とピンクの線の違いとして現れると、そういうふうな解析でやっているというところがございます。事実関係は以上です。
1:09:07	はい規制庁ハラダケンス事実関係は理解しました。はい。現時点ではそういう形で進めるということで理解しました。私は以上です。
1:09:18	コサクです先ほど岸野から言った点で少しプラスなんですけど、
1:09:25	8ページ。
1:09:28	着目する因子のところで括弧書きが余計ですよねと。
1:09:32	いう話があったんですけど、これは10ページになると入れるべきところが下入ってないと。

1:09:39	いうことだと思imasuのでそれも併せて整理をいただき、前のヒアリングでこの層厚ってというのは、地盤物性っていうのかっていう話があったと思うんですけどこれは、
1:09:53	言うっていいんですか。
1:09:58	はい。今年のおガセでございます入れるふうに入れるように解釈して入れましたというのも、今回直下の物性を作る時というものにつきましては当然このV s V pと単純にこの速度の数字だけではなくて、
1:10:13	そのどこ、どのぐらいの深さまでこのV sが続いてどこで切り替わって、次の速度になるかみたいなのところのある意味総額みたいなのとセットで、V s V pの構造というものが決まりますので、地盤物性という言葉一つを作っていますが、V s V p単位体積重量層厚すべてのセットであると、認識して書いていると。
1:10:30	そうです。以上です。コサクですけどやるパラメーターとして沿いをいじくるっていうとちょっと語弊があるかな。パラメータがあるってというのは、私も理解してるんですけど。
1:10:41	その層相を地盤物性という表現が適切だということなのかっていうので、前回そうとは思えないけどっていう話をしたと思うんですけど。
1:10:51	もし言葉として、正しくないんだったら、とりあえず今ブッセン等とかって入れといて、それで米を入れれば等として層厚入ってますよと。
1:11:01	いうことでもう十分読めるかなと思うんですが、
1:11:05	あと、規制庁側から何かコメントありますか。
1:11:11	田力澤邊です私も
1:11:15	登坂稲場通りだと思います
1:11:17	大橋さんの説明もわからんでもないんですけども、なかなか物性って言った時に層厚だとかいう関係観点ってというのは、浮かびにくいかなというふうに思いますんで、長さん言われたように物性等という、
1:11:30	地盤物性等という形でアスタリスクで説明があった方がより正確というふうに私は思います。
1:11:38	事業者、どうですか。
1:11:40	はい。日本原燃大町ですかしまりましたおっしゃってること重々理解しましたのはいい。地盤物性等というふうに記載の方させていただきたいと思います。はい。以上です。

1:11:55	規制庁の竹田りすると、1点確認させてください。ちょっと音声途切れ途切れだったのでかぶってたら申し訳ございませんが、矢羽根の四つ目の表層地盤の物性の設定の違いなんですけど、これGがな、愛知川につきましては直下も、
1:12:11	平均も同じものを使ってるといことよろしいですか。
1:12:16	はい。日本原燃のオガセでございますこちら10政治の結果に対してものというところでございますので、表層地盤のところの、平均的な物性値にした埋戻とか、直下の物性、
1:12:29	物性を入れた、埋戻しとかというところの差ではありますけれども、非線形性つまり剛性低下率と、あと減衰の主任の特性については同じ条件でやっております。以上です。
1:12:47	規制庁の武です。状況はわかりました。
1:12:51	隣MOXの時の表層地盤の直下の物性値っていうのも、平均の時と同じものだったんでしたっけ。
1:13:03	日本原燃のオガセでございます今野タケダさんのMOXの時の物性値とおっしゃいましたけど、試験系特性のことよろしいですかね。そうです。はい。非線形特性のことです。はい。はい。おっしゃる通りで平均的なもの敷地がやられているも、
1:13:19	言えば、このないし造成モリノと六ヶ所そうでしたっけ。
1:13:23	の敷地内でられている平均的なひずみ依存特性を使っているところになる
1:13:28	というの言い訳チックになってしまいますけれども、ひずみ依存特性というのはやはり1高のデータからえられるものではなくていっぱいいろいろなところからサンプリングとっていろんなひずみを与えてあげてっていうところが、やっておりますので、
1:13:41	やはり4日だけのデータに基づいてやっていると、十分この支点系の曲線早々曲線みたいなデータ替えられないというところがありますので、ここのひずみ依存特性につきましては、岩種でとられているものから平均でやっているところを使っているというのが実情でございます。以上です。
1:14:01	はい。規制庁の竹田です。はい。状況理解できました。ありがとうございます。私から以上です。

1:14:11	成長シミズ他耐震部分について規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:14:20	よろしければ、続いて、説明の方は原燃からお願いします。
1:14:31	表面シミズです。
1:14:33	それでは議題2ということの、構造的の説明の部分になります。
1:14:39	今回見直し点としては、通しページで16ページ目。
1:14:45	になります。
1:14:47	まずは
1:14:50	一つ目の代案の中で、二つ目の、
1:14:54	項目に、段落になりますけども、構造設計っていうのが関連する条文を踏まえて、しっかり構造設計するということと、
1:15:02	説明については藤田常務で説明するということを書いた上で、二つ目のダイヤで、今回は今後説明する構造設計時に説明するということで、次ページ以降につなげてございます。
1:15:13	17ページ以降は全部、対追加するところでございます、
1:15:18	まずは今回外部衝撃として、構造設計図を累計で説明する全体の目次です、こちらをお示しした上で、そのうち、今回は二つ目の内容で、
1:15:30	防護板を例に説明するということで18ページ目につないでございませぬ。
1:15:34	18ページ目の構造的な説明につきましてはまずは、
1:15:38	防護以下の主な考慮事項を書いた上で、そのうち第1回と、
1:15:44	今回第2回の申請で、周辺建屋っていう考慮を踏まえると、
1:15:49	配慮事項差分が出てきてますので、それを10は旧20ページ。
1:15:55	の、ええな、説明につなげているというところです。資料の全体見直しでございませぬ。
1:16:03	はい。資料の全体の見直しの方針として、このような考えでございませぬ。はい。
1:16:14	はい、規制庁生協の田尻です。説明終わりでいいですかね介護費用。
1:16:23	はい。あと、あとはすいません。1920ページ以降で、その差分が何なんだということ、
1:16:31	まずは19ページ目1ポツということで、防護板の設置の考え方につきまして今回差分として取り上げてございませぬ。

1:16:39	で、まずは、コサクですわボアコサクですごめんなさい、ちょっと田尻の質問が、意地悪だったのかもしれないですけど詳細の説明を求めているわけじゃないので、
1:16:52	例えば、別添でつくのか何かとか、そういうような古藤は、まだ資料の次にはあるはずだけで言ってないけど、説明不要ですって思ってるってことですかねっていう質問だと思います。
1:17:06	日本原燃清水です。すいません。説明足りてございませんでした。
1:17:11	今、資料として別添で示しますということで16ページ目築地と書いてございます。こちらは今回つけてございませんけども、資料のイメージとしては共通12につけてございます別紙2-1。
1:17:25	こちらの整備表概要図というのを一式を添付することを考えてございまして、次回提出時には添付させていただきたいというふうに考えております。
1:17:37	規制庁の谷です。1.1ページまず行かせていただければと思うんですけど。
1:17:44	他に入る前にまず14ページなんですけど、ここってそもそも位置付け、これの玉井甲斐なんか概略説明みたいにつけてるイメージなんですけど、今回14ページで書いてるのって、
1:17:57	整理した上で今後説明していくから来こうといったの舞台を説明しますっていう話なんですけど。
1:18:03	今回累計のセットもしましたよとかっていう話とかは特に触れてないんですけど、ここってそもそも何まで書くイメージなんですけど、前回まではまだ何か後と繋がったかなと思うんですけども、
1:18:20	すみません、日本のシミズちょっと今音声聞きにくかったところがございまして、伊達と衛藤14ページって、
1:18:29	何を書く全域ですか。
1:18:31	単純に言うと、
1:18:36	はい、日本原燃志水です。
1:18:39	14ページにつきましては、
1:18:44	①番と書いてあるものは今回何を説明するのか、デフダイヤの部分は、今後の話にします。
1:18:54	15ページでスタートしてもいいわけじゃない。

1:18:58	14 ページって言うてみれば、16 ページから説明するリード文なんです、これ。
1:19:04	なので位置付けが中途半端。
1:19:07	15 ページ自体の、
1:19:09	その類型分類をしたとか前回からプラスしたものっていうのを、
1:19:15	説明したいんだったら 17 ページで 17 とかの類型の話とかがチックやねってことで多分、14 ページの位置付けは何ですかっていう。
1:19:28	規制庁谷井ですそうです。14 ページが、何か飛来物防護板上に構造設計の部隊を説明するという要素ぐらいしか見えなくなっていて、後、
1:19:38	奈良部泰知なんかいまいち一致してないので位置付け結局どうしてくんでしたっけっていう会議資料今後こういう構成で考えられてるんだったら、位置付けもはっきりしておきたいなというのが趣旨です。
1:19:52	はい。日本語でシミズ。
1:19:54	14 ページにつきましては田尻さん、市原の方からいえいただいた内容を踏まえまして、前回の 2 月の会合から、
1:20:03	今回何を付け加えてご説明するんだという趣旨の方をちょっとしっかり見たいと思います。
1:20:08	具体的には V I S A のページ以降の類型から始まってというところから今回の説明の中の内容ですということをしっかり宣言したいと思います。
1:20:18	規制庁谷です。ちなみにこれは、
1:20:22	耐震はそのルールじゃなくて、外部衝撃だけがこのルールでと思っておけばいいですかね。
1:20:33	古作です。ちょっと。
1:20:36	質問の仕方を変えると、前回の会合ではこういうふうに、1 ページ挟んでいましたと。
1:20:43	耐震が今回その 1 ページを挟まないようになりました。
1:20:47	ということなので、今回の竜巻の側聞いてしまうと、何言われてるんだろうってわかんないような気がするんですけど。
1:20:57	全体としてどうされます。
1:21:05	はい、日本石田でございます。
1:21:08	これは説明の流れがわかるように 15 ページを挟んでいますので、

1:21:15	そこで今回何を説明するのかっていう、ポイント、これは今回明示できると思ってます。その具体的な内容を、16、16 ページから始めれば、
1:21:27	来賓とも整合します。全体の流れとしても、玉野リーダーはあくまで15ページの今日だということで整理ができるかと思imasので同じように展開をしたいと思imas。
1:21:40	補足です。ちょっと確認すると、前は1ページ挟んだけども、余計だったので今回は表をまず最初にして、
1:21:51	そのあとから見解を説明するようにしますというふうに変えると。
1:21:56	いので先行させたい人はやったけど、こちらも反映しますってことでしょうか。
1:22:03	はい、日本イシハラでございますはい、ありがとうございます。おっしゃっていただいた通りを形にしようと思imasました。
1:22:10	はい。規制庁館ですよろしくお願imasします。
1:22:13	次、16 ページに行ってなんですけど、
1:22:17	先ほど説明があった築地の部分もなんですけど、
1:22:21	今回いろいろ
1:22:23	今回なんか別紙で共通12-三、四枚紙の資料とかいろいろ作られたりしたと思うんですけど、今回、ああいった整理をいろいろしましたよっていうエッセンスは、
1:22:33	盛り込まないんですかね。さっきのやつで共通12の別紙2の一位だけお得だされたような気がするんですけど、いまいちそのあたりの整理がわからなかったんで確認したいんですが。
1:22:53	日本ギリシャでございます。先ほど浅野、スケジュールのご説明で決まりました
1:23:00	僕も同じところ足りてないと思imasててここやっぱり大事なのはどうやって設計方針、構造説明をするために必要な設計方針を中止したかとか、どういう整理で分類累計をしてきたかとか流れを
1:23:13	ちゃんと整理、整理の方針として説明するのが、今回一番大事なところだと思imasます。
1:23:19	それをもとに全体今回今後展開をしていきますよってところが、一番のスタートだと思うので、
1:23:26	そこは欠かせます。はい。

1:23:30	古作です。書いてもらうのは構わないんですけど前回余計なことがいっぱい書かれていたのでそんなのいらないよと言って、削ったのにまた違うコメントをもらって何だ規制庁って言って、
1:23:43	思ういませんか。
1:23:49	日本原燃石田でございます。
1:23:53	持ってないというそうなりますけど、
1:23:58	問題はやっぱり今回全然進まないの、何に時間がかかってるかっていうところをちゃんと我々としてはエクスキューズしたいなというところもあったので、また来ますという話をしました。
1:24:12	規制庁コサクです。
1:24:18	その書き方なんだと思うんですね書き方といえば説明、何を説明したいかというときに、
1:24:25	前回の資料だと作業プロセスで、をただ言うだけということになって、
1:24:34	何のためにだとか、どういう内容で、どう考えてるのかっていうことは全く触れず、別添がただ飛ばすだけと。
1:24:43	なっていたので、それだと反対側で説明することじゃないでしょと。
1:24:47	いう話をしたというところだと思ってます。
1:24:53	今の話なだけだとまた元に戻るだけの様な気がしたので、そうではなくて、ちゃんと今回の後の 17 ページ、
1:25:04	以降特に 19 ページですかね、19 ページ 20 ページに繋がるように、どういうのがポイントなのかと。
1:25:11	いう内容を示すというのが大事だと思ってます。
1:25:16	よろしいでしょうか。
1:25:21	はい。与儀西原でございます。はい。
1:25:27	また作って失敗そうな気がするので、
1:25:31	私の思ったか、考えだけ先言いますずれてたら言ってくださいって話ですみませんが、
1:25:37	一つは 16 ページで書いてある、何の設備を対象にするか、それに対して必要な設計方針ってのちゃんと抜けなく、
1:25:47	抽出をして、それと、その設計方針に基づいて構造設計ができるんだということを説明をすると、いうことを、ここの繋がり、それぞれの目的を持って、どういうことを、

1:26:01	対象にして整理をしていくんだと、結果が行動説明をすることによって どういうことを実現し、達成したいのかと、いうことが説明できないと いけないと思っています。
1:26:11	なので作業でやっていることがそれぞれどういう目的で、かつどうい うことを達成したくてということをちゃんと書きながら、後もどんどん紐 付けをして、
1:26:22	頭で説明をし切るということがまず大事なのかなと思ってました。
1:26:31	古作です。
1:26:40	古作です。
1:26:45	と今、16 ページで話をして、
1:26:48	いる形なんですけども、
1:26:51	16 ページで、2 行三行目。
1:26:59	とかで条文あわせてだとか、ここで
1:27:05	ある程度基本設計方針全部抜いてきますよと。
1:27:10	構造設計に関係するところ、
1:27:13	をピックアップして、
1:27:16	それに対しての設計っていうのを整理をしていきますっていう、共通 12 の別紙 2 の話に繋がるような前ふりだけ書いてあると。
1:27:27	いうところだと思うんですけど。
1:27:30	共通 12 って別紙 2 の前に別紙 1 があるじゃないかということだったり 別紙 3 別紙 4 ってあったよねと。
1:27:37	いうところがあって、す。それがもう何ももうあまり整理されずに、い きなりもう別添で示すだけになっちゃっててっていうところが、
1:27:48	その部分の説明が全く本体側で触れられないっていう状況に、
1:27:52	なってるものかなと思ってます。
1:27:55	で、
1:27:58	ちょっと先に進むような形でいってしまうと 17 ページなんなのと、
1:28:03	いうと、別紙 1 かっていう感じになっていて、
1:28:07	その次はっていうと、
1:28:11	別紙 2 っていう感じにちょっと大分〇〇〇回り過ぎなんですけど、なっ ていて、
1:28:17	ていうので、意図はしてそうなんだけど、全体として繋がってないなっ ていう感じのように受け取ってます。

1:28:27	私の印象として、
1:28:29	あんまり原燃の考えてるのと違ってないのかということ、
1:28:33	踏まえながら、どうしていこうかなとかってイメージを一旦原燃から言っていただけですか。
1:28:43	はい、日本イシハラでございますはい。
1:28:47	私が今、コサクさんの話を聞いて思ったのは今 16 ページがスタートになって話を展開してます。それぞれ 16 ページで書いてあること。
1:28:59	関連する条文要求をまとめて説明するとか類型をすとか左右中心に説明すると言ってるのが、
1:29:07	じゃあ 17 ページは、一体前で 16 ページでいってどういうことを達成するためにやってるか結果なのかと、そのためにどういうことを考えて、この結果に結びつけたのかってものを、
1:29:19	書いて 16 ページ 17 ページ後、
1:29:24	18 ページもそうですね。16 ページに言ってることとどういう関係なのか、財政的なアウトプットはこうであれど、どういうことをやってここに行き着いたのかということ、
1:29:36	書いていく拡充していくと、いうことかと思います。さらにここまででやったことと、19 ページ、20 ページとの関係ですね。
1:29:47	が、どういう紐づけでここにたどり着いて、こういう説明になってるのかというところをそれぞれ、
1:29:53	考え
1:29:56	プロセスプラス考え方、達成目標みたいのを書かせていくというのが、
1:30:00	イメージかなと思ってました。
1:30:05	はい、古作です。そうだと思うんですけどそうすると、
1:30:10	共通 12 の整理方針っていう資料で、前回コメントした通りですね。
1:30:17	この構成でいいのかってことに、結局辿り着いちゃうんですよ。
1:30:24	共通上位の整理方針は、前回のヒアリング
1:30:28	から、あまりそういうことについては対応されていなくて、
1:30:33	今日提示された。
1:30:36	コメントリストでどうされてるのかまだチェックしてないんですけど、
1:30:41	どうするつもりでいますか。
1:30:58	はい。日本原燃清水です。
1:31:02	前回をお示しした整理方針の対応だけだと、

1:31:08	別紙 3 で、まず構造設計が必要なものを仕切りつした、その繋がりっ てというのが別紙。
1:31:18	別紙 4 の全体の整理ですと見えないので、
1:31:21	まずは、別紙の中で、それぞれの基本設計方針で、
1:31:28	どういう類型分類の種別の機器が、
1:31:31	基本設計に仮該当該基本設計方針に該当するのかっていうのを紐づけ をまずするというで、
1:31:39	抽出の理由というのがわかるようにしたいというふうに考えてございま した。すいませんコサクです。全然質問と答えが合っていないです。
1:31:52	細かな記載ぶりのことなんか言ってなくて、
1:31:55	そもそも作業プロセスとしてどう成り立ってるもんなんでしたっけと、 それぞれにフィードバックがかかるので、どれをスタートにするかって いうところにはなるんですけど、
1:32:07	基本的には
1:32:09	基本設計方針があって要求事項から順々に展開していくということから すると、別紙 4 が一まずスタートになきゃおかしいと思いませんか。
1:32:21	はい、日本円でシミズです。認識ははい。おっしゃる通りで、まずは構 造設計を説明するにあたっては、その必要な基本設計方針の整理をす る、それに繋がる添付書類を整理する。
1:32:35	それに繋がる機器を整備するというステップというふう認識でございま す。
1:32:39	古作です。そうする等、
1:32:42	この介護資料で言うと 18 ページが最初にあるんじゃないですか。
1:32:50	この 1 ポツカラーの繋がりっというところで受けるのはここですよ。
1:32:58	これはイコール別紙 4 ですよ。
1:33:02	別紙 4 から別紙 2 に繋がる場所ではありますけど、
1:33:06	はい。はい、おっしゃっていただいている通りであくまでこれが 18 ペー ジの設計方針が入口になります。
1:33:15	はい。補足です。その上で、そういうその要求事項を整理をしていく と、類型に整理できますよねと。
1:33:22	ということがあって、17 ページで累計こうやって整理してますんで、一つ の類型について具体説明しますと言って 19 ページの方に入っていく と。

1:33:33	ということだと思ったんですけど。
1:33:37	認識合ってますか。
1:33:43	はい。本江シミズです。はい。全体の流れはそういうふうな流れに説明したいと思っておりますので、資料の方へ順番も含めて、見直したいと思います。
1:33:56	はい。補足です。そうなるように 16 ページで、
1:34:01	そのあとのページのパーツパーツの存在意義みたいなことを語っていただいて、具体は次のページからと。
1:34:08	ということで言うていただければと思います。
1:34:11	田尻さんどうぞ。
1:34:12	はい、新里です。今の指摘の流れで少し関連してたんですけど、18 ページが実際別紙 4 だけど一番最初に説明しなきゃいけないやつ。分類決まって 17D 別紙 1 みたいなやつが 1 分類されて、
1:34:26	別紙。
1:34:28	氏名は構造概要が別として本来整理されていて、その内容をどこまで書き下して 1922 つなげるかなんですけど、
1:34:40	要は、共通的な考え方っていうか設計思想を言えればいいのかわからないんですけど、クリアランスの話であっても、このスキーマで衝突しないって話であつてもう、
1:34:52	こういう考え方で設計しますよっていう考え方が、別紙 2 であってもなんですけど、わかりづらいところなんですよ。要は隙間があつて、基本的には 40mm よりちっちゃくすればそれは OK ですし、ラビリンスするんだつたらそれで OK。
1:35:08	2 プラスアルファは今回、隙間が空いてても直接ぶつからなければ OK してやつが最後出てくると思うんですけど、ここらの設計の考え方ってどっかに示されてますか今、
1:35:25	日本原燃清水です。
1:35:28	共通、今のこの資料の中では、
1:35:33	39 ページでもう 1 ポツの一つ目の矢羽根で、大野が既婚ですとしか書いてなくてその間の、
1:35:42	サブに繋がるような考え方が今ちょっと書けてないというのを認識しましたのでその部分も拡充したいと思います。
1:35:49	うん。

1:35:50	規制庁谷です。衛藤。今 18 ページに、直接しないよう、ことが基本ですよってのが書かれていて、それを入れたバージョンではあると思うんですけど、今書くって言ったのは、どういったことがポイントされました。
1:36:05	一応認識合わせなんですけど、
1:36:10	はい、日本原燃清水です。
1:36:12	江藤。18 ページで、大方針、19 ページ上の中で、
1:36:18	基本の行動設計から差が出てるところ、1 たかったので、
1:36:24	この 191089 ページの頭のところで、19、20 のそのバリエーションに繋がるように、この隙間ができるときの考え方みたいなのをちょっと拡充したいというふうにイメージしました。
1:36:38	規制庁谷です。認識が合ってるかなんですけど、防護板で覆いますよと言って、耐震を考慮して若干の隙間があったところがありますって言った後に、
1:36:50	さっき言ったように、基本は通過させたくないです。通過させたくないの更新は 40 ミリ以下の話、砂利よりちっちゃくするとか、ラビリンスにてそもそも通らないですっていう話で、
1:37:02	イレギュラーな C も出てきてと最後出てくるんですけど、
1:37:06	設計の流れは、さっき言ったような、まず通過させないがあって、それができない場合は、今回みたいな評価にするっていう話でいいんですかねそれとも、それと関係なしにぶつから岩相だったら多少隙間は入れてもいいような設計思想でしたっけ。
1:37:23	日本原燃清水です。衝突させないように、インターを廃止するってというのが原理原則ですので、次の原理原則ですねその部分をしっかり書きたいと思います。
1:37:36	規制庁たんですそういうぶつけないんですけど、普通って、要は防護対象が設置されてる中に入れたくないってのが基本だと思ってたんですけど。
1:37:47	そこはあんま考えにはないですかね。
1:37:58	あと日本原燃の蝦名です。まずは、配置設計があって全体を覆いますというふうな話があるかと思います。そんな時に、

1:38:11	次に今度は、まずは、入れないっていう考え方で全体を覆っていくという話があると思います。その次に、今度は、そういう細部のところで隙間が
1:38:26	40 ミリを超える場合に、どういった選択肢をとるのかというふうな流れで設計していくというふうに考えてございます。以上です。
1:38:35	コサクですいません言葉が一食い違ってる
1:38:40	ような気がしてて、
1:38:42	40 ミリ開く場合についていうのは開くっていうのが前提で話をされてるので、
1:38:47	原則って言いながら、イレギュラーなものを最初から認めてるというのは原則って言わないような気がしててですね。
1:38:56	皆さんは、
1:38:58	原則をなんて思ってなくて、
1:39:03	ぶつかる。
1:39:05	直接ぶつかるような飛来物を、
1:39:09	に邪魔板を当てると、というような意識でしか設計してないんじゃないですか。
1:39:20	はい。日本原燃の蝦名です。
1:39:27	そうですねすいません、大原則としては、を置いたうんですが、直接衝突することを防止するというふうな
1:39:38	設計っていうのが、今担当課長代理小浦で行ったじゃないですかだったら全然いらんじゃないですか。
1:39:50	それをどっちなんだって聞かれていて、
1:39:53	どっちもですって言っちゃうから訳わかんなくなるんですよ。
1:40:00	全社原則なんだったらじゃあいてるところで無意味なところ全部埋めてくださいよ。
1:40:06	日本原燃の蝦名です。すいません。
1:40:10	はい。今コサクさんに、の雄
1:40:13	やってくれたので
1:40:15	はいというのは、誤解を招くかなと思ってまして直接衝突することをするような配置設計であるというふうな表現が正しいかなということを確認しました。以上です。

1:40:31	古作です。若干誘導尋問的に言っちゃって申し訳ないんですけど、それ基本設計方針でどうなってます。
1:40:46	一つお待ちください。
1:41:07	うん。
1:41:15	いや、
1:41:20	耐震
1:41:48	はい。日本原燃清水です。
1:41:50	まずは、基本設計方針としてはまだ対策、ですね大枠として、
1:41:56	竜巻防護対策設備を設置することにより、飛来物の衝突に対して、
1:42:04	安全機能を損なうようにするっていうのがまず第1条なんである設計方針になります。
1:42:12	それを具体化してる中でですね。
1:42:22	添付書類の中で竜巻防護対象施設へ衝突することを防止するために、
1:42:29	板を上面側面に設置するという事なのであくまで目的をショートすることを防止するためという目的でございます。
1:42:41	規制庁谷です。なぜ今の結論は別にをうっていう話じゃなくて、先ほどちょっと阿南から言ったように、飛来物がどう突っ込んでくるかっていうのを考えた上で、そこに板を行った金戸兼子湖対策設備を設置して、直接ぶつからないように下設計しますよっていうのが設計思想でいいですかね。
1:43:01	はい日本エネシミズです。はいその認識でございますちょっとその通り資料できちゃって申し訳ありません。
1:43:07	規制庁谷です。なぜ、耐震のためのクリアランスどうこうちゅう話はアンカー先に出てきちゃってましたけど、基本的には隙間が開いてることも想定範囲内の設計をまずは考えていたんでいいですかね。
1:43:23	はい。日本原燃志水階層認識でございます。
1:43:26	はい。規制庁樽井です。その上で、隣の別に全部置いてなくてもいいんですけど、場所によって今の使い分けの考え方がきっとあると思うんですけど、40mm以下にしますよとか
1:43:39	ラビリンスにしますよとか、だびじゃなくて隙間は開いててもいいけど、角度的にどうこうってのがあると思うんですけどその使い分けの考え方ってありますか。

1:44:00	日本で寝た下でございます。まず、種直接ショートさせないためということで、そのためにどうするかといいますと周りのものとの境界を全部埋めてしまうっていうのがまず一つで、それがまずあと 40mm以下の隙間に全部押さえるという考え方になります。
1:44:17	それを考えた場合に他のもので、他のものがもう遮へいとなって当たらない部分というところがありますのでそこについてはそのうえと直接当たらない角度で、
1:44:29	直接斜角がもう取れないということを確認した上でそこには板を設けないという、
1:44:34	設計の仕方をしているというのが、まず、竜巻単品での配置の考え方になっております。
1:44:41	物によって相対変位とかを、耐震での変位を考えなきゃいけない部分がありまして、
1:44:49	そこについては
1:44:51	変位が、変位を設けなきゃいけないため隙間を設ける必要があります。その隙間に対してどうしますかというところに対しては、隙間に対して基本的には上に行くというのが、
1:45:01	原則と考えて設計をしておりました。ただし、40 ミリ以下にした場合は板同士は干渉するという状態は実態となっております。またそれ以外に変位が、
1:45:14	大きく大きい場合っていうんですかね、大きくて通常普通に 40 ミリ以下にしようとする、構造的に 1 億等手間がかかりそうなところというものをラビリンス構造を採用してそもそもそこに対して飛来物が侵入しないような構造と、
1:45:31	いうふうなやり方をするという、今設計の仕方をしてございました。説明は以上です。
1:45:38	エンチャーの田尻です。
1:45:40	ちょっと最後のラビリンスのところは特にわかんなかったんで、最後のラビリンスはどういうときにするって言いましたっけ今、
1:45:48	三田です。ちょっとクラウドだけだとちょっとあれなので、ヒアリング先行しちゃいますけど、
1:45:54	共通 12、
1:45:56	#NAME?

1:46:00	思います。
1:46:01	令和 17 日提出版でよかったですかね。
1:46:07	27 ページだと思いますけど、
1:46:15	竜巻の 2 分の 1 ですね。
1:46:19	で、今言われたラビリンスわあ、上から 3 行目ぐらいですかね。
1:46:27	に書いてあって支持架構の変位量が大きい場合と、
1:46:32	いうことと言ってて、
1:46:34	先ほどの口頭だと、地震の変位で、40 ミリっていうとちょっとぶつかっ ちゃってややこしくてって言うてるのを、こういう表現をしてると。
1:46:46	いうことだと思いますけどいいですか。
1:46:51	日本エンタープライズ高坂さんのおっしゃる通りちょっと説明、拙い説 明で申し訳ないです。
1:46:57	はい。補足です。支持架構変位量が大きくない場合は、40 ミリなんです か。
1:47:09	日本原電田岡でございます。はい。その通りでございます。コサクです でそうすると 40 ミリっていうじゃない。変この辺量が大きい場合の判 断基準は 40 ミリですか。
1:47:36	お待ちください。
1:47:55	古作です。ちょっと関連するので合わせて言ってしまいますけど、
1:48:00	その上の行だ等 7 加工の変位量を考慮してなあって、
1:48:05	こっちの考慮はじゃあ何なんだったっていう感じがあってですね、先ほどの 説明でもあんまり 40mm で考慮してるような感じがなくて、ぶつかる ものもあるんですけどとかって言っていてですね。
1:48:16	何言ってんだろくなあっていう感じだったんですが、
1:48:21	なんかあまりちゃんと設計してないような感じがするので、
1:48:24	改めて設計して提示してくださいって気はしますが、いかがですかね。
1:48:34	日本原燃田中でございます。ちょっとここ、改めて午後、説明さしてく ださい。以上です。
1:48:42	はい。
1:48:43	はいコサクです
1:48:45	どう、会合でも何らか言ってもらわなきゃいけないって設計コンセプトか ら言ってもらわないとっていうので今田尻から話をしたところなの で、結果こうなってますみたいな話で言わないでくださいねって。

1:48:59	うだけですけど、よろしくお願ひします。
1:49:03	規制庁大谷です今言っていたいただきましたけど、%SPARTだけでやってもう、この審査のやり方も終わらないので、抜けがあるのかどうかというの、おっきな設計思想があつて、それに基づきながらでもやっていますよつたら、設計思想を確認した上で具体例を見てOKねつというふうに、
1:49:23	いえるもんだと思つているので、まず思想示してもらわないと話が繋がりづらいので、その点よろしくお願ひしますと。
1:49:31	で、さっきの話で耐震との関係また整理されるんだと思つんですけど、隙間が空いてる時のやつで、周りの構造物IIを期待するだとか進入角度をって話があつたと思つるので、その辺りを、
1:49:46	その考え方も多分示してもらわなきゃいけないと思つていて、例えば今回図で後ろの方、今回のやつどうかわかんないですけど、共通12について移つて、建物がどこまであるかとかも書かずに、かなんか、
1:50:01	この範囲までしか飛来物突つ込みませんつというふうに書いちゃつてるものとかあると思つるので、周りのものを期待してつあるならば、周りも含めて図面で書いていただいて、進入角度はこういうふうな形なので考慮されませんよと、それは平面だけじゃなくて、高さ概念も多分出てきてしまつと思つるので、
1:50:17	そういった点も踏まえて整理いただければと思つんですけど大丈夫ですかね。
1:50:29	日本原燃田仲でございます。図の方はそうですねちょっと書き切れてないところというのはまだちょっと精査、ちょっと継続してやつてるところでございます。周りにあるものが、例えば床がどこまであるのかわかんないカラー、水平のままでもいいのかと、多分そういうところだと。
1:50:46	認識しましたのでちょっとそこら辺ちょっとわかるようにワークさせていただきます。以上です。すいませんあと日本原燃蝦名です。あと、前段であつた
1:50:56	パーツで、こういう考え方ではなくて、ある考え方で例えばラビングなり倉庫つ。
1:51:04	直接ちょっとしないとかですなその辺の分けつというのがあるはずなんです、そこをちゃんとわかるように設計思想で示すようにしたいと思ひます。以上です。

1:51:15	古作です。ちょっと
1:51:18	助け船を出すわけでもないんですけど、私の頭の整理で、確認をします。
1:51:25	まず皆さんは、加工なんてそんなことを、
1:51:29	を出されたことは考えていなくて、進入角度を考えながら、想定される飛来物、
1:51:37	がエースぶつからないように、設置をします。
1:51:41	ということと、
1:51:42	いうのでまずは 19 ページで言うと、
1:51:47	家庭建屋屋上、
1:51:50	カラーにすぐに立ち上げるというのではなくて、隙間をあけると。
1:51:56	いう設計をしています。
1:51:59	ということだと思うので、進入角度ってどうなのっていうのは話をしないと先ほど言ったように水平でも意味がわかりませんよと。
1:52:08	ということだと思ってます。
1:52:11	で、他にも類似の話はあると思うので、そこ、その辺りもう
1:52:17	考えで、
1:52:19	統一できてるのかどうかっていうのを整理をしてということだと思いますけどまずここまではいいですか。
1:52:28	はい。日本のエビナです。今小崎さんがおっしゃっていただいた通り、ちょっと言葉が全然足りてないんですが、建屋の方の周辺設備等の配置状況によりっていうところがそこだと思いますそこを、
1:52:42	もうちょっとちゃんと部会で割かなきゃいかんなと思いました。以上です。はい。補足です。次に、
1:52:50	一体構造とはせずに分離しますと、
1:52:54	いうところがあって、それはどこか、そこはやはりスピーカー隙間ができちゃうと、
1:53:01	いうことにして、本当はそうだ。
1:53:04	隙間ができちゃうというところがあって、
1:53:08	それはその先はラビリンスにするのかスキーム 40mm に抑えるのかというところはあるんですけどまず開けるといって、
1:53:17	設計コンセプトがあるということだと思います。それは、
1:53:23	20 ページで言えば、基礎が違うところ。

1:53:27	について分けるということ等だと思うんですけど。
1:53:31	では、これは建屋側も同じで建屋跨ぐようなダクトについては、建屋ごとに設置をして、間を開けると。
1:53:41	間を空け別で作るということだと思いますけど、その考えでいいですか。
1:53:51	日本原燃田仲でございますはい。その通りでございます。
1:53:55	はい。
1:53:56	そうすると、じゃあそのスキーム、古作です。その隙間をじゃあどれぐらいで、どの選択を取りますかと、いうことがあって先ほど田尻が聞いたように
1:54:07	耐震の冒頭に応じてなのか、それ以外にも何かあるのかと、いうことを整理をいただくということだと思って、
1:54:15	ます。
1:54:18	いいですかね。
1:54:23	はい。日本原燃高です。はい。その通りだと思います。
1:54:31	ちなみに古作ですけどその時に 40 名でも当たるんですというところは何かセイリガクは、す、整理をして答えますっていうことでしたけどいつぐらいにお答え。
1:54:41	される。
1:54:43	予定でしょうか。
1:54:47	日本原燃田仲でございます。40mmに迫れた場合の防護盤同士の干渉するところの考え方とか、今のご質問で、先に受けましたクリアランスが何ぼ開けば、
1:55:00	ラビリンスにするとかそこの切り換え方の考え方っていうのは、ちょっと整理し、整理しましてちょっと午後のヒアリングですとちょっと説明できるようにちょっと考えたいと思っております。
1:55:10	以上です。はい、古作ですよろしくお願ひします。で、
1:55:13	ちょっと飛ばしちゃいましたけどその間にワー公正、
1:55:19	板で設置するのか、鉄筋コンクリート製で設置するのかといったところの選択肢も、手前にあってるような気が、手前なのかさっき何かどっちか先かわかりませんが、
1:55:30	あって、
1:55:31	でもあれですねそれによってやっぱり、

1:55:34	どこで分離するかみたいな話も出てくるような気がするから、
1:55:40	その部分では出てこなきゃいけないのかなと思いますので、そこも含め、整理をして、午後に説明いただければと思います。
1:55:49	で、
1:55:52	特に江藤、それで今の話でいうとですね、耐震で切っても切れないんですよ。
1:55:59	そうすると 18 ページに、耐震のことがあまり書いてないっていうのが、その選挙コンセプトを説明するのに不十分なんじゃないかなと思いますけどいかがですかね。
1:56:18	はい。日本原電シミズ。
1:56:20	今、考えておったのがちょっと明示できませんけども、⑤番、18 ページ⑤番で自然現象の中に、地震も入ると思ってましてその影響を防止するというのを、
1:56:31	入ってるんですが、シートが水に読めないんで、そこはちょっと考え方を考えたいと思います。
1:56:37	はい、古作です。
1:56:41	枠としては書いてあるっていうのはわからないですけど言われるように、具体の設計に繋がる方針。
1:56:48	別紙 4 なり別紙 2 で設計方針だと言ってる範疇のものはちゃんと書かないと、次のページに繋がらないっていうことかなと思いますので、整理をしてください。
1:57:06	はい。日本原燃の江田です。そうしました、整備します。
1:57:11	規制庁の谷です。今のどとりあえず乗っかってるやつの話が少し進んだところで、ちょっと 18 ページで認識確認しておきたいんですけど。
1:57:20	今 01 と 05 については無償で注意しますよというふうに言って、②から④に関して、あまり全部第 1 回の、同じですけど、0105 については後で示しますって形なんですけど、
1:57:33	これ②から④については説明事項がないっていうふうな考え。
1:57:38	でいいですかねまず。
1:57:46	はい、日本原電シミズです。
1:57:49	別添の中で説明する事項だという認識ではありますが、
1:57:54	論文の中に取り込んでというステータスなものではないという、ちょっと考えておりました。

1:58:01	はい。規制庁田井です。今言っていた別添との関係になると思うんですけど、さっき調べた20ページとかもうあの地震は出てくるんですけど例えば、
1:58:11	これはどうなった。
1:58:13	手にいかないところは全部見えないと思うんですけど。
1:58:15	そこに飛ばしてる記載は16ページで一応完結してるっていう整理ですかね。
1:58:23	はい。日本原燃シミズですねの記載の意図としては16ページで全体の整理をここに示してますというのを挙げている認識でございます。
1:58:33	清町の田尻です。
1:58:37	ちょっと今言われた構造設計の内容を類型化して全体整理した結果については別添で示すというこの一行になる感じですかその手前もある。
1:58:47	古作です。16ページは先ほど言ったように、根本的に関わると思うので、今の書きぶりでどう読むかをお話しても意味がないかなと思うので、
1:58:57	整理をいただければと思うんですが、18ページの下のダイヤも記載が悪くて、
1:59:06	ここは今回の例示の部分だけを言っているのか、全体の説明をしているつもりなのかという古藤
1:59:16	何となく記載ぶりが全体を言ってるようにも見えちゃうのが、誤解をしている原因なんだろうなと思ってます。
1:59:23	例えば②の裏面剥離は、更生板についてはあまり議論する必要ないですけど、鉄筋コンクリート製については、
1:59:35	議論する必要があって、
1:59:37	それについて今回は、構成のものでは例示がされていないので、厚生じゃないや鉄筋コンクリート製の方でアレンジされてないので、登場してこないんですけど、
1:59:52	飛来物防護版としての説明としては省略はできなくて、
1:59:57	それをどうするんですかみたいな話のときに別添に行ってるっていうことだから、
2:00:02	あくまでここは公正なやつですよとかっていうところd振るのか。
2:00:09	な。

2:00:10	次のページとの関係で、ここで何まで言わなきゃいけないのかもよくわかんないんですけど、ちゃんと整理をする必要があるということかなと思います。
2:00:22	はい。日本原燃志水です。18ページのダイヤ全体の整理もそうですけども、
2:00:28	ダイアル記載も7人を今回は、
2:00:31	その一部の例示を示しているのにつなげるためにこの第1回たつもりでしたが全体で読めるところない。全体として読めないようにちょっと記載の方考えたいと。
2:00:40	とコサクです。
2:00:41	一方ですすね。
2:00:45	何か違う方向に誘導してから来るようで申し訳ないんですけど、18ページは、17ページよりも前に、
2:00:55	1ポツからのつなぎで書くべきですよと。
2:00:58	いった対応をとると。
2:01:00	石毛、ある程度枠としては書かなきゃいけないんですね。
2:01:04	ここの部分で絞れるかっていうと、絞れなくて、それを踏まえた登場人物17ページと、
2:01:11	いうものは、一通り言わなきゃいけないから、
2:01:14	限定は言えないんですよ。
2:01:16	17ページってようやくこれのうちのここ、
2:01:20	さらにここっていう話ができるので、そこでようやく何らかの絞りの説明があり、
2:01:28	10、1920というところに繋がると。
2:01:32	ということで、説明以外のところは、今回イメージじゃない構造物。
2:01:39	なりの対応する方針なので、次回示しますよと。
2:01:44	ということになるんだろうなと思ってます。
2:01:51	はい。日本原燃志水です。ありがとうございますはい今おっしゃっていた流れを意識して資料の方見直したいと思います。
2:02:00	規制庁の谷です。すごい根本的な認識合わせをもう1回しておきたいんですけど、今17ページにあるように、対象設備としてはまず竜巻防護対策設備のうち飛来物防護板ですと、

2:02:11	飛来物防護板としては、構成も一応コンクリーも両方含めて飛来物防護板が対象です。で、その上に飛来物防護板に関連する条文に関しては今、共通 12 から共通 12 の方で他の条文書かれてるんですけど、あれも、今回説明対象でいいですか。
2:02:37	はい。
2:02:37	日本原燃シミズ 16 ページの全体の整理を考えると、関連条文のところも説明対象にしないと、後の説明に繋がらないので、
2:02:50	はい説明内容として追加したいと思います。
2:02:55	規制庁谷です。あんまり、いかほど追加されるかわかんないんですけど、かかろうが、外部火災だとか耐えるものは、一応今回の会合対象会合の対象ってことなんですけど会合で説明の対象と思っとけばいいですね。
2:03:14	あとコサクですちょっと補足というか、すると、別添についても説明対象という意味では対象なので、
2:03:24	ここのパワポ脳本体側に細かく書く必要はないと思いますけど、そういうところも意図して設計してますということは言っていたということかなと。
2:03:36	思います。で、要求事項は一通り言わないと設計成り立たないので言うっていうのはあるんですが、先ほど言ったように 18 ページはまず全体でってということだとすると、
2:03:49	別紙 2 の方までは行き着いてなくてですね。
2:03:52	ええ。
2:03:56	です。
2:03:57	し 4D 一番右側でこの類型のものに関連する方針ですよと色分けをしてるレベルでしか表現ができないんだと思うんです。
2:04:10	そうする等、
2:04:12	それを踏まえて類型として整理をしたのが別紙、17 ページであって、
2:04:17	そのうちの防護版で説明しますよと来るときに、
2:04:22	もう 1、
2:04:25	もうワンクッション本当はその別紙 2 が、
2:04:29	2 人も共通順位だとするんですけど、
2:04:33	最近しても
2:04:36	また何。

2:04:37	同じような資料出してんだみたいになるのでということだと思うので、
2:04:42	その点は、1920のページにあるようなところで、しっかりとつないでもらって関連する。
2:04:49	方針に対して公告をしますと。
2:04:52	いうふうに言っていただければと思うんです。
2:04:55	けど、
2:04:57	その際に、どの程度抜粋して書きますか。
2:05:00	細かなところは別添に振りますかと。
2:05:03	ということのかなというふうに思います。特に先ほどの大きな方針のところ裏面剥離とかの話であると、防護盤ってただけだと、
2:05:14	鉄筋コンクリート製性も含んじょうので外せないということなんですけど。
2:05:20	今回1920では、
2:05:23	鉄筋コンクリート製のものは入れてないんです。
2:05:26	が、
2:05:27	そこは今
2:05:29	飛来物防護盤が今回例示でって言っているけどあくまでそのうちの構成だけを例示で、
2:05:37	ということですかね。
2:05:40	どこまでを、その意味でも対象にしてるのかわかんないんですけど。
2:05:47	はい。日本原燃志水です。対象の認識としては、飛び火ライフを置いたの。
2:05:53	さらにコンペターの、さらにその差、配置設計の部分に特化してちょっと配置例としてご説明するという考えでございました。
2:06:05	コサクですってそうすると一、本当に何か例示でしかなくて、
2:06:11	竜巻の防護板であっても、4月に議論を持ち越すと。
2:06:17	いう感じになりますけどその認識でいいですか。
2:06:30	はい。日本原燃清水です。はい。その認識の通りで4月で再度、全体としてご説明する必要があるというふうに考えてございます。
2:06:41	はい。コサクですわかりました。一方で別添の方は一式出てくんですよな。
2:06:49	はい。日本原燃日比です。はい。別添の方は一式つけたいと思ってございます。ただ、この中身をですねすべて、前、

2:06:59	その内容のご議論をもう少しちょっと、
2:07:02	仁木がいるのかなと思ってございました。
2:07:06	はい。コサクです。ごめんなさい。一色と言ったけど、
2:07:10	防護盤一式。
2:07:13	ですかね。
2:07:15	日本原燃志水はい。はい。5番の香西RC材鉄筋コンクリート製両方の意識でございます。
2:07:22	はい。コサクですわかりました。で、その他の機器は、別添も含めて、4月持ち越しですね。
2:07:32	はい。日本原燃清水です。はい。その認識でございます。
2:07:37	はい、尾崎です状況はわかりました。で、先ほど言ったように、構成でいくのか鉄筋コンクリート製せていくのかといったところの仕分けは少なくとも議論かなど。
2:07:48	思っていて、そうすると若干その別添側書いてある小鉄筋コンクリート製の方も触れることはあろうかなとは思いますが、それは
2:08:00	そちら側で説明ということであれば4月も少しで整理して回答し、説明しますというふうに言っていただくということでいいのかなと思えました。はい。
2:08:10	以上です。
2:08:21	規制庁志水ですか、どこまで規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:08:34	よろしければ、ちょっと昼、
2:08:37	死に過ぎてしまったので、ちょっと午前中は一旦、この5番のところまでで、後、引き続き申請準備の機能をやりたいと思いますが現在はそれでもよろしいでしょうか。
2:08:53	失敗日本エリアでございます。はい。そういう形でお願いします。
2:08:58	はい。規制庁清水です。それでは介護資料のここまですべてについて振り返りをお願いします。
2:09:11	はい。おはようございます。まず初めに耐震部分でございますけれども、地盤モデルの設定部分の6ページ目のところでございますけれども、こちらの方といたしまして
2:09:21	前回の資料のところ記載している、第1回との内容の部分に関しましてはその内容を記載させていただいてそれを踏まえた上でこういう検討を実施しているといったところで、

2:09:31	6 ページ目のほうに記載させていただきたいというふうに思います。
2:09:35	あとその他
2:09:37	9、7 ページ目以降で解析結果の方を使い、記載させていただいてございますけども、こちらの方の部分に関しましてはもう少し前提条件がわかるような形の方で修正させていただくとともに少し沖の部分がございますが、その部分に関しましては、
2:09:52	修正の方さしていただいきたいと思います。
2:09:55	またまとめの 11 ページ目の方につきましては、少し会合の進め方といったところを社内で議論させていただきましてその上でこの上の記載部分も追記必要があれば、追記させていただいて次回、
2:10:08	させていただきたいというふうに思います。以上でございます。
2:10:13	はい、日本原燃清水です。16 ページ以降でその部分ですけどもまずは 16 ページですね、全体の整備の流れ、後に何を説明するのかということ意識してちょっと 16 ページの方を全体的に見直したいと思います。
2:10:28	その流れを踏まえまして 17 ページ以降、
2:10:32	記載順番ですね、18 ページ目の基本設計方針が入口になるのでこちらをこちらを先に持ってくるなりという修正をすると。
2:10:40	有効これ直したいと思います。あとは今回の説明範囲を 18 ページのところ限定かけてますけども、順番直りますので、17 ページの中で、
2:10:52	飛来物防護板にコンクリート鋼材で鋼板の一部について今回説明するというようなような流れでいくと全体説明の、
2:11:01	流れの方を見直したいと思います。あとは
2:11:04	今の考え方ですね、今、宿題いただいておりますので、今後のヒアリングの中で、
2:11:11	考え方の方設計のコンセプトの方をしっかりとご説明できるように整理するとその内容を、
2:11:17	192 ページの資料の中にしっかり書き込みたいというふうに考えております。はい簡単ですけど以上です。
2:11:24	規制庁コサクですすいませんちょっと言い漏らしちゃったんですけど。
2:11:29	17 ページ、ごめんなさいまず、振り返りで不足してた点でいうと、14 ページは外すということ。
2:11:39	は
2:11:40	ただ言わせるだけだと思いますので、よろしくお願いします。

2:11:44	で、17 ページ、
2:11:48	まずは確認なんですけど、新設と新設以外と分けていて、両方に冷却塔があるんですが、これ別々に、
2:11:59	説明するんですか。
2:12:05	はい。日本原燃根井シミズです。
2:12:07	今ちょっと考えておったのが、新設以外のところを出ている。
2:12:15	冷却塔は、
2:12:17	すいません。江藤。
2:12:19	そっか。
2:12:22	耐震補強なりで、とか
2:12:25	強い学校とかを入れたところ、
2:12:28	改造のときにこの変更点につなげてそこの部分の構造について説明するというのを考えておったので今ちょっと分けて説明する考えでございました。
2:12:40	古作です。それは、耐震側での説明ではなくて、
2:12:46	こちらで説明するんですか。
2:12:55	はい。日本原燃志水です。耐震の観点もあるのと、あくまでこの冷却塔は屋外ものなので、追加要求として、八条の竜巻の評価なりっていう、
2:13:07	追加事項が主になる説明かと考えて、外部衝撃の分類に入れました。今高坂さんおっしゃっていただいた通りその説明だと、
2:13:17	竜巻の観点でいうと既設も、新設の施設も、確かに説明内容という位置付けは変わらないのかなということで、ちょっと種類の仕方をもう少し考える必要があるかと思いました。
2:13:31	古作です。
2:13:35	飛来物防護ネットを設置した上での冷却塔での屋外で、
2:13:41	外部衝撃で考えなきゃいけないことと、
2:13:45	というのが、耐震補強といかほどのものかどっちが主かと。
2:13:49	いう。
2:13:50	気はするもののどっちで説明するならそれで別に構わないんですけど、
2:13:56	耐震補強としての説明のし、
2:14:00	をどうしていくのかということがまだ見通せてないので、分けて説明できるのかまとめた方がいいのかっていうことも含め私はちょっとわからないんで、

2:14:10	その点は
2:14:13	整理をしてまた、
2:14:15	お話しただけだと思います。
2:14:17	で、
2:14:20	とそうだな。
2:14:28	ここで最後に落雷、
2:14:31	防護対象施設っていうのが主に出てきてるのは何ですか。
2:14:40	はい。日本原燃志水です。
2:14:42	こちら計測制御設備につきましては、今回の新規制基準追加要求で、一番適合性説明に主になるのが外部衝撃だと思ってまして、落雷の観点で建屋間の保安器の設置なり、
2:14:59	ていうのが本
2:15:02	主たる説明事項かと考えて今この分類に整理してございました。
2:15:06	古作です。それで雄踏、このページの表題わーころん竜巻鍵括弧ってなってるんですけど、かぎ括弧閉じってなってるんですけど。
2:15:16	次のダイヤは、それが書いてなくて、今言われてるところでいうと、外部衝撃全般での類型を示されていると。
2:15:25	いう認識のようなんですけど。
2:15:28	他の事象についてまだあまり話をしてなかったものでこれじゃあ全体不幸ができてるのかっていうのが、
2:15:35	わからないんですけど、大丈夫ですかね。
2:15:39	すいません日本原燃清水です。今高坂さんおっしゃっていただいた通り、
2:15:44	今の竜巻の方を指令説明をしていて他の条文のところの、
2:15:50	説明が十分できてないので、この分類でいいのかっていう会社で全般で言ってしまうと、今、ご議論できてない状況ですのでちょっと対象を、
2:16:00	竜巻に絞るような形の、
2:16:04	記載ちょっと考えたいと思います。
2:16:08	はい。補足です。共通順位の方も、事象ごとで分けて作られているの束ねるのってどうすんだろうなど。
2:16:15	疑問だったので今回、とりあえず竜巻で話をされるならそれで結構です。

2:16:21	最後まとめようと思うんだとすると先ほど話になった火山とかもですね、追加考慮事項はあるので、
2:16:29	累計はそんなに変わらないような気はしますけど、表現ぶりは違うと思いますし、
2:16:35	また、その議論が必要かどうかわかりませんが、もしやられる場合は、それに、
2:16:41	についても検討の上で、提示いただければと思います。
2:16:45	以上です。
2:16:53	規制全体として規制庁側から確認がございますでしょうか。
2:17:02	はい。よろしければ、一旦の午前中のヒアリングはこれで拾うと思いますので、
2:17:10	原燃が午前中について何か確認がございますでしょうか。
2:17:17	日本原燃、特に午前中の件じゃない。
2:17:20	今後の改修は、時間通りでよろしいですね。はい。1時半再開で。
2:17:27	よろしく願います。はい。
2:17:30	別に、よろしく願います。はい。これで6を、てします。
0:00:00	よくお伺いしました。成長してみるですとそれは午前中に引き続きヒアリングを、
0:00:06	実施したいと思います規制庁側のメンバーについては特段の5連休と変更はありませんが、あと原燃側もし変更があれば、
0:00:15	紹介願います。
0:00:19	はい。日本原燃の藤尾です。午前中から少しメンバー入れ替わっていますので事務局以外ですね、設工認申請書の不備に係る対応した対応メンバーをもう一度紹介させていただきます。
0:00:30	ズスキツジモトタガワホシノ。
0:00:34	ホリグチシバザキ。
0:00:36	以上で対応させていただきます。
0:00:39	藤。
0:00:40	ご説明する資料ですが、3月20日に提出した設工認申請の対応状況ということで
0:00:57	はい。日本原燃の藤です。よろしければ議題3ですね、設工認申請書の不備についてというところでご説明させていただきます。ちょっと22

	ページに余計な資料挟まってしまいましたので、こちらの方は削除させていただきます。
0:01:13	それでは説明の方に入らせていただきたいと思います。
0:01:20	日本原燃鈴木でございます。
0:01:23	本日説明する資料としましては審査会合の資料の方の 23 ページから 28 ページの分と、あと別に出しています。
0:01:34	要因分析とあと時系列になっております。
0:01:38	あと審査会合の方の資料の方ですけども、23 ページ目の方にですね、計画的な実施業務ができなかったというその要因について、要因までをここで整理しました。
0:01:51	対策については、今回の不備の対策、あゆみの要因とあわせまして、26 ページの方であわせて対策のほうを記載しております。
0:02:01	24 ページの方でございますが、こちらの方は、今回確認された記載不備の要因について、その資料、まず不備の形態に、
0:02:12	ちょっと分類して、不備の数の等は、数ですね、こちらの方について、今、整理すると整理するというふうに伺ってますけども、
0:02:22	現在集約中のあることもありまして、こちらの方は早急にちょっとせご提示したいなと思います。
0:02:30	あとちょっと訂正のほうになりますが、不備の数の方の方にですねページ以降という形で書いてあるんですけども、これが前回進みました。
0:02:39	通りですね、この下がこの数については事象とページがちょっと混在してるのでここもちょっとあわせて修正した形で、早急に出したいと思っております。
0:02:51	あとは、再発防止対策の方については 26 ページの方に合わせて、都合 123466 点ですね、こちらの対策を挙げて、
0:03:02	進めていきたいというふうにしております。
0:03:05	続きまして要因分析の方の資料になります。こちらの方の修正点につきましては、
0:03:11	まず 13 分の 1 というところで、今回の計画の数多なところについて、一番最初の上段のところですね、要因分析を追加しております。
0:03:23	前回いただいたコメントの中で、
0:03:26	次の、今回の不備の要因分析のところの、

0:03:32	記載漏れの下の方のところです。こちらの方について、ポツのところをちょっと記載したところが、問題点とわかりにくいという形で、問題点と、ひもつきができるような形で修正をしております。
0:03:49	説明の方は以上になります。
0:03:59	はい。
0:03:59	規制庁、市民です。角谷申請書不備の内容に関して規制庁側から確認ございましたらお願いします。
0:04:10	規制庁カミデです。ちょっと、聞き取れなかった部分もあるので、説明済みかもしれないですけど。
0:04:21	とりあえず23ページで、数ですね、何かページと事象がまざっているとかって言われたんですけど資料上は今全部ページになっていて、
0:04:31	何か、どういう説明をされたのかよくわかんなかったんですけど、状況を説明してもらえますか。
0:04:38	日本原燃鈴木でございます。今資料のほうページところに記載されてるんですが、この数については前回お勧めした方と一緒にして、
0:04:46	今
0:04:48	ですねまだ単位のところが事象と。
0:04:51	少数と平日のところはまだ仕分けちょっとできてないと、状況になりますので、こちらの数については今、早急に
0:05:01	この数をですね、整理してご提示したいというふうに考えております。また単位の方についても整理して提出したいと思っております。すみません。
0:05:10	規制庁神です。
0:05:13	数はこれで単位を整理します、今全部ページにしてるんですけど事象のものもありましてというのであればまだわかるんですけど、数が変わるかもしれない単位も変わるかもしれない。
0:05:26	じゃあ、これ一体何なんだって気がするんですけどちょっと状況が大分混乱するんですが、いかがですか。
0:05:34	日本原燃都築でございます。例えばね仕様表のこととところで説明しますと今700となっているんですけども、
0:05:43	実際にはこれは長屋の設備項目数っていう形になると、700なんですけども、対象ページとなると、設備項目ごとにPay Pay時が、11毎になりますので、

0:05:54	伊勢のページ数っていう単位にすると、増えるということで、ちょっとこの記載の仕方をですね、
0:06:04	何か実証するとページ数というふうに混在する書き方だと、ちょっとわかりにくいなっていうところもあったので、そこを混在して単位を各課ページで合わせるかというところを、ちょっと今整理しているところでございます。
0:06:17	以上です。
0:06:23	規制庁上出です。
0:06:29	数字と単位両方変わる。
0:06:32	これはありませんということでもいいんですか。
0:06:40	古作です。
0:06:42	多分両方変わるんじゃないかなと思いますけど。
0:06:45	そもそももう、
0:06:47	ペイジーだったり、事象だったり、機器数だったり、いろいろありましてっていうのは前回話がされていて、
0:06:57	いろいろあるんだったらちゃんと内容がわかるようにしてねっていう話をしたのに、
0:07:03	ページに書き換えた上でページじゃちょっと違うかもしれないねとかって言いながら、検討してすって、どういう作業状況で、我々に何を説明したいんですか。
0:07:17	日本原燃都築でございます。本当に、資料間に合ってなくて申し訳ございません。こちらは今本当に早急に進めているところでございまして、
0:07:26	別途改めて早急に出したいと思います。コサクですそんなことは聞いてなくてですね。
0:07:33	いや本当に検討してるんでしょうけど、
0:07:38	だって、前回のヒアリングから何時間経ってるんですかというときに、整理の方針も決まっていってどういうことですか。本当に検討してるんですかって感じになっちゃうじゃないですか。
0:07:53	日本原燃鈴木です。ですねその要因ごとの整理を要因ごとの振り分けをですね、今やってまして。
0:08:02	実際、前回までそこできなかったところがあったのでそこを早急に進めているというところが実態でございます。それがある程度出てきたので、それを今度最終的な数としてこう出したいなというところで今、

0:08:16	整理をしているところです。補足です。すいません話が飛んじゃいましたけど、今言われたのは24ページの方の話だと思うんですが、
0:08:25	そこの作業をするにあたってやっぱり単位なり、数え方どうするかってのが基本にないと、この作業もクローズしないはずで、
0:08:35	何その感じのことの整理をしないままに、別の作業ができちゃったのかっていうこともよくわかんないんですけど、どうなってるんですか。
0:08:49	はい。日本原燃鈴木です。
0:08:51	これちょっと、すいません今、
0:08:54	ですね、ちょっと最後の甘いところがあって、今、至急やってるっていうところ終わった後、社内的にもう議論してる場所があって、そこでちょっと時間かかってるっていうところです。
0:09:06	衛藤コサクです社内的に議論というのをちゃんと説明してもらいます。15分あげますよ。
0:09:19	コサクです。検討のスタートはいつですか、ヒアリングはいつで、検討は。
0:09:42	規制庁、佐治です。全然音聞こえてますか。
0:09:52	二本木ズスキです聞こえております。
0:09:56	古作です。これも答えられないんだったらヒアリングする意味がないので、もうやめましょう。
0:10:04	資料としてもいいんでわかんないことが多すぎるんですけど、
0:10:07	お話できないということだと思うので、絵本ぶっつけ本番でもいいので、対応をしっかりとしておいてください。
0:10:15	原燃の品質管理の、
0:10:17	ため様、公開でさらされることになると思いますのでよろしくお願ひします。
0:10:25	日本原燃の酒匂です。前回ヒアリング3月16日の日にヒアリングをさせていただいて、冒頭鈴木から説明した通りその物量関係、ページであったり、混乱しました。
0:10:37	その後要因ごとに分けてPHITSとかシェアを整理するといった段階で当然、ページにするのか、事象にするのこの度はこちらなければ、講座の作業ができないということで、そのヒアリングが終了した後に、関係者全員集まって、これはもうページでそれをということで認識合わせをしました。

0:10:57	それで私の方からそれで再度整理するように指示をしておりました。すいませんそのあとですね、私のフォローが十分できていなかったのもまだこんな状況で、資料を提出するに至ったといったところで私の管理不足で申し訳ございません。
0:11:17	規制庁コサクですけど、16日のヒアリング後2ページで整理をするという検討をしたと。
0:11:26	ということですけど、その郷サトウさんがフォローしなかったがゆえに、
0:11:35	現時点になってやっぱりページじゃなくてっていうことに、
0:11:40	話題がまた発散してるっていうことなんですか。
0:11:46	日本原燃佐藤ですすみませんこれはもうページの方でご説明するつもりですはい。
0:11:52	ちょっと説明の仕方が悪かったと思います。
0:11:55	古作です。鈴木さん、どういう説明の意識でしゃべっておられたんですか。
0:12:05	日本経済ズスキです。衛藤。私も、最終的なページで整理したいなという、する方向で今整理を進めております。
0:12:14	以上です。補足ですいません。先ほどそういう説明になってなかったような気がしたので、どういうつもりだったんですかって聞いたんですけど、聞き間違いですか。
0:12:24	うん。
0:12:25	すいません。ちょっと説明の仕方が悪かったと思います。いろいろちょっと考えはあったんですけども、最終的なページでお聞きしたいというのは、最初から思っておりました。以上です。
0:12:39	表現のサトウですすみません補足させてください。もともと図書、図書ではページであろうが事象であろうが、ある意味一つにちゃんと整理してまとめてカウントできると思ってます。
0:12:50	その後今の司会介護事業であれば24ページのところ、
0:12:55	集約中というふうに書いてますけどもその下に米印が書いてありまして、それぞれの問題点にはその1ページ辺り複数の問題点があるということで、ページ数としては一つであるんだけど、
0:13:09	それがチェックのプロセスの形骸化によるものであったりとか、そのルール不足であったりとかっていうのが混在してるものもあって、この辺

	りをちょっとどうを説明しようかといったところでズスキの方が悩みがあったというのは事実でして、
0:13:23	そこはですね技術として必要なんですけども、外的な要因として、どちらがその支配的要因だったかといったところを我々の方で整理して、ページで統一しようということで作業進めたつもりだったんですけども、
0:13:38	すみませんここもあまりちょっと認識しっかりとした認識共有が取れないまま、私の作業指示したといった形になっておりました。申し訳ございません。
0:13:48	古作です。どっちでもいいんですけど、
0:13:53	ページで言うとし、
0:13:56	ダー仕様表だと複数ページ2、市来の三つであっても、跨ぐのがあって何ページっていうふうに加算されると、いうこと、一方で、
0:14:09	短い使用表であれば1ページに二つ入ってたりと、
0:14:13	というようなことがあったり或いは計算書でも、1ページに複数の店が入っているということはあるということなのでその場合には、2件だけど、1ページになると、
0:14:25	というようなでこぼこはあるけども、
0:14:30	ページ数で整理をした。
0:14:33	していくっていうことですね。
0:14:37	日本原燃佐藤です。はい。その整理でご説明したいというふうに考えておりました。
0:14:42	古作です。そうだとすると、23ページにそういうカウントの仕方だって書かずにページと書いて、
0:14:51	24ページに注記でそんなことが書かれてと。
0:14:55	いうのでいいのかっていう気もしますし、
0:14:59	24ページは集約中ってことですけど、
0:15:02	そうすると1ページでもう、どちらにもぶら下がるっていうのがあったときに、先ほど何か、
0:15:10	どちらが主要なかって言ったような気がしますけど主要の判断の仕方もよくわかんなくて、どちらかというダブルカウントするんじゃないのっていう気もしますけど、どうなってます。

0:15:25	はい。日本原燃鈴木です。ダブルカウントをちょっと考えてまして、そうしたときに、今合計の不備の価値が今 2200 と。
0:15:36	多分灯になってますけどもそうしたときに、24 ページのところの表のところ、実際これを、数を合計すると、2200 を超え、
0:15:45	超えるパターンが出てくるので、そうするとそれ見せ方としてどうかなっていうところでちょっと悩んだりもしてたので、
0:15:52	そこをですね、ちょっとダブルカウントする形でちょっと記載をして 1 ページで記載していきたいなというふうに思っております。
0:16:00	以上です。
0:16:01	はい。補足です。その部分はこの注記が書いてあることで何も悩む必要はないと。
0:16:07	思うんですけどねこれまでもう原燃の渋田そんなのたくさんあったと思う。
0:16:11	ですよ。
0:16:13	なので、とりあえず作業の方針はわかりましたけどわかるような資料にしてください。
0:16:20	ということかと思えます。上出さんどうぞ。
0:16:27	はい。規制庁上手です。
0:16:29	じゃ、次に 13 ページの二つ目の矢羽根ですけど、
0:16:37	書いてあることはいや、これをやりましたっていうだけで、
0:16:42	何ていうかもうちょっとこう、
0:16:46	背景とか、なぜこういう今回こういう説明をするに至ったのか、こういう分析をし対応をすることになったのかっていうことをもうちょっと書いて欲しい。
0:16:59	ですね、最初に最初にこんなことがありましてという。
0:17:04	あってで、
0:17:06	最初に山根の事象っていうのは、今回初めてじゃなくて前回も同じようなことがあってということだから、前回の要因。
0:17:17	分析のところもあわせて今回見てみましたみたいなそんなことを二つ目の矢羽根に書くんじゃないかなと。
0:17:26	てはいたんですが、
0:17:28	まず原燃としてはどういうふうに理解してますか。
0:17:35	江村県ズスキでございます。

0:17:38	等ですね今おっしゃられた通りかなというふうに思っております。以上です。
0:17:44	はい。規制庁深見です。それで二つ目の矢羽根はちゃんと書けそうですか。
0:17:52	はい。日本原燃都築でございます。記載をしたいと思います。
0:17:57	以上です。
0:17:58	あと、規制庁カミデです具体的に記載のイメージが持てるかどうかというところなんですけど、頑張るっていうのはわかるんですけど、大丈夫ですか。
0:18:10	コサクですけど、イエスノーだとイエスというだけなので、
0:18:15	質問しますけど、
0:18:19	この項目なんですか。
0:18:21	私の前回ヒアリングで言ったこととは違うんですけど、
0:18:25	原燃は何だと思って書いてるんですか。
0:18:34	日本原燃都築でございます。
0:18:35	ここは、第2回の申請、
0:18:40	にあたって、第1回の補正のときの審査会合になるんですけども、その時点において、第2回の申請においても、しっかりチェックとか、
0:18:52	プレス何分で不備がないように、
0:18:56	計画的に進めなさいと。
0:18:59	いうことを、
0:19:00	設計があってそれに対して、当社の方ですね、計画を立ててちゃんと進めますといったことを発言したにもかかわらず、実際は今回の海のようなものがあつたと。
0:19:12	いうところの反省が抜けてたのでその反省を今回要因を洗い出して対策をしていこうというふうに、
0:19:21	進めていってその内容をここに記載したいなということで記載をしたものでございます。
0:19:26	以上です。
0:19:28	古作です。
0:19:30	今は何ともと言われたような気がするんですけど、資料がそういうふう に書いてあるとは思えなかったんですね。
0:19:38	当資料に書いてあるのは11会合での指摘。

0:19:42	事項として、
0:19:44	それに対して対応ができてなかったってということなんですけど。
0:19:48	今言ったことはこの指摘では読めなくて、
0:19:52	何でこうした資料になったんですかね。
0:19:55	先ほどカミデが
0:20:00	その申請前の、
0:20:02	ことを踏まえて、
0:20:05	分析してくんじゃないですかと言ったときの分析の戻って、何だったの かなっていうところとあわせて説明いただけますか。
0:20:23	日本原燃都築です。もう一度お願いしますすいません、質問の内容がち よっと。
0:20:28	確認したいんですけども。
0:20:33	古作です。端的に言いますね。
0:20:37	先ほどの説明と、この資料の記載ぶりが合っていないように見えるんです けど、この資料は何でこんな書き方をしたんですか。
0:20:47	網野都築でございます。この資料の方はですね一応、私が先ほど言った 通りの通りのことちょっとか頭にあって実際に書くにあたっては、
0:20:58	やっぱりどっかでの会合での内容をちょっと変えて、展開していく必要 があるのかなというふうに思いまして、11月の審査会合ってということの ワードをちょっと入れて、記載をしたということになっております。
0:21:12	以上です。コサクですけど、じゃあ、資料作りのテクニックが余りにも 稚拙だっていうことだと理解をしましたけど。
0:21:19	先ほど上出が言ったところで言うと、やるといったことがやれてなかつ たと、いうことのやるっていったことって、どこに書いてあるんです か。
0:21:32	日本原燃都築でございます。23ページの表の中の一番左の別の下のとこ ろに記載をしています。
0:21:42	以上です。
0:21:43	この2行、古作ですこの2行では審査会合成り立たないんですよ。
0:21:48	会合でこんだけしか説明しないで、
0:21:51	了承されて申請に至ったんですけど。
0:22:00	日本工営の鈴木でございます。実際に、そのときのメモとか見るをちょ っと要約してる部分がありましてですをちょっと、

0:22:10	はい。メモって言ってる時点で間違ってますよ。
0:22:15	会合資料でさんざん説明されそれも直しが毎回発生して、何回も会合で話してるんですよ。
0:22:22	11月だけじゃなくて、
0:22:24	4月とか、
0:22:26	その前から、
0:22:27	だったと思いますが、
0:22:45	日本原燃都築でございます。
0:22:46	今回の記載したところについては、
0:22:51	1月の審査会合のときに、計画立ててやります。立ててないねと今まで持っているところのやりとりがあってそこだけをちょっと記載しております。
0:23:01	10、その前からですね共通0なんかの不備があって、対策を何回かかけて進めてるっていうのがあったんですけども、
0:23:11	一番大きなところは、計画的な業務ができてないというところ。
0:23:16	がすべてなのかなということで今回そこだけをちょっと切り取ってですね、表にしたという形になっております。
0:23:22	以上です。
0:23:25	古作です。
0:23:29	作業が総切り取っただけってなっちゃってるから、
0:23:33	前々回の制限っていうのをしっかりと踏まえた分析になってないというふうに見えると。
0:23:39	いうことはご理解いただきました。
0:23:44	日本原燃鈴木でございます。理解しました。
0:23:49	古作です。だからこそ、どういうところまで書いて、どう展開をする必要があるのかと。
0:23:55	いや、やりますわかりましたって言ってるんだったらどれぐらいのことをやるつもりなのかを語ってください。
0:24:06	日本原燃鈴木でございます。
0:24:09	今までに挙げたですね、審査会合で対策を挙げた内容についてですねちょっと拾って、それについてそのときの事実と、

0:24:21	問題点ですね、そこと投与中を記載していきたいなと思ってます。ただ全部架空のはあれなので、ちょっとそこを社是に選択して、ちょっと記載を、
0:24:32	したいと思います。以上です。コサクですけど全部カバー内できるようできる理由が私にはわからないんですけど何ですかね。
0:24:41	日本原燃鈴木でございます。
0:24:44	ようやく全部書き足らないっていう浸透力、
0:24:50	資料の不備の体制をとってという形で整理したいなと思います
0:24:59	コサクですちょっとマイクの調子だと思うんですけど、
0:25:03	何一つ聞き取れなかったので、
0:25:06	ちょっと、
0:25:08	マイクの設定を少し整理をしていただいた上で改めて発言してください。
0:25:15	日本原燃都築でございます。
0:25:21	日本原燃鈴木でございます。どうでしょうか。
0:25:25	と、
0:25:26	コサクです。今の最後のはよかったですね最初の発言はちょっと危ない雰囲気もありましたけど、とりあえず話してください。
0:25:37	はい。日本原燃都築でございます。
0:25:46	藁谷の審査会合での対策について、衛藤角。
0:25:58	宮城鈴木でござい。ちょっと今聞き取れなかったのです。
0:26:03	コサクです多分通信
0:26:06	対前、その前にしゃべったやつが改めて送信されてしまったことだと思いますので、気にせずにしゃべっていただいて結構です。
0:26:16	はい。日本原燃鈴木でございます。
0:26:21	ですねまとめ方としては審査会合等で、宣言したですね対策がどうだったかっていう観点で、整理したいと思います。以上です。
0:26:35	コサクですけど、それはようやくくーはせず2項目も漏らさずに一つ一つ変えていくと言われたという理解でいいですか。
0:26:46	日本原燃鈴木です。はいその通りです。
0:26:49	はい、古作です。そうすると次のページからのものとダブると思うんですけど、
0:26:54	その点はどうされるおつもりですか。

0:27:03	日本原燃都築でございます。Wというのは記載不備の要因の内容と、とダブるってところかと理解して、
0:27:13	その辺については、今回の 26 ページで、
0:27:19	今日、
0:27:19	同じようなところについて、ここですべての要因を出して、それに対して採択再発防止対策としては、一つを提示するような形で資料をまとめていきたいなと思っております。
0:27:34	以上です。
0:27:37	コサクですけどちょっとよくわかんないんですけど対策。
0:27:42	立案するのは、二つの分析を束ねた形で、
0:27:47	26 ページでまとめて記載するのでWは生じませんって言われたんですが、
0:28:12	古作ですけど聞こえました。
0:28:19	超えてないか。
0:28:21	すいません日本原燃都築でございますちょっとマイク。
0:28:25	ちょっと本にするの忘れました。日本原燃鈴木でございます。
0:28:34	そうなんだ、まだ振り返った要因と、不記載の不備の要因を一覧にしまして、26 ページの方のやり方になるんすけども、
0:28:45	こちらに対してすべて要因を出して、それらの要因に対して再発防止対策を、
0:28:51	求めるような形で、潰し込みをして対策をしていきたいなというふうに思います。以上です。
0:28:57	コサクですけども、
0:29:00	ね。
0:29:01	回答していただいたようお願いしていないようなので、確認しますが、23 ページで第 1 回の審査会合対応或いは補正の対応での不備と。
0:29:14	いうところを踏まえた対策っていうのを挙げて、その対策が実行できていなかった原因、要因っていうのを抽出をすると。
0:29:25	ということで 25 ページでは、第 2 回申請での不備っていうのを、事象から、上げていって問題点を抽出し、要因分析をすると。
0:29:36	いうところ。
0:29:38	で、26 ページに行くと、23 ページの要員と、25 ページの要員を並べて、

0:29:46	その上で、全体としての対策というのを立案した状況を説明すると。
0:29:54	ということですか。
0:29:58	日本原燃鈴木でございます。その通りでございます。
0:30:01	はい。補足です。そうしたときに、
0:30:05	二つの要因。
0:30:06	が出てくるんですけど、それはどう並べるつもりですか。
0:30:22	日本原燃都築でございます。その二つの要因に対してですね、とる対策が一つであれば、再発防止対策のところ、
0:30:33	番号等で紐づけてその要因を潰せるというような形で整理をしたいなというふうに思っております。
0:30:40	古作です。ちょっと伝わってないですね。
0:30:43	要因をどう並べるつもりですかと言って対策との関係まだいってないんですけど。
0:30:49	対策と、
0:30:51	一つの対策に関連するものっていうのが、例えば 23 ページのやつを要因 1、
0:30:57	25 ページのもの要因にといいますか。
0:31:00	一つの対策に対して要因 1 から来るものに対応できるもの、容易に対応できるものってのがありますと。
0:31:09	なったときに、要因 1 から 41 のうちのその部分と良い 2 のその部分というのをどう並べるつもりですか。
0:31:24	日本原燃の佐藤です。今介護資料の 26 ページのところ、これ今分析の今 1 と 2 両方セットで合わせたようなものなんですけども、病院のところに、
0:31:39	例えば経営層のところに、一つページ数を誤ってるんですが例えば①であれば 2224 とあります。これは正確には 2325 っていうことで、それぞれ別の観点で見た時の要因が重なってるものについては、一つにまとめてどちら。
0:31:53	ページが引用したかということでお示ししようかなというふうに考えておりました。
0:32:00	古作です。
0:32:02	藤。
0:32:11	それでいうと最初の項目が提示が二つ書いてあるということなので、

0:32:17	同一の要因だというものは同じようにそれぞれのページに書いて、このページではまとめて書くと。
0:32:25	いう方針ですね。
0:32:32	日本原燃都築でございます。その通りでございます。
0:32:37	はい。コサクです。
0:32:41	今経営層のところはページ数入ってますけど、
0:32:45	その下の欄わー書いてないんですけど、これは何ですか。
0:32:52	日本原燃都築でございます。事務局と作成担当課のところの要因については、ページ振ってないのはこの今回の記載の不備の要因から出た要因ですのでちょっとページのほうの記載はしておりません。
0:33:06	日本原燃の佐藤で補足させていただきます。最初の会合からの展開したものが、経営層にちょっと特化した形で我々、今回抽出しましたので、当然事務局であるとか査定担当、
0:33:20	これらについても会合でお話させてもらってますので、それを今回も追記する形になりますので要員の方もそれぞれ増えてくると思い
0:33:28	よる。
0:33:30	はい、古作です。
0:33:32	なので、最初に言ったようにさ、最初のページでの分析が随分と断片的ですねということに、
0:33:40	なっているというのがこころ辺でもわかるということだと思います。で、単純に言うと、
0:33:47	ほとんどのものが
0:33:50	チェック体制の不備、或いは質の低さと。
0:33:55	ということ第1回の際にずっと行ってきたはずなので、ほとんどがダブるんだらうと思ってたんですよ。
0:34:05	なのでわざわざ2ページを開けても同じですよとは思いますが、やりたいならば50にやっていただいてもいいんですが、似たようなことを違う表現で行って並べ立てられて、これとこれはどんなどういう違いなのかっていうのも、
0:34:19	何か不毛な気がするので、
0:34:23	わかりやすい資料作ってくださいねというところかと思えます。
0:34:34	そのあたりは、
0:34:40	はい、補足ですカミデさんどうぞ。

0:34:46	はい。規制庁深見です。
0:34:49	あと 24 ページ。
0:34:53	23 ページの関係なんですけど、
0:34:58	24 ページは、23 ページの一つ目の矢羽根の展開ですよ。ページは、3 ページの一つ目の矢羽根の点で、一方で 23 ページの表というのは、23 -5、23 ページの表っていうのは、
0:35:12	A3 の下に年度限界なので、何か順番逆な気がしていて、まずはどんな不備があったかっていうところを先に話をするんじゃないかなと思いますけど、事業者と思います。
0:35:28	日本原燃鈴木でございます。今回説明したいのは、今までの過去の審査での振り返りと、申請者の不備のところ、
0:35:40	になってます。
0:35:41	一番重要なところは系架空的な業務ができなかったというところで、最初に持ってきたかったっていうのがあるんですけども、
0:35:50	今のコメントを受けまして、今回確認されたのは記載不備のところ、一番なので最初にどちらを変えてそのうち、そのあとに、
0:36:01	会合と計画的な業務及び前、今までの文のところを展開して最後まとめるような形に資料構成をしたいと思います。以上です。
0:36:13	と規制庁カミデです。
0:36:16	この計画的に業務できてないっていうところが、よくないところだし、しっかり説明したいというのであれば、
0:36:27	24 ページの内容を逆に後ろに持ってってしまうということもあるとは思いますが、27 ページの前もずらすとかですね。
0:36:38	した時にただ
0:36:40	今 20、
0:36:42	4 ページが集約中となって何か書かれるかわからないんですけど、この 24 ページで書こうとしている内容が、26 ページでの再発防止に、
0:36:54	繋がるものであったらそれより前にちゃんとなくちゃいけなくてっていうことなんですけど、そういうところを踏まえて、事業者の、
0:37:04	どういうふうに直していきたいとあってありますか。
0:37:15	はい。日本原燃鈴木でございます。
0:37:17	そうですね今、今のコメントをもらうと、
0:37:22	この 24 ページのところの資料は、どちらかというと、

0:37:27	今回の要因とか対策の方には、
0:37:32	具体的には、
0:37:37	それがつながたいと思ってるのは今回の不備が多かったところが、プロセスの形骸化と。
0:37:43	ただ記載すべき内容を正しく把握していないままってところでこれ成果イメージがないまま、
0:37:51	進めたってところの二つをですねあげたくて、上げるためにここが海野数が多かったってところをこの表で整理したかったのっていうところでございます。
0:38:01	ということで、その不備の多さの点があれば、対策のところには、
0:38:07	直接は繋がらないということを見ると 27 ページの前でもいいのかなというふうには今ちょっと思っ
0:38:15	てしまいました。なので、
0:38:18	そういう方すいません。
0:38:21	規制庁深見です。途中まではやっぱりいろんな不備がある中で、大きいものに対してしっかり手当をしているっていうことを説明したいと。
0:38:33	いう話だったので、ああそうかとそうなりと、23 ページのところに、だ。
0:38:39	こういう、
0:38:40	不備の表みたいな、全体の、どんな悪さがあったのかというところにどれぐらいあったのかってところも最初に、23 ページで書き、その要因については、20、
0:38:52	23 のもの 24 図らしい、25 がまたあり 26 でまとめてっていう流れになるのかなと思ってたんですけど、何か最後で、後ろに持っていきますって言われてよくわかんなくなっちゃったんで、
0:39:05	これを通します。
0:39:07	日本原燃鈴木です。
0:39:08	ちょっとブレイブルー言っちゃいますけどもすいません。おっしゃる通り、
0:39:14	ですね、やっぱり最初に不備の
0:39:18	数と、内訳ですね、どれだ形の、
0:39:23	事象が多かったのかってものを最初に書いて、

0:39:26	そこ、その次に、今回の計画的な業務ができなかったってところを書いて、
0:39:33	何だ、
0:39:36	最後の病院のまとめをしていきたいなというふうに思います。以上です。
0:39:43	はい。規制庁、青井です。阿藤
0:39:47	2728 にこの事例 12 ってあって、ポンチ絵で、
0:39:56	不備の内容が書かれてるんですけど、これを上流側で呼び込んでいるところがなくてですね、今対応してる場所ってどこになるんですか。具体的には、
0:40:07	23 か 24 だと思うんですけど、どういう考え方ですか。
0:40:11	日本原燃鈴木でございます。24 ページのチェックプロセスの経営概括表があるところの括弧書きで事例 1 という形で監視を呼び込んで、27 ページを、
0:40:23	動力が 1 行超えたままになってたってところの、
0:40:27	事例をちょっと読み込んでいます。同じように、28 ページの事例としては成果イメージがないってところで、事例 2 としてその真ん中のところですね。
0:40:37	記載すべき内容を正しく把握していないってところの表の中で呼び込みをしております。
0:40:43	28 ページの方の今、はい。
0:40:46	規制庁深見です。わかりました。呼び込むんだったら表のタイトルで呼び込むんじゃないくて、二つ目の矢羽根に、一応これが挙げられましたって書いてあるんで、最低限ここで呼び込む形かなと思いますので資料の作り方としては、
0:41:04	そんな形で見直しておいてください。
0:41:12	日本原燃都築です。了解しました。
0:41:17	はい。規制庁深見です。
0:41:19	あと、25 ページ以降は先ほどのお話もあった通り、見直されるということなので、とりあえず私の方から、28 ページまでの間、
0:41:32	ですかね、については以上です。
0:41:36	とコサクです。先ほどのちょっと 20、
0:41:41	4 ページの表の関係に戻っちゃうんですけど、

0:41:46	今集約中とだけになってるんですが一つ目の矢羽根で
0:41:51	事象としては記載も記載誤り落丁様式不備と。
0:41:56	4 分類されていて、その分類ごとに、縦軸作って書かれると思っていいですか。
0:42:20	とコサクです回答内容ですけどやってください。
0:42:24	違う分類でいっぱい出てきて読んだらこいってなると困るので、
0:42:28	どれがどれに対応しているのかと、全体帳じりが全体像がわかるようにということでよろしくお願いします。
0:42:39	都築でございます。
0:42:44	了解っていうだけであれば、次まで行ってから言っていただければいいんですけど、古作です、その時にこれ横軸が、今形骸化、
0:42:55	把握していない、の中に整備不足、浸透不足でその他と。
0:43:01	なってるんですけど、
0:43:03	25 ページに行くと、
0:43:07	行は 4 行になってるんですね。
0:43:17	①②は上の行の二つの 2 行①②は、分けなくていいとしたのは何ですか。
0:43:35	日本原燃鈴木でございます。
0:43:39	それ数の
0:43:41	24 ページの方をチェックプロセスの見学が一つなのに、
0:43:46	25 ページの方が二つに分けた。
0:43:48	いうところですよ。
0:43:51	こちらについては、そうですね。ちょっと、
0:43:55	何だっけ。
0:43:56	分ける必要がないと思うのでちょっと一つにして、整理していき問題点を一つにしてちょっと整理していきたいなというふうに思います。以上です。日本原燃の佐藤です。
0:44:07	督促ですけれども、もともとルールの方は明確に決まらなかった或いは浸透できてなかったようなかなり分けられるかなと。全体数に対して分けられるかなと思ってます。
0:44:19	テックプロセスの形骸化については、原因はある意味もう 001 もできてなかったということなんですが、ただ出来高だけではなくて、当然そういった影響もわかってなかったということで、内数ではなくて、

0:44:32	ある意味安孫子重なり合ってるところもあったので、表では一つに集約して、その要因を考えるとときにちょっと分けたという、そういう経緯がございました。以上です。
0:44:44	コサクですなあ、何だろうなと思いつつ、そもそもわかんなかったのは、問題点と要因で、
0:44:53	何か同じように入出口になってんですけど、どう考えてや。
0:44:57	他のかと。
0:44:58	ということなんですネ。
0:45:03	24 ページで分けるというのは、その事実関係として抽出され、まず最初に抽出されて、
0:45:10	カウントし、悪さ加減っていうのを、
0:45:14	整理をしたと。その上で、それぞれの要因分析をしましたという流れになるんだと思うんですけど、そうするとこの横軸になる問題点っていうのは、
0:45:25	事実として、まずあるものと、ということかなと思っ
0:45:31	ていて、
0:45:32	ちゃんとそういうふうになってるかなっていうのが聞きたくて質問したんですよ。今の回答だと、
0:45:39	②は何か要因分析から出てきてるやつをちょっと頭出しちゃいましたみたいな感じなので、
0:45:46	であればちゃんと要因で整理をしてねっていうことかなと思いますけどそういう理解でいいですか。
0:45:54	日本原燃佐藤ですおっしゃる通りの理解ですのではいちょっと整理の仕方はい改めます。
0:46:00	はい。補足ですわかりました。それで
0:46:03	問題点という表現で、
0:46:08	皆さんも統一されるようですから、まずは入口として整理をし、それを全体整合をとって書いていただきたいと思います。
0:46:17	で、その他で書いてる設計図書の陳腐化、読み取り不足っていうのが、その御説明がないんですけど、これは何でしょうか。
0:46:36	日本原燃鈴木でございます。ここにこれ述べたのは、今回この事象についての要因分析をしているんですが、ここで比較するために、その左側のチェックプロセス形骸化とか、

0:46:49	申請書の記載すべき内容を正しく把握してないというようなところとの比較をして、左側の二つの方が多いよっていうのをちょっと比較するためのところの施策をしているというところでございます。
0:47:01	その他のところについても、原因の方分析をして対策をしております。以上です。
0:47:07	はい。
0:47:09	店長の佐治ですけど、いや、今要は他にも対策があるような話なのにここに載せてるのは、何か僕もだったものとかそういう話でしたっけ。いやなんかそういうのもなかったんで。
0:47:19	今いや、前のところに出てきたやつが消えたみたいな雰囲気でしたんですけど、今のお話っていうのは25ページはもらったもん。
0:47:37	日本原燃鈴木でございます。その他のところについてはその他で上がった要因に対してですね、対策の方もちょっと挙げてまして、そちらについては、
0:47:49	主な対策とし、形で今回の会合資料には動けてないという形になっております。
0:47:58	コサクです。
0:48:02	載せてください。
0:48:04	つまみ食いされたんじゃない全体像がわかりません。
0:48:12	日本原燃都築でございます。了解しました。
0:48:17	補足ですけど今のやつって、
0:48:22	ヒアリング資料の申請書不備についての方だとどこに当たるんですか。
0:48:55	すいません日本元ズスキですけども、ちょっと今すぐ言えないんですけども、これ今対策中1、挙げてまして、その中で今挙げてる。
0:49:05	この中で、
0:49:07	若干抜けてるのが何個か。
0:49:10	チェックポイント対策、6、
0:49:13	違う。
0:49:15	日本、日本原燃のサトウです対策の8とか9、事例で言えば、この⑬ですかね設計図書の
0:49:25	解釈のソフトが、この、この辺り該当するものだと思います。
0:49:37	コサクですけど、
0:49:41	対策、八、九って言いました。

0:49:46	わかる。
0:49:47	日本原燃の対策は救急事象でいえば0-13。
0:49:55	今、日本原燃のツジモトですけれども、まず審査会合資料の設計図書の陳腐化の方につきましては、3、ヒアリング資料の3分の3のですね、
0:50:08	丸15番、記載内容の最新と説明。
0:50:14	たところで、もう一つ、読み取り不足、解釈のところですけども、三分の2のですね、⑬番、設計図書の読み取り解釈の理解不足、
0:50:26	これは該当しまして、それぞれ問題点椎野さんと、
0:50:31	C-5で一応対策、8番と対策9番。
0:50:37	の方で要員を設置しております。
0:50:40	以上です。
0:50:48	古作です。対応関係はわかり、
0:50:53	もし等、
0:51:00	設計図書の陳腐化って、
0:51:03	最新化を失念っていう、
0:51:06	言葉と大分受け取り、
0:51:09	私は増えて違うんですけど何でこうなってるんですかね。
0:51:22	コサクですけどどっちもどっちのような感じはするんですけど。
0:51:27	日本原燃の辻本ですけどもすいません元のメーカー図書、設計図書ですね、もっと使うやつを、9番を使って、申請書を作ってしまったというのを、
0:51:38	最新の情報設計情報を書き込まなかったっていうこと的事实をちょっと、
0:51:44	表現したかったんですけども、ちょっと見直し、陳腐化っていう表現はちょっと見直しで考えたいと思います。
0:51:56	補足です。
0:52:00	介護資料は直していただいたとして、
0:52:05	ヒアリング資料の3分の3のページを見ても、⑮番でその上にも、
0:52:12	対策9がぶら下がる形になってるところに問題点二つ、C-5C-6と。
0:52:22	書いてあるんですけど、
0:52:31	これは両方ともたっば値られるものですか。
0:52:46	日本原燃鈴木でございます。ここはまず一つ、まず、15の⑮の耐震化を実現したっていうところは、チェックができなかった。

0:53:00	して何かを反映しなかったっていうの、ミスになってます。それについては、チェック関係の時に、最新塗装でやりなさいよっていうチェックポイントを追加する
0:53:11	同じ事例の中で、同じタジリ社長の指導ですけども、おる判定値との比較の時にも、要はNGのままだったんで、同じ事象ではあるんですけどもその判定値をこういったところのチェックができなかったという観点で、
0:53:27	問題点を出しまして、それを要因分析をして、そちらについても対策企業の中で、チェックのポイントとして判定値に対しても、
0:53:38	鉄筋をして何か的判定基準に対して合ってるのかって何かっていうのを、チェックしなさいよっていうのを追加するという形で、対策の方は一緒にしたというところでございます。
0:53:53	古作です。へえ。
0:53:56	藤。
0:53:58	チェックの観点ポイントっていうところに、それぞれの観点のものが列記されるので、対策としては束ねられますっていうことを言われたんだと。
0:54:09	思いますけど、内容は相当に違いがあって、
0:54:17	特に下側の判定基準を見てないっていうのはもってのほか。
0:54:22	じゃないですか。
0:54:24	なんでこんなことが起きたんですかね。
0:54:29	という分析図になってないんですけど。
0:54:43	はい。
0:54:44	規制庁の二見ですけど、あれ発展できなかったのチェックプロセスの計画ではないんですけど。いや、27ページの0
0:54:53	号機間、
0:54:55	大きなやつを確認してなかったんですけど、これとは別の話ですかね今の赤羽川中ですけど。
0:55:13	あ、規制庁と実はあのけどわからなかったわけで、チェックプロセスの形骸化の事例として27ページに書かれていて、先ほどまでのお話を伺うとその他の花Cの中で、
0:55:24	また同じ原因に気づいたような気がするんですけど。
0:55:27	一つの店にいろんな要因があったちゅう話ですかね。

0:55:32	それだと、
0:55:35	古作です多分事実関係として、設計図書時点で間違っただという、
0:55:42	こと等、
0:55:43	申請書の
0:55:47	素案を作ってから、その後申請書にブラッシュアップしていくという作業で落としたと。
0:55:54	いうところタイミングの問題分けてるような気はしたんですけどあっています。
0:56:06	日本原燃都築です。その通りになります。
0:56:13	はい。ご説明させていただきます。そのあたりもちょっと、ここまで話を聞きしてきて何となくそうかなって、
0:56:24	感じているぐらいでしかないので、もうちょっと明確にして書いて欲しいなというところ。
0:56:33	ですし、
0:56:38	等やっぱり分析が足りないっていう、
0:56:41	ことにはなって結局
0:56:46	問題点の別の場所と合流をしていくっていうことにはなるんですけど、
0:56:52	何か一つ一つがーも要員ぶら下がりん対策がぶら下がりってというのがすごい違和感があってですね。
0:57:02	もう少し、それぞれに飛んでいって結局こうだよねみたいになるんじゃないかなあと。
0:57:08	普通の要因分析ってそうなると思うんですけど。
0:57:14	今から言ってもしょうがないで、
0:57:18	会合で言いますけど、
0:57:22	うん。
0:57:26	いずれにしてもちょっと、
0:57:28	ヒアリング資料でこう言ってるもの等、その会合で行ったのがどういう関係にあるのかっていうのがわかるようにしといてもらわないと。
0:57:36	こちら申してキーを正しくできないので、しっかりと整理をして提出をしてください。
0:57:48	日本原燃鈴木でございます。了解しました。
0:58:08	古作です。で、23 ページ、25 ページと要員が列記されて、
0:58:18	それが 26 ページになると、経営層事務局担当課と、

0:58:25	いう階層ごとに分かれるんですけど、
0:58:31	これわあ、
0:58:33	あれですかね 25 ページ見ると一応それぞれの要員の主語が書かれてるので、
0:58:40	どこに分類されるかは明確なように書いてますってことですかね。
0:58:48	日本原燃鈴木でございます。その通りでございます。
0:58:52	はい。高速ですわかりました
0:58:56	このて時間では繋がりがわかるようになってる。
0:58:59	ということで、
0:59:02	見ていきますで、
0:59:07	要因と対策なんですけど、一応その対策のところに要員ナンバーが書かれているので、関連性はわかるようにはなっているものの、
0:59:18	見にくいなっていう。
0:59:20	いうのは、
0:59:25	どうですかね。通常だと矢印を書いて、関連性を見えるように普通だとするかなと思うんですけど、それやると見つらなかったですか。
0:59:40	日本原燃都築です。サトウ A I I の矢印要員ごとに、宮路赤羽
0:59:48	一代承認しようかなと思ったんですけども、作成担当課のところろうの要員を潰すときに、経営層のところの、
0:59:58	対策が上がったりするのでちょっと矢羽根でしてくと、ちょっと入り乱れてしまうのでちょっと病院を、の番号をひもづけることでちょっと整理をしました。
1:00:08	以上です。
1:00:12	ん所、古作です状況はわかりました。多分、分析不足が原因だろうなという気は。
1:00:20	しますけど、
1:00:24	とりあえず見ておきます。
1:00:53	コサクですけどそれで、今介護資料をベースにしつつ少し、ヒアリング資料の方にも触れましたけど、
1:01:01	これヒアリング資料の方は何か説明するつつ、この後また別の時間で説明するつもりなのかどうなのかっていうのはどんな感じなんですか。
1:01:15	日本原燃鈴木でございます。説明の方にも考えておりません。

1:01:21	以上です。
1:01:27	古作です。
1:01:30	そちらがそういうのであれば別に、
1:01:36	会合で質問しますので、
1:01:39	お答えいただければと。
1:01:42	えっと、その上でちょっと余りにも説明が足りないので質問ですけどパフォーマンス改善会議で決定予定って言ってるんですけど。
1:01:52	いつ決定するんですか。
1:01:57	日本原燃鈴木でございます。今明日、朝、明日を予定しております。
1:02:12	コサクです。わかりました。金明日ということは分析を追加をすることはないと思うんで、
1:02:18	この分析で通過するんだったら驚きだなとだけコメントをしておきます。
1:02:32	コサクです追加で
1:02:34	質問しておく等ヒアリング資料は大きく二部構成になってて、
1:02:39	前半が要因分析図で、
1:02:42	後半が時系列問題点となっておりますけど、
1:02:49	と要因分析ズー。
1:02:58	を見てもわかんない。
1:03:02	介護資料の方で書いてあるところの流れからすると、
1:03:07	まずは事象の流れ、
1:03:10	この1、ヒアリング資料の後半の
1:03:12	縦長の
1:03:16	ものを最初にやって問題点を抽出し、問題点をインプットとして要因分析をしていると。
1:03:26	ということ等、
1:03:28	何かついてる順番がおかしいなと思ってんですけど。
1:03:32	認識はそういうことでいいんですよ。
1:03:41	日本原燃都築でございます。
1:03:43	そ、順番が違うというのは、時系列が先ではないかっていうことです。
1:03:51	補足ですけど、そう言ったつもりですけど。
1:03:54	何か勘違いするような言い方しました。

1:04:03	日本ヘズスキでございます。ちょっと今聞き取れにくかったんですけどすみませんもう一度お願いします。
1:04:09	いや、コサクです。いや、何をそちら書き変えたのかの意味がわからなかったんですけど。
1:04:28	日本原燃鈴木でございます。C、順番的には時系列をさっき言って、そこから問題点を洗い出して、その問題点に対して要因分析をするので、
1:04:40	資料の構成的には時系列を最初につけて、要因分析をそのあとにつけるという順番の方がただ正しいです。以上です。
1:04:52	はい、加来です。
1:04:56	ソウノウとそこの補足資料が何でこんな状態のままなんだっていうのは非常に、
1:05:05	補足説明をするわけでもなくただ出して説明することはありませんという、
1:05:11	その姿勢がな。
1:05:12	全く理解できないんですけど。
1:05:15	時系列IIもですね。
1:05:19	機電耐震と、
1:05:21	仕様表添付書類図面と設定根拠等、
1:05:27	あと、
1:05:28	建物耐震強度自然健全性と、
1:05:32	なんでこう分かれていて、
1:05:35	それぞれがどういう関係なのか。
1:05:38	それが要因分析にどう繋がるのかっていうのが、説明がないんですけど。
1:05:43	それも説明する必要がないってことですよね。
1:05:57	日本原燃鈴木でございます。
1:05:59	時系列をちょっと4種類に分けた理由としましては、まず最初に起こった耐震計算書のところの計算書の問題が、
1:06:09	不備が確認できたので、そこで整理を始めました。
1:06:15	衛藤なんでこれちょっと単独で動いさせてもらってそれで整理してます。その次の順番的に仕様表とか、そのあと計算の人が出始めたんですけども、仕様表等、
1:06:27	設定値こんあ。

1:06:29	こぎゃんし、設定根拠案件がちょっと別の時系列になってるのは、
1:06:35	開始し、時系列の下石井を、
1:06:39	整理した開始の日がですねちょっと日にちが違うというところもありまして、別でちょっと整理をしたと、いうふうになっております。
1:06:47	最後に耐震計算書以外の計算書についても、こちらについては耐震計算書が先行して、当時、
1:06:57	時系列問題点を整理し始めたので、そのあとに、不備の事象を抽出とか始めたので、ちょっと時間が遅れてもらって別でちょっと整理したという形になっております。
1:07:09	以上です。
1:07:28	古作です。それぞれが
1:07:33	作業した日付が違っていて、
1:07:36	分けましたなり、
1:07:39	C A Pの登録が分かれてるから受けました。
1:07:42	ということのようですけど。
1:07:45	何も書かれていないのでわかりませんっていう感じがしますし、ここを出てきてる問題点ナンバリングしてるから
1:07:53	関係性わからなくはないですけど、
1:07:58	どういうふうに整理をしたのかも、読み解きづらくて、
1:08:02	頑張ってはみますけども、
1:08:07	これで本当にそちらのパフォーマンス改善会議で審議ができるのかっていうのも甚だ疑問です。
1:08:14	本当にパフォーマンス改善会議でこれ以上の資料なく、
1:08:18	対応されるんですか。私変に加工しなくていいからそのまま出せばいいよと、最初から申し上げていたんですけど。
1:08:36	日本原燃笹木でございます。明日予定してますので、今日ですねちょっと受けた、
1:08:42	ちょっともう一度整理をし直して、あとパフォーマンス会議の方には終わりたいと思い
1:08:47	以上です。
1:08:49	古作です。であればさ、出した資料をそのままこれの差し替え版として出していただけますか。
1:08:58	これではわかりません。

1:09:07	日本原燃都築でございます。了解しました。
1:09:30	規制庁上出です。今進行する人いない感じなんですかね。私がやりますか。
1:09:38	その他、
1:09:42	この補足する補足説明側というんすかねヒアリング資料側で何か確認あるところありますか。
1:09:53	支店長の岸野です。
1:09:58	ちょっと私もこの資料の見方がわからない。
1:10:01	今、大体集約されてはいるんですけども、ちょっと一つ具体的に聞きたいのは、
1:10:07	例えば要因分析図なり、2 ページ、
1:10:11	こちらの凡例の方見ますと、
1:10:18	発生事象が黄色、問題点が緑、主要な要因、水色っていうような形で、
1:10:23	書かれてるんですけど、
1:10:25	この分析で、事象があってその問題点が何であってその背景の主要要因はなんで、対策はっていう順に、
1:10:35	ブレークダウンしてるのかなと思って見ていたんですが、項目によってはその順番が入れ替わっていたりして例えば、
1:10:48	この2 ページですね下の、
1:10:51	黄色い枠、丸一井で始まる黄色いは、
1:10:55	何か見ますと、水色の主要な要因からいきなりはい。
1:11:02	て言ったり、
1:11:03	するかと思います。C、
1:11:07	逆に次の3 ページなんかでは問題点が最初に来て主要な要因がそれに続いてると、何かバラバラな印象もあるんですけど、この辺りは何か統一的な順番の考え方でやられてるっていうことでよかったんでしょうか。
1:11:25	日本原燃鈴木でございます。まず、三分の1の方の①。
1:11:31	につきましては、T
1:11:33	問題点。
1:11:35	問題点の1日くってということで矢羽根で矢印示しまして、それを上段のA-1のところ、要因を分析してっております。
1:11:46	なので作り方的には、要因があってその要因を、

1:11:53	別途問題点がどれかとして、その問題点に対して、ちょっと要因をもう少し行き着くところまでいって、対策をた、確認後立てたという、
1:12:03	ことで検討しております。以上です。
1:12:07	成長のキシノですちょっと議会がお聞きになって、このマルチ黄色枠のところは、病院側、
1:12:16	4時から来てという話もちょっと後から来てるようにはちょっと読めないんですけど、病院があって、また問題があってそれをさらに、
1:12:26	病院で深掘りしてっていうような、何て言うんですかね
1:12:30	事象に応じては、病院、
1:12:33	から始められるものもあるし、そうじゃなくても問題点から始められるものもあって、それは事象によってケースバイケースでやれば寄って特に、
1:12:43	そこら辺、ブレイクダウンの順番とかには、
1:12:46	特に決めがない、決める必要もないっていう考え方になるんでしょうか。
1:12:55	日本原燃鈴木です。事象があってそれに対して、その要因がどういうものがあって、要因を最後まで行き着くところまで
1:13:04	対策を挙げてますで、その要因の中で一番問題点というところをちょっと挙げて、今回は整理してきております。
1:13:12	以上です。あとコサクですけどそれだとさっき会合資料整理をしてといったことやることが違うんですけど、
1:13:20	原燃は二枚舌が当然スタンダードってことで、
1:13:24	場所場所で言っていることが違うのはいいんですかね。
1:13:35	そういうQMSだということで、会合でお話をさせていただきます。
1:13:53	表現のサトウです。すいませんまずは当然その問題点があってそれに対して要因で、対策っていうことです。ちょっと見せ方が確かに
1:14:05	ご指摘いただいた箇所については先にちょっと要因があって問題点が出ててその問題点から、要因対策という、
1:14:13	ちょっと確かに見た方がおかしいかなと今、はい。思いました。
1:14:22	ちょっと整理させてください申し訳ありません。
1:14:32	規制庁の田尻です。ごめんなさい。長さんはわかります。先ほどお願いします。はい。
1:14:38	いいですよ。

1:14:42	すいません。はい。見せ方の問題かなというご説明があったので、考え方としてはサトウさんが今見直されたように、
1:14:52	事象があって問題があって要因があって対策っていうふうに、基本的には
1:14:58	ブレイクダウンして対策につなげていくような流れをなぞっているというふうに理解しましたまずその理解でいいです。
1:15:19	宮城局長です。
1:15:22	規制庁キシノですけど私の発言を届きましたでしょうか。
1:15:27	日本原燃、日本原燃鈴木でございます。岸野さんのと言う通りですねよう問題点があって要因。
1:15:34	あってそれを対策を立てたということでございます。以上です。
1:15:40	市長の石松はい。
1:15:42	何とも言えない。介護少雨の関係もあるんでしょうけどちょっと、どういふふうに整理されるのかよく。
1:15:49	ますますわからなくなったっていうのがちょっと正直な
1:15:52	です。
1:15:53	はい。今回については
1:15:55	以上です他にもちょっと確認したいことありますけどP E T リースがよかったら、
1:16:00	規制庁の田尻です。若干関連する関連するんですけど、ヒアリング資料の3分の2のところ
1:16:07	中段ぐらいのところ以降はっていう四角囲いの次のところ一番上の行で事務局は規制庁に確認すべき事項を曖昧にしたまらずからP A N D A っちゃうのがあって、こいつがそもそも問題点の後に、何もなくて対策になっててかつ雷マークがなかったりしてちょっと若干浮いてるってのがまず1点。
1:16:25	あと、これって何のミスに繋がったんでしたっけって何か前にも聞いた気がするけどちょっと答えを覚えてしまったので、2点教えて欲しいんですけど。
1:16:41	日本原燃鈴木でございますすいませんちょっとついていけませんでした。3分の2の3分の2です。三分の2で、⑩⑪⑫がついている。
1:16:52	真ん中ぐらいの黄色い箱記載誤りのすぐ横の、

1:16:58	黄色いところのところで、一番上のところで、事務局は規制庁に確認すべき事項を曖昧にしたままというやつがいて問題点が書かれてすぐ対策になってるんですけど、
1:17:09	まず1点目としてはさっき言ったのが0になってなくて問題点要員の要員の部分書かれてなくて対策に行ってる、かつ、こいつに雷work打たれてるところがないんですけどこいつって、どういう整理でしたっけ。
1:17:32	古作です。どういう整理かっていうと整理不足ってことなんですけど、
1:17:38	コミュニケーションが十分でなかったのはなぜかっていう分析をしてないってことですか。
1:17:52	日本原燃鈴木でございます。こちら前回のヒアリングを受けてちょっと追加した問題点になってます。
1:17:59	そこんところがうまくし、分析ちょっと足りてないと思いますので、ちょっとここは追加したいと思います。
1:18:08	以上です。
1:18:13	成長タジリですけど、
1:18:16	だから、何か知らんでもこれで書けるんですよ会議。
1:18:26	はい。
1:18:28	はい。規制庁鳥居です。とりあえず今抜けてたけど、
1:18:33	問題がないのに良い話がもう1回あって、
1:18:37	直されて、会議にも新しい家にも示される、まずいいですかね。
1:18:45	日本原燃鈴木でございます。ちょっと直してかけたいと思います。
1:18:50	以上です。規制庁た日です。
1:18:53	中間からプロセスを言ってどこじゃないですけどなんか、
1:18:56	うん。
1:18:57	なんか今来て埋まってないもので、ちゃんとできてるのかと思いますけど、業況がわかりました。
1:19:08	うん。
1:19:09	コサクですけど追加されたのは、
1:19:14	意味があるんだろうなあと。
1:19:17	思いますけど。
1:19:20	追加するというだけの重みを、
1:19:24	持っているにもかかわらず分析がなく、

1:19:27	よく対策になるなあという気はします。これ結構重い。
1:19:32	問題のような気は、重い問題と何かあれですけど。
1:19:36	根深い問題っていうのかな。
1:19:39	だと思っててですね、
1:19:43	今後整理して提示されたところで見たいと思います。
1:19:56	室長の岸野ですけども、ちょっと関連してって言ったならあれなんですけども、やりとりになった対策の6のところ、
1:20:05	3行目に規制庁とも認識を合わせた上でっていうか、
1:20:10	もう、規制庁とのコミュニケーションが十分でなかったという問題点から、いきなりダイレクトに対策来て行って、
1:20:19	規制庁と認識を合わせるっていうことができてなかった。
1:20:24	カラー今回起こってるのかなと思うとですね。
1:20:27	この
1:20:28	どうやって規制庁と認識を合わせていくのかとかそこら辺の、
1:20:35	言えないですし、何かすっぽんここで挙げている対策って、本当に
1:20:42	思っちゃったんですがそれは、コミュニケーションが十分でなかったに対する要因分析がされている。
1:20:50	稲井、整理がまだできてないんだよねっていうことでしたので、今後は、
1:20:55	その要因をさらに見直されてそれにみあった対策がされるっていうようなことかと思い、
1:21:03	ましたけどそういう理解でいいんですかね。
1:21:08	日本原燃鈴木でございます。その通りでございます。
1:21:13	社長、島津はい。
1:21:16	その通りということですので、はい。他のこととあわせてですね、また後日確認をしたいと思います。
1:21:25	あとですね、すみません立て続けて昨日から、
1:21:29	ちょっと話が電力のことになってしまって恐縮ではあるんですけども、先週の金曜日、九州電力、審査会合、
1:21:40	ているんですね。
1:21:42	今日のヒアリングの場に九州電力の関係者の方がいらっしゃれば、もう言わずもがな。

1:21:48	ということだと思えますけれども、過去の審査会合、標準応答スペック先輩方の資料の中に、
1:21:56	入ってる、次にいくつか不備があったっていうことで、
1:22:00	審査資料の技術マップについて議論されていたというものです。
1:22:05	その図の誤りってそんなに、
1:22:08	明らかなものではなくて政界もずっと並べてに比べれば、ようやく気づくような感じのものなんですけど9年間当社ですね、みずから気づいたということ、
1:22:19	まず合計8ヶ所とか10ヶ所弱ぐらい、ヒアリング資料とか、会合中にもあったということ、原因分析は是正処置なんか説明されてたんですけど、まだ検討不十分ということで継続審議になる。
1:22:31	います。
1:22:33	一方で、その減免は今回、
1:22:38	みずから申告したわけじゃなく、こちらから指摘されて、今対応している。
1:22:43	そんなに難しい間違いというよりは、
1:22:47	やっぱり初歩的な間違いとか、NGの結果を気づかず、載せてしまったってというようなものも含まれてしかも数の増大っていうこと。
1:22:56	なんですけれども、
1:23:00	その時期が発生した時期とか対応の時期が近いんで、次その先週は9電と比較してしまうんですけども、旧来の方は問題の重要性を、
1:23:11	i P h o n e 資料の間違いと言っても、原子力安全に影響を及ぼす状態っていうふうに分類して是正処置を実施。
1:23:17	日置。
1:23:19	しているんですが、ちょっとここだけ確認なんですけど、
1:23:23	遠藤の今回の申請書の不備について、どの程度の重大さでとらえているのでしょうか。事象の重大性に応じた何らかのランク分けとかそういったものをした上で今回
1:23:36	は、
1:23:37	それとも、申請書以外の例えばヒアリング資料等の書類不備と同様の扱いで検討しているのか。
1:23:45	そのあたり、C T O。

1:23:58	日本原燃鈴木でございます。今回の不備については、非常に重いものかなというふうに思っ対応を進めていきます。
1:24:08	現状完全にどうかっていう観点では、現時点においてはC Rの判定会においてはそこまでの影響はないというふうに判定されてますけども、今後ですね、
1:24:19	ある種、会議等をすん社内会議を含めて、その辺をちょっと明確にしていきたいなと思っ、
1:24:26	以上です。
1:24:29	規制庁の岸野です。はい、わかりましたけど、
1:24:33	非常に細かいものを行っけてるということで、
1:24:37	日常やってるヒアリング等での書類不備とか、ドアの違うんですよっていうことをおっしゃったのかなと思うんですけど、今回の対応ってそういう日常発生しうる不備等は、明らかに違う対応をとられる。
1:24:59	全庁的ですよ。今回の要因分析とか対策検討見てもですね、非常に重たいものにとらえ、
1:25:07	結果、
1:25:08	どういうふうにその検討プロセスに反映されてるのかちょっと読み取れなかったんで、そのあたり、具体的、こういうふうに配慮していくとか、ここは通常とは違うんですっていうところがあったら教えていただければと思っ質問なんですけど。
1:25:24	日本原燃の柴崎と申します。
1:25:27	今回の申請不備に関しましては、当社のC A Pシステムの中で、管理しており、おりますけれども、3段階、2番目の、
1:25:39	原子力安全への潜在的な深刻度をするってところで当社ではレベルBというところで、
1:25:45	必ず是正が必要という、2番目に重い事象に分類されて今回の対応を行っているところです。以上です。
1:25:55	それちょうど資料です。2番目ってということです。ちなみに一番物件はどのようなものか。
1:26:05	1番目に関しましては、もう原子力安全への影響がある、または、
1:26:11	出る恐れがあるというところで事故や、
1:26:15	そういった問題に繋がり感するに繋がりかねないといったところが一番重い。

1:26:21	レベルAというところに分類されることになっております。以上です。
1:26:26	規制庁野木です。わかりました。今回はそこまでではないけどそれに次ぐ2番目1台。
1:26:33	ちなみに、一応発生するような書類不備とパーセント3番目のランクに該当。
1:26:42	日本原燃の柴崎です。日常的に発生するものについては、
1:26:48	この下のさらにレベルCという分類がありましてその中で不適合処理という形で、事象を処理、
1:26:54	すれば
1:26:56	ほとんどのが対応するというものがレベルCになります。今回のものについてはもう、再発防止対策が必要ということで、それより重いという位置付けにしておりました。以上です。
1:27:07	成長期です。はい、わかりました。えっとですね、
1:27:12	いきなり要因分析や時系列ってのはあるんですけどその要因分析をするにあたって、やはりそういう
1:27:21	そこから多分、どういうふうに取り組んでいくかっていうのも、スタンスが決まってやられているのではないかと、理解するとそこら辺の説明ってのもやっぱり最初の方にあつた方が良いんだと。
1:27:37	思うんですけども、
1:27:39	理解は合ってます。
1:27:46	日本原燃の柴崎です。おっしゃる通りの理解で結構です。
1:27:51	はい。清町長です。若井ご指導についてはもう、私の話です。あんまり時間ない。
1:27:57	補足説明資料、
1:27:59	今回そういった基本的なスタンスの説明を一言もないもんですから、まずは、
1:28:05	そこら辺をっていうところはちゃんと説明を加えていただいた方がいいのかな。
1:28:09	思い、
1:28:10	ました。
1:28:11	で、あとはですね

1:28:13	ちょっとすいません拠点の話を持ち出してしまったんですけど、私も9電の審査に一部関わっていったという関係ですねちょっと個人の所管として、
1:28:25	今回の今日の会合資料、
1:28:28	についての所感を述べさせていただくと、今までやりとりもあったようにですね、問題点とか要因で何か繋がりもよくわからないまま、
1:28:38	限られて、でも最後に、会合資料の方では26ページ。
1:28:43	今後は、今回策定した再発防止策を踏まえて記載不備のない資料で説明を行うっていう、何か自信たっぷりに書いてあるんですけども、
1:28:52	本当に重大な問題ととらえていてですね。
1:28:56	もう真摯に反省します。二度と発生させませんっていうか、説明がこの審査会合でちゃんとできるのかなと思いました。今並行して9電
1:29:08	ですね、審議されていますので、それと比べてなんじゃこりゃって言われることがないように、してもらいたいなと思います。最後はちょっと紹介になってしまいましたけれども、
1:29:20	ちょっと感想だけお伝えしておきます。以上です。
1:29:31	はい、規制庁シミズ部長。
1:29:36	規制庁神です。1点ちょっと教えてください。
1:29:42	2、通して2ページ目ですかね。三分の1のところの上の方の緑、問題点、エーワンというところ申請書チェックプロセスと経過していたと。
1:29:54	いうところ中身見ていくと結構なことが書いてあって、おいおいって感じなんですけど、この辺りが、一応、介護資料で説明されてるとは思うんですけど、
1:30:06	そのチェックしてないんだけどチェックシート作っちゃいましたみたいな話で、今介護資料のどこに込めてるんだと思いを込めているかっていうところを説明してもらいます。
1:30:31	日本原燃の辻本ですけれども介護資料のですね、24ページになります。上段のですね、
1:30:40	首相チェックプロセスは形骸化していたこと。
1:30:45	言う上段のところありますけれども、この
1:30:50	一つ目の、
1:30:51	社内ルールに基づいた申請者の実質的なチェックできていない状況。
1:30:57	いうところの三つ目。

1:30:59	矢羽根。
1:31:00	実態を、
1:31:03	すいません下のですね 2 番の申請書の記載不備の影響を認識していなかったというところですね、一つ目の矢羽根ですけども、経営層事務局は作成担当課への申請書のチェックの入りを浸透させることができていなかった。
1:31:17	いうところにちょっと意味を込めております。以上です。
1:31:23	規制庁深見です。最初に 14 ページって言われたような気がしましたが今説明されたところって、25 ページですか。26 ページ話しました。ちょっとページ数、もう 1 回お願い。
1:31:36	日本橋梁辻本です。失礼いたしました。正しくは 25 ページです。
1:31:41	以上です。
1:31:42	はい、規制庁過密 25 ページのどの欄ですか。事実のところですか要因ですか。
1:31:54	40 年ツジモトです。上のですね、事実、申請者のチェックプロセスが計画化していたことの問題点の事実のところ、の一つ目の矢羽根。
1:32:06	経営層事務局は作成担当課へ申請書のチェックの意義を浸透させることができていなかった。
1:32:12	重点と、その後の要因としてチェックの重要性を、
1:32:16	それとも作成担当川西岸てると思っていたというところ。
1:32:22	伺いとすると考えております。
1:32:26	以上です。
1:32:28	はい。規制庁カミデです。25 ページのまず申請書プロセス。
1:32:34	が経過していたという上段のおっきなところの②番のところの事実の、
1:32:40	ところですか②番に紐づく事実のところっておっしゃいました。
1:32:47	はい。その通りだと認識しております。
1:32:54	はい、規制庁直管ベース。
1:32:57	もう、
1:32:58	もうちょっと、
1:33:01	あけすけにというか、事実を正確に書いた方がいいんじゃないのって思いますけどいかがですか。
1:33:16	日本原燃辻本です。用意部数ヒアリング資料の要因分析の方の記載も踏まえまして、

1:33:24	もう少し事実のところ記載の充実を検討したいと思います。
1:33:29	以上です。規制庁カミデですって、もうちょっと言うと、①に紐づくんじゃないかなっていう気もするんですけど、これ、②なんですかね。記載不備の影響を認識していないっていうこと。
1:33:43	というよりは、事実としては、チェックしてないんだけど、チェックシート作っちゃいましたと。
1:33:51	だからチェックシートをちゃんと
1:33:54	ちゃんとチェックしてるかチェックシートで確認する人たちっていうのは様子がわからないっていうことだったんですね現実としては、その辺は
1:34:04	状況としてちゃんと示しておくことが大事かと思いますけど、いかがですか。
1:34:16	日本原燃辻本ですけれども、今記載している一番の社内ルールに基づいた申請者の実質的なチェックができない状況のですねすいません矢羽根が1、五つあるんですけども、
1:34:28	四つめの事務局は申請書のチェックの実態を正確に把握しなかったっていうところの事実。
1:34:36	こちらにもかかってくる話ですのでこの辺も、この点と、先ほどのひずみの影響、2番の方ですね、政府の影響認識していなかったというところ、この辺あたりを、
1:34:49	要因分析とあわせて、パラメで充実したいなと思います。
1:34:55	規制庁営です。ここの話だと、事務局っていうのは本来の役割としては、どこまでのことをしなきゃいけなかったのかと。
1:35:04	普通のQMSが確立しているところだとその当時チェックをしてますねっていう確認で、要はチェックシートの確認でもいいようなもの、
1:35:15	なんですけど、原燃としては、まずはどういう位置付けなんですかその事務局の役割っていうのは、
1:35:31	リスク。日本原燃辻本です。実際に事務局におきましては泊作成課が、申請書に対してチェックした、チェックした状況のプロセスを経て、ちゃんとチェックされているっていうところ。
1:35:44	確認すると、プロセスを経て、ちゃんとビジョンであるというところを確認するというのが、役割としてあると考えています。

1:35:55	規制庁梶です。ちょっとよくわからなかったんですけど、チェックシートの確認だけでいいのか、もしくはエビデンスまでちゃんと見る役割がもともと与えられているのか。
1:36:08	どちらでしょうか。
1:36:15	明日、角田区政が策定したチェックシートの作成、この先生方に行くことのみを確認するという、
1:36:25	これ。
1:36:29	はい。規制庁カミデです。そうなると事実として、事務局がチェックの実態を正確に把握しなかったためっていうのはよくわからなくて、
1:36:39	ただし、要はチェックシート等を見るっていう役割はちゃんと果たしていて、実際チェックシートがそろってたっていうことなんじゃないですかなんかも、もうそこにどういう問題があるのかよくわからないんですけど。
1:37:05	三船ツジモトですけれども、チェックシートだけを見てそのプロセスですねチェックをするというプロセスを通過するといった、
1:37:15	形式的なチェックになってしまっていたというところ、実際の中身の実態の、
1:37:22	実績がチェックができていないにもかかわらずというところが見抜けなかったというところの事実を終わったとして、
1:37:29	要因として挙げております。
1:37:33	規制庁大上です。なんか、何回も繰り返しなんですけどそもそも事務局の役割ってどこまでですかっていう、チェックシートの確認でいいのか、その中身をちゃんとしてということなのかでいうと、先ほどの説明だとチェックシートだけ見れば、
1:37:49	いいという仕組みになっているということだったんですけど、違うんですか。
1:37:58	日本原燃佐藤です。もともと事務局の市役目としてはそのチェックシートにチェック入れていることを確認して、それでよしとしてました。ただそれはチェックし、中身の品質というよりもその作業期間を確保。
1:38:13	その申請時期に対してどうするかっていうのを経営層へ報告するにあたっては、そういうチェックではなくて実際の中身をやはりチェックした上で、本当にできてるか新田学校されて、

1:38:24	いるものが作られてるかというのを、核心にしなければ、そういった提言もできないので、今回の対策としては、中身を見に行くということにしたということです。
1:38:34	通常のルール上ではチェックシートのチェックが跳ねられていることを確認すれば事務局としてはそれを確認するだけということになってます。以上です。
1:38:46	規制庁カミデです。
1:38:51	今のもよくわからなかったですね。
1:38:54	要は、ちゃんとチェックし、ちゃんと作業課がチェックをする、チェックをした結果をチェックして残す、チェックしてないものの、チェックシートは残さないっていうことがまずあれば、
1:39:08	事務局の本来の役割は果たせていたと。
1:39:12	ということなんじゃないかと思います。一方で、そうは言ってもう今回、実際無理な、かなり無理なスケジュールを、
1:39:24	化し、同じ体育館で作業しているということからは、そういうところにもちゃんと目を向けて状況を把握しなきゃいけなかったということなんだと思いますけど。
1:39:37	本来、どういうものだったのかっていうのは、もうちょっと明らかにしてもらいたいなと思いました。私の認識なんか違ってますか。
1:39:49	米田サトウです。もともとの役割もそうですし神谷さんの認識の間違いはないと、はい。思います。
1:39:58	はい。規制庁神です。ちょっとその辺り、事実関係としてあと明らか本来どうあるべきだったのかっていうのはちゃんとわかるようにしてくださいって前から言ってるんですけど、まだ曖昧な感じがするので、
1:40:11	よろしくお願いします。私の方から以上です。
1:40:18	規制庁清水です。他申請首尾に関して規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:40:25	長木野です。
1:40:29	この別紙、別の資料。
1:40:32	についてあと2点ほどちょっと事実確認させ
1:40:37	2ページの方にですね。
1:40:40	要因分析図の中に、
1:40:43	難波城で、

1:40:45	文章が書かれているんですけど、その中であって責任者及び事務局とかあごめんなさい、総括責任者。
1:40:56	細かい。
1:40:57	ていう言葉があるんですけど、
1:40:59	これはそれぞれ誰を指すんですか。
1:41:02	例えば実務者っていうのは作成担当課の中の担当者とか、チェック着、
1:41:08	を指すので、
1:41:10	運営市長で表現する意味があるのかというところなんですけど、まず、
1:41:14	総括的認識と、
1:41:16	あと実務者って誰を指すのか教えていただけますか。
1:41:21	日本原燃鈴木でございます。総括責任者は設工認の一番体制上一番上にいる責任者になってます。
1:41:31	妥当実務者っていう記載については、作成担当課、
1:41:36	になりますので、ちょっと記載のほうは統一したいと思います。
1:41:40	以上です。
1:41:42	通常のキシノです。
1:41:45	総括責任者その設備、後任の西條委員、責任者がおっしゃったんですけど、それでいきますと先ほどのですねリティです。例えば会合資料の26ページとか、
1:41:58	対策でいうところ、誰になるんですか、経営層になっちゃうんですか。
1:42:10	それとも、該当するものがこの26ページは登場しないということ。
1:42:21	日本原燃都築でございます。この系統はですねいろんな
1:42:27	統括責任者っていう形で統一したいと思います。
1:42:33	設置の基準です。経営層と総括責任者イコールでいいですか。
1:42:38	藤雪子人の方は一番上が統括責任者なんで、そこから経営層にはそこで状況をするという形で資料の方は、提示したいと思います。
1:42:50	日本原燃佐藤です。その中に含まれますけどイコールこの人が経営層ということではなくて、曾我責任者も含めた経営層という認識では資料を作っております。
1:43:05	木内です。はい、阿比留です。
1:43:09	はい。はい。そこら辺、明確にしていいただければ。
1:43:12	ます。
1:43:14	同一なんですけど、

1:43:19	というか、
1:43:22	時系列の資料の後ろの方についてです。ページ。
1:43:29	一番
1:43:30	下、
1:43:40	日付で言うと、1月6日に、これ事務局、去年1回ですか、耐震計算書の誤記調査依頼っていうのを作成丹他に開けて、
1:43:51	ます。
1:43:53	これは毅然耐震グループ、
1:43:54	あと事務局の方は共通00資料の武器調査依頼というのは、同じく1月6日で、
1:44:00	開けているんですけども、
1:44:02	これをトリガーってのは何でした。
1:44:06	1月3日って確かあのヒアリングが、
1:44:09	あったんですかねそれで、規制庁の指摘を受けてかなと思ったんですけど、そういう理解でよかったですか。
1:44:23	もしくは自発的にやったものなのかどうか、その辺り教えていただき、
1:44:28	はい。日本原燃星野です。
1:44:31	機器耐震グループのところから、各施設課の方に出世、
1:44:36	今期の調査をかけたのは、ヒアリングを受けてからも会、依頼をかけたんですけどもその前から不備が多数見つかっておりましたので、
1:44:48	その前からどの辺に不備があるっていうことを社内で調査を進めていたところでした。
1:44:55	以上です。
1:45:01	部長の木曾です。直接のトリガーは、1月6日のヒアリングで規制庁から指摘を受けてということだけども、その前から、
1:45:13	何て言いますか、自覚はして行って、調査は、
1:45:19	始めつつあったという。
1:45:21	1月6日にスタートを切ったということになります。
1:45:26	はい。日本原燃星野です。すいません説明が悪くて申し訳ないです。今岸野さんからおっしゃっていただいた通りになります。
1:45:36	うん。説明終わりました。
1:45:40	ちょっとその、

1:45:41	ヒアリング前から、どの程度自覚していたかとかそこら辺まではなかなか正確に書くのが難しいかと思いますが、外にこの1月以降はこの上からここに調査依頼をかけたっていうところですね。
1:45:55	とのヒアリングの指摘を受けたっていうトリガーが直接的なとり上がるかと思いますが、
1:46:00	そこはちょっと資料上明確に記載をしておいていただければと思います。
1:46:11	宮城鈴木でございます。そのところですね、北井ヒアリングのコメント下っていうことをお伝えしたいと思います。以上です。
1:46:20	院長、岸野です。はい。お願いします。このページにそういった、
1:46:26	うん。
1:46:28	はい。なかったかもしれませんが、もしどうぞ、同じところがありましたら、同じように展開していただければと。
1:46:35	私から以上です。
1:46:40	規制庁ハバサキです。1点すみません、介護資料では確認させていただきます。
1:46:47	27ページ事例1でですね、チェックプロセスの形骸化ということで、この27ページの例が出てます。
1:46:57	応力比が1.1を超えてるにもかかわらず詳細評価のところに記載がなかったという事例なんですけれども、
1:47:04	これ、問題点だとか先ほどの要因分析のところを見ても、チェック、チェックプロセスに問題があったというまとめになってるんですけども、これそもそも、
1:47:16	エンジニアとして、応力比が1を超えていたら、当然、次のステップ、例えばこの場合だと詳細評価に移る、記載がないっていうのは当然、おかしいと思うわけで、
1:47:28	チェックの以前に、作成担当課自身が、
1:47:33	なぜそこに気づけなかったのか。
1:47:35	作成担当課自身ですね、例えば、能力的な問題なのか或いは経験の問題なのかわかりませんが、
1:47:44	そういう分析がないんですけども、
1:47:47	これ事実関係、まず、どういう状況なんでしょうか。

1:47:57	日本原燃鈴木でございます。ここの例でいきますと、最初に、古い設計図書を、
1:48:07	使って、申請を作って、
1:48:12	ました。その時に最新の多少に修正をし忘れてしまったっていうのが、ここが一つあります。
1:48:21	最新図書を示したままだったので、この通りになってしまったんですけども、もう一つチェックするときには、気づかなきゃいけなかったんですけども、
1:48:32	そこんところについて先ほどもちょっと前ですけど、コサクさんに、深掘りが足りないっていうところが、言われましたので、ここんところはですね、もう少し深掘りをちょっとし分析を、
1:48:43	ちょっと対ちょっと弱いって言われましてちょっとちょっとやって、対策の方が時間があれば、あげたいなというふうに思っております。以上です。
1:48:53	すいません。日本原燃の越野です。今の説明でちょっと補足させていただきます。
1:49:00	これ施設課の方では、その簡易評価の(3)のところの評価をした図書を見て、まずここの数値を埋めたん。
1:49:10	埋めたと、そのあと、NGになってますので、当然違うステップで耐震の詳細評価の方を実施していて、その詳細評価の結果を右側に書かなければいけなかったところを、
1:49:23	ここの(3)のところまでで止まってしまったという事例になってます。
1:49:31	はい。規制庁ハバサキです要因の深掘りが足りないというのはまさにそれなんですけども今のさ、後半に言われた話にしてもですね、ある意味、それ、作成担当課の話ですよ
1:49:43	まずさ、清担当課自身が、やっぱりやるべきことができてないというところがあると思いますので、そこら辺は要因分析に明確に上がってないと、いうふうに理解してますので、深掘りの方お願いします。
1:49:55	よろしいですか。
1:49:59	日本原燃鈴木でございます。この分析の方でちょっと追加したいと思います。以上です。
1:50:05	はい、規制庁ハバサキたら以上になります。

1:50:10	一応シミズです。他申請書不備関係規制庁側から確認ございますでしょうか。
1:50:19	よろしければまずは、ここまでで原電が振り返りお願いします。
1:50:28	はい。日本原燃都築でございます。まずは数のところについては、ちょっと数の方を整理してますので、ページ、簡易提示の単位として数を整理して、
1:50:41	お示ししたいと。
1:50:44	あと資料構成の方については、まず今回の不備のところを最初に説明をして、そのあとに振り返りの方を記載して、構成を整えていきたいなと。
1:50:56	振り返りの方につきましては、過去に挙げた対策、
1:50:59	介護であげた対策をすべてちょっと変えて、それに対する事実と問題点。
1:51:05	要因を整理していこうというふうに考えます。
1:51:08	その要因を今回の資料で言うと 26 ページの方に、病院と挙げて対策をつなげていくと。
1:51:18	いう形で整理をしていきたいと思います。
1:51:22	藤何だ要因分析の方で、分析あたりのところですね、こちらの方をもう一度ほかの点も含めて、分析の方も一度改めて確認をしていきたいと思います。
1:51:39	以上です。
1:51:48	はい。規制庁、清水です。
1:51:57	スケジュールについては最後まとめて確認します。
1:52:01	藤。
1:52:03	抜いて、介護関係でも複数の内容に、
1:52:07	入ります。
1:52:09	衛藤原燃側から説明をお願いします。
1:52:18	はい。日本原燃石原でございます。
1:52:21	MOXのパートでございます。ページとしては、
1:52:30	いいですか。
1:52:31	右下 29 ページからになります。
1:52:36	はい。

1:52:40	31 ページから 33 ページまでは申請の概要ですので小浜の事実に基づいて淡々と展開をさせていただいてます。
1:52:50	34 ページが説明方針なんですけど、これすいません出しておきながら恐縮でございます。今
1:52:57	ダイヤモンドが三つあります。二つ目の方で、負圧維持等にかかるグローボックス鍵付与設定に関係するということで、複数の条文を優先的にやりますよと言って、
1:53:09	なぜこれが優先トップばかりなのかっていう目的がちゃんと書いてないので、ここについて今回の申請対象設備の主になるものってのがグローボックス排気設備、かつ、
1:53:22	これが複数の上部の設計に跨って関係をするということで、そのベースになるものとしてこれを優先的にやりたいというのを考え方を書きたいと思ってます。
1:53:34	もう一つの問題すいません 34 ページに二つ目のダイヤ、三つ目のダイヤモンド等、
1:53:39	二つ目のダイヤモンドを足してもですね全体にならないので、
1:53:42	この三つ目のダイヤモンドで言いたいのは再処理と並行しているもの、設計方針とか評価方針みたいなものが、再処理と類似のもので、再処理と並行してやりますよと言ってる条文、
1:53:55	まずあって、それ以外に、最初にでは榎委員から変更なし要求事項も変更出すと言っているところの条文のチームでも、MOXの場合は、説明が必要な条文があるので、
1:54:07	このチーム、特に臨界とか遮へいですけどもこのチームについては、上記の二つのダイヤモンドの説明状況を踏まえた上で説明をさせていただくと。
1:54:18	いう文章を、一番最後に四つ目の来年度として出させていただきたいと思います。
1:54:24	はい。
1:54:26	続きまして 35 ページが頭の今回の閉じ込めの方針になりましてそのあとに説明が順次いきます。前回ありました 36 ページの 2-1 の頭を書いてあるところはこれもともと 1 にありましたけど、
1:54:41	2-1 の K I c だということで、2-1 の頭の方の言葉として展開をさせていただきました。

1:54:47	37 ページのところ若干 2-1 と言いながら、特に 2 番目の矢羽根なんかは 2-2 の話をしてるに近いところもあるので、
1:54:57	ここは 2-1 として説明をすることをちゃんと展開をしたいと思います。
1:55:01	加えて次ページ、三つ目のダイヤモンドで 2-1 の説明を今後しますよと言ってることの次ページ以降に示すと言ってる。
1:55:11	趣旨が非常に曖昧なまま、文章書いてしまっているので、今回この説明の例示として、38 ページ以降に、グローブボックス排気設備を例として今後説明する。
1:55:24	経費の考え方みたいなものを今回お出しをすると。
1:55:27	結果としての議会には全部並べてご説明をさせていただきますというのは、今回の主旨でございますのでそういうことがわかるように、三つ目の内容のところですっきりいただきたいと思います。
1:55:39	四つめのダイヤモンドの P とか S G の話については、閉じ込めに特化したものではないので、ここに書いておきながら恐縮でございますこれもっと前のですね、
1:55:50	先ほどあった 34 ページに記載を展開させていただきたいと思います。
1:55:55	これはまた他の条文見るたびに毎回毎回書くつもりはないよね。全体のところに移させていただきたいと思います。
1:56:05	はい。あとは先ほど午前中の
1:56:08	鷺谷のときにもありました 30、
1:56:13	9 ページの展開はですね、これがどうやってここに行き着いたところがさっぱりわからないレジぼんと書いてますので、
1:56:20	データ処理の共通 12 の関係も踏まえた上で、
1:56:24	対象設備等設計方針のひもづけというのを網羅的に
1:56:30	合同説明につなげるべき設計方針を充実した形みたいな考え方ですね。
1:56:35	新しいこと違うことがあるんですけども、この 38 ページの方に近いと考え方を変えて、
1:56:42	今例としての紐づけっていうのを、設計方針の大枠の考え方とこの 39 ページの表であったりあとは残留せずですね、
1:56:53	これとのひもづけをしてこういうふうに今後、
1:56:56	各設備について説明していきますよという流れにさせていただきたいと思います。はい。

1:57:03	あと4ページ以降は参考資料で、ファクトを並べさせていただきました。以上です。
1:57:12	規制庁清水です。それでMOX関係について規制庁側から確認ございましたらお願いします。
1:57:20	規制庁の田尻です。
1:57:23	口頭でしか補足あったところではないけど、ちょっと頭の方から事実確認なんですけど、
1:57:29	まずも複数に関してなんですけど、
1:57:32	31ページとかって現れてはいる気がするんですけど、基本的には再処理施設と同じような方針で説明しますよっていうことでいいですか。先ほど39ページか何かのところで少し触れられたような気はするんですけど、全体として、今最初にやってるようなやり方を踏まえながらやっていきますよっていうのがまず基本でいいですか。
1:57:51	はい。日本原燃志田でございます。部会長はイエスでございます。はい。はい。規制庁谷です31ページで、再処理と同じものをゴールでやってきますよというところまでは明記されてるんですけど他は何かそれぞれやるのか。共通的な考え方にのっとっているのが表で今までも言ってきたと思うんですけど、
1:58:09	口頭でもいいのでそこを改めて言っってもらえとこちらも認識しやすいかなと思うのでよろしくお願いしますというのと、
1:58:16	ちょっと説明がどこまで言われたかわかんなかったんで確認なんですけど37ページからのところで、
1:58:23	結局今回説明するのは、
1:58:27	35ページに書いてあるように1ポツと2-1の途中までなんだと思うんですけど、
1:58:31	新野一井は、ページを示すだけですかそれとも閉じ込めについては、
1:58:38	構造を説明したというふうに39ページで言いたいのかというと、どっちですかね。
1:58:44	はい、ありがとうございます。今ご質問の答えとしては、ページを示したいということでございます。
1:58:50	規制庁谷です。なぜあくまで1ポツの方針に関しては今までと変わらない形で、この2-1としてどういうふうを示していこうかっていう考え

	方、それも最初に踏まえながらこういうふう到现在整理してってるんですよっていうのを示そうとしてるとまず思えばいいですか。
1:59:05	はい。乳井下司でございますはい。今のご質問その通りでございます。
1:59:11	はい。規制庁田井です。どっちが先だといいて話でもないんだけど例えば 38 ページ
1:59:19	浅羽牛のラフな話とかやってるんですけど、最初にはまだやってなかったりしてなんか、合わせてやって空のところどうかどうかあれですけどここはまず例示だから、そんなに具体的に踏み込まないから、この最初に追いついてどっちで説明するかとか整理されるとうまくいすかね。
1:59:35	はい。日本原燃瀬谷でございます。はい。
1:59:39	はい。合わせてやっていく今回字を示しましたかつ、屋外物が無いので木造代行か建屋内のものに対して必要な設計方針と、
1:59:50	いうこと説明をするとなると、これぐらいしか竜巻、外部衝撃関係はパーツが無いというのが実態でございますので、そこも含めて、最初にとの横並び、どうやってどういう順番で説明していくかは、
2:00:04	整理をして進めさせていただければと思います。
2:00:08	すいませんコサクです。
2:00:10	第 10 条閉じ込めでって言うているときに、何で竜巻がこれぐらいしかなくてこれを提示しないとって言うてるのかがわからないんですけど、どういう意味ですか。
2:00:26	はい。宮城志田でございます。はい。閉じ込めの関係で出てくる、先ほどあった、米 1 で 34 ページですかね示した、
2:00:36	関係する条文も含めた対処設備という意味でいくと、
2:00:40	グループ再設備とかブロックでできますけど、
2:00:44	外部衝撃関係でいくと、この気圧差の部分が今回、設計方針として示す具体的な場所になるということで、今、同じです。意識は確認なんですけど、
2:00:58	31 ページとか 32 ページで、今回の申請対象設備が示されていて、
2:01:03	今回、ちょっと配送が言っちゃいますけど岡がやろうっていうのがない中で、地震を除く外部衝撃を考慮するものって何があるかっていうと、火山だろうが竜巻だろうが回避といえるものになっていて、

2:01:18	その下がどこで主に登録されるかっていうと閉じ込めだから割と今回の閉じ込めとこでかい、外部事象絡みのやつが示されるとかそういう話。
2:01:28	なんかちょっとよくわからないんですけど。
2:01:31	はい、日本エリアでございますはい。そういう説明を、
2:01:36	したかったところでした。
2:01:38	コサクです。ごめんなさい。その説明すらなんで、
2:01:55	はい、日本ギリシャでございます。今のご指摘は、そこまで進んでないでしょってことですかね。それとも、ここでわざわざやる必要じゃなくて最初に合わせてやればいいじゃないかということです。
2:02:07	古作です。全体の説明方針は今言われて一番最後のことだったはずで、何でこっちで先行してやるんですか。
2:02:16	再処理でまだレンジでも出てきてないものっていうことなんですけど。
2:02:24	カミデできるようなものが、
2:02:31	はい。日本原燃者でございます。はい。そういう意味でいきますとおっしゃっていただいている趣旨を踏まえると、
2:02:38	MOXが飛び出て今回説明することは特段ございません。あくまで、2-1は、再処理と横並びを踏まえながら最初野木説明とあわせて、
2:02:50	やらせていただくということかと思えます。
2:02:53	あと1ポツのところでの、第2回と第3回の切り分けの話とかですねそういうだけが対象になるかなと思います。他も結局は、
2:03:04	あんまり大した設備がないと言ったらあれですけど、耐震も耐震重要度に応じた設計をしますということですし、
2:03:11	特筆すべきものも特段ここでやらなきゃいけないようなこともないので、そういう整理かと思えます。
2:03:19	はい。コサクです。
2:03:22	今回の説明方針はそういうことだったと思うので、それに合致するレジ説明いただいたらいいと思います。
2:03:32	が、
2:03:33	準備はできる。
2:03:35	どうでしょうか。
2:03:40	はい。日本原燃志田でございます。はい。今回説明するはいとの関係で準備をさせていただきます。

2:03:52	はい。
2:03:56	古作です。
2:03:58	共通 08 でいろいろと図面は作られてルーので、
2:04:04	適切なものを持ってきてもらえばいいだけかなと思いますから、この後、共通 12 の話をしつつ、その辺りも確認ができれば、
2:04:13	いうふうに思います。
2:04:16	はい、日本イシハラでございます。はい。1 ポツで言う局長は千野議員の中で、
2:04:21	1 国で行って背景等の説明ですね、その範囲が第 2 回の範囲でみたいな話の構成も、
2:04:30	絵はついてます考え方も書いてますので、そういうことの説明をさせていただくのは十分できると思いますので、背弧の後の共通の展開も含めて、
2:04:39	はいお考えを整理して、各資料を入れ替えなりしたいと思います。はい。
2:04:48	はい。規制庁館ですよろしく申し上げますというところですけど、その場合 39 ページってどうしますか。今回、
2:04:57	はい。日本原燃志田でございます具体の構造の話には多分いかないので、39 ページは、
2:05:03	どうします。系統構成の話と、第 2 回と第 3 回がいわゆる排気系統で混在しても、入口とか出口の場合ですけど、
2:05:13	対象物が書いてますよっていうところの説明をした上で、
2:05:16	こういう設計方針として今回どう切り換え切り分けるのかっていうところの整理をして、
2:05:22	説明をさせていただこうかと思いました。以上です。
2:05:26	はい規制庁谷井です。今回香田閉じ込めはあくまでここ 1 ポツは説明するにせよ、そっから先に関してはあくまで 1 度今後の方針だけ示されるということで理解いたしました。
2:05:38	とりあえず自分から 1 回以上なので他の方が先お願いします。
2:05:46	とコサクです。31 ページなんですけど、見た目だけなんですけど、
2:05:52	細かくて何言ってるかがわからない。
2:05:55	です。
2:05:56	細かいのわあ、次のページに図面があるので、

2:06:02	これに1項と2項、
2:06:04	何ですかね囲みの色を変えるとか、なんかちょっとわかるようにしてもらったらそれで十分なんじゃないかなと思うんですけどいかがですかね。
2:06:16	はい、二本木西田でございます。はい承知いたしました。
2:06:20	32ページの図を工夫して1項と2項がわかりさせていただきます。その上で、31の方はどんなパーツがあって
2:06:30	括弧書きでルポぐらいですね、を書いて、あの辺りへの表はさせたいと思います。こんな細かく書いた結果何が起こったかといいますと私がコピーミスしまして、
2:06:42	失敗してるところもあるので、はい。こんなに9月に整理を淡々と簡単にして、32ページが工夫をして、1個2個がわかるように、ぜひ意識したいと思います。
2:06:54	はい。コサクですよろしく申し上げます。もし、簡略化するのはいいんですけど、
2:07:00	醜い理由はですね、1項と2項の中で羅列してるからなんですね。
2:07:06	横時空2、
2:07:10	今主な申請対象設備ってダーって横なら、幅広く取ってるんですけど、これ真ん中分けて、1個、1項申請に更新制って書いて縦軸を
2:07:21	建物構築物皮膚食う、組み立てと。
2:07:25	並べてもらう等、
2:07:28	この設備、この施設については1校がこれに工場フォレット。
2:07:32	いうことでわかるので、
2:07:36	もう少し見やすくなるかなっていう気もしています。
2:07:39	そうすると一設備数も内訳が少しわかってですね。
2:07:45	ええ。
2:07:46	確か参考それっぽい。
2:07:51	1041ページかな。2、入ってんですけど、この迫いらなくなるんですよ。
2:07:57	ちょっとこれ、機種でも入ってるから、ちょっと意味が違うんですけどあんまりこれなくても、それぐらいのやつが本体にあれば十分かなって気がするんですけどいかがですかね。

2:08:08	はい、日本石田でございますはい。ありがとうございます。内訳も全部数字は取ってますのでその形で整理をさせていただきたいと思います。 はい。
2:08:19	はい。補足です。31 ページのした二つのダイヤは先ほど話したところでの説明方針ということですから、それに応じた、
2:08:28	説明に今回してくださいねということにな。
2:08:32	てるかと思います。
2:08:33	32 ページは先ほどお願いをしたところの対応されると見やすくなるかな。
2:08:41	思ってます。
2:08:43	33 ページは、
2:08:47	最初リーの1月ですかね。
2:08:52	の説明であったようなものを、にそろえて対応してますということだと思いますので、
2:08:59	それで進めていただければいいと思いますけど、34 ページにいくと、
2:09:06	ちょっと言葉足らずでいきなり10条が出てくるっていう感じになってるんですけど。
2:09:12	ここ、その再処理と同じように書かなきゃいけないということだと思うんですけど何で違うんですかね。
2:09:25	はい。宮城西田でございます。
2:09:29	何でと言われると私の文章力の低さが原因ではないかと思います。はい。先ほど口頭で申し上げたような体制と考え方を変えるつもりはなかつ、ていうような、
2:09:40	話を前回して書き直しますといった結果がこれなので、はい。私の文書力のなさを、
2:09:46	風化しております。はい。
2:09:50	古作ですそう言われてしまうと何といたらいいか。
2:09:54	あれなんですけど、
2:09:58	再処理の1月の
2:10:03	資料でいう。
2:10:06	どうあれ、
2:10:08	言うのですよ。
2:10:11	ええ。

2:10:18	当時の5ページっていうことになるんですけど、
2:10:21	条文ごとに説明する耐震設計は、
2:10:27	と来てしまう。何か違うの。
2:10:32	これ、何か
2:10:38	はい。日本ギリシャです。前回もこの1月の谷津皆川って言ったんですけど、
2:10:44	思い返してみると1月が大したことなかったんで悩んだ結果です。はい。1月じゃなくて、2月でやんなきゃいけないんですかね。はい。
2:10:53	村木からいきます。はい。
2:10:56	ただ2月もそんなに、
2:11:00	裏ましたかと言われると、
2:11:05	2月になると個別の条文ごとに、先ほど言われた1月のやつをベースに、個別の条文に展開をして話をしているので、
2:11:16	何を優先的にやるかってのはやっぱり1月の会合なのかなと。
2:11:20	何が何で1月のときに耐震を、
2:11:25	優先対象にしたかってところが、やっぱり今の
2:11:33	耐震のベース、能勢様は数が多いってことですね、対象設備はすべてに関係するからってことが多分一番のチェックかなあとと思います。
2:11:44	これと同じような考え方で確かに耐震はすべての設備に関係するっていうのはもう、いつも最初にも変わらないところではあるんですけど、
2:11:53	設立は圧倒的に違うのと、今回の
2:11:56	MOXのあれですけど、
2:11:58	その申請での複数のものに関連するっていうところの一番のメインは何かというときに
2:12:07	廃棄設備9月あたりのその設計方針ですねこれが関係するかということを書きたかったんですけど、それじゃ当確と、この1月の最初のこの5ページの二つ目のダイヤモンドと、
2:12:19	違うことを言っても聞こえませんよね。
2:12:29	あれ。
2:12:31	耐震設計を、
2:12:36	全般にわたる強い一番のポイントになるのでと再処理でまず、
2:12:42	他の条文もう、
2:12:46	耐震設計の2の

2:12:49	1、2-2 と行くときには、他条文の要求を踏まえた構造設計を説明してないと。
2:12:56	ええ。
2:12:58	評価ができないのでということで先行して、
2:13:02	並行してやりたいと。
2:13:04	言っていたという構造をここで言ってもらわなきゃいけないと思ってたんです。
2:13:10	それが全くななくいきなり十条ってきちゃうから、8体あってないように見えるっていうこと。
2:13:18	なので、そのあたり、
2:13:21	手当をしていただきたいと思います。
2:13:28	はい、宮城西田でございますはい。おっしゃって写真は理解をしました。
2:13:34	そうですね若干言い訳じみって言い訳をしてるわけじゃないということ的前提に、今の 34 ページの一番最後に再処理と並行して進めるって言うのが、
2:13:45	最初の優先順位に応じたこれを並行して進めるというふうに、耐震を入れてしまったので、ここで一気にトップばかりなんですが、消えちゃったって言うところが、若干
2:13:57	経路が変わってるように見える原因だと思うので、同じような展開で書いた上で、こういったものは再処理と並行して進めますよみたいなことを展開するようにさせていただきます。はい。
2:14:10	はい。
2:14:10	コサクです。そこがポイントだと思っててですね。
2:14:15	ええ。
2:14:20	まず、34 ページの最初は、再処理、
2:14:27	その前の、
2:14:29	31 ページの最後に書かれているような方針、
2:14:33	再建するのかどうかはちょっとあれですけど、踏まえたところにして、そうすると、まずは全般に係るやはり耐震ですと、
2:14:45	ということになるんですよ。で、なるんですけど、
2:14:49	MO X の場合は第 1 回建屋が認可済みで、
2:14:54	地盤の方の話をもう終わっていると。

2:14:58	で、残るのは2-1の設備側になりますと、
2:15:04	なのでっていうので、
2:15:08	下のダイヤの方に、
2:15:11	移行すると。
2:15:14	いうことをまずちゃんと言わなきゃいけないっていうことです。一方で
2:15:20	耐震の2-1に合流すべく、主要条文でやっていくという話については ってのが二つ目のダイヤになってて、
2:15:29	そのうち
2:15:32	基本は、最後のダイヤの話でいくんだけど、
2:15:38	と変更条文じゃないようなものっていうのは、最初にはやらない、明 示的にはやらないし、一方で、MOXの方は新規のものもあるから、
2:15:49	やっていかなきゃいけないという差分があって、
2:15:52	そのあたりを中心に、
2:15:56	MOXではまずやりたいと。
2:15:58	ということから十条が出てきますっていう古藤だったと、前回の話で、
2:16:03	思っていますねそういう旨が流れって書いてあるといいなと思うん ですけど。
2:16:10	はい。日本原燃石田でございます。はい。ありがとうございます。私ど もで理解でき、ご説明いただいてありがとうございます。はい。おっし ゃっていただいた形、31ページの、
2:16:22	一番最後がメインの基本的な考え方ですのでこれをキックにして、
2:16:27	最初井藤合わせてやるもの、かつ、耐震がメインなのは変わらないとな ってただ健診等とかFRSまで、第1回出てますので、それも踏まえる と、
2:16:39	MOXの場合はこれ、それ以外、
2:16:42	主要でやっていきたいもの、かつ再処理では変更なしで、あまり議論に ならないものとして、とりこみたいなものを優先的にやっていきたいん だということの展開にさせていただきたいと思います。はい。
2:17:02	はい。補足ですそれで、36ページ以降は、最初に先ほど話をした構成を 踏まえてやっていくということで、
2:17:12	そうすると1ポツからの流れで要求事項、
2:17:17	設計方針といったところからなるんですけど、閉じ込めが主でありつ つ、関連条文ということで、一通り上げる中には、先ほど、

2:17:28	具体例で示すものじゃないですよねといった外部衝撃とかも、要求事項とちゃん入ってくると。
2:17:35	その上でA、
2:17:38	それを踏まえて累計でどんなものがありますかという登場人物を示すと。
2:17:43	いうことになってそれが今だと 36 ページに少し書かれてますけど、
2:17:52	少し書かれてますけど大分趣が違ってですね。
2:17:56	趣が合うように、実は最初の方もちょっといまいちなんですけど、
2:18:02	それでいうと共通 12 の方で別紙 4 から 2 に、
2:18:08	展開する驚見括弧で書いているようなもの。
2:18:14	が、
2:18:16	電気される等、どういう。
2:18:19	ことでの累計をしているのかっていうのがわかりやすく、
2:18:23	その内数としてこういうのとかこういうのとか例示でってなると、わかりやすいんですけど。
2:18:29	そんなふうにできますか。
2:18:31	そんなふうになるようでもありちょっと悩ましいなところなんです。はい。
2:18:37	おっしゃっていただいたように最初にアベッチ 40 からの隅括弧でやってるような分類額ですねこれ
2:18:46	MO X でや、今展開しているのでいくと。
2:18:50	ほぼ基準類ってあんまり変わらない。グローブボックス排風機フィルター格闘みたいな分類が、
2:18:58	ベルCMの中でもう分類としてはできるな話なので、そこで多分展開をされてそれぞれの提携方針の説明が移行して展開をされていくと。
2:19:09	ということだと思いますというのがわかるように、整理をさせていただきたいと思います。
2:19:16	はい。コサクです今の話でもちょっと不安なんですけど、機種分類あんまりこだわらないほうが良いと思っていてですね、再処理の共通上にも機種分、
2:19:27	類、特にSAの方ですけど、機種分類を意識しすぎるがために、何だか雑多になっちゃっててですね、類型がちゃんと整理できてない、無駄な作業が発生してるっていう。

2:19:40	印象を受けてます。
2:19:47	構造設計という観点からすると、強度の話として、方、定型式は、容器と配管で違うわけですが、
2:19:58	それでも別にそんなに大きな、
2:20:00	違いではないので、わざわざその設計概念を説明するときに分ける必要もないかなと。
2:20:08	いうふうに思っていますね。
2:20:11	動的と静的ぐらいは分けても、
2:20:14	いいのかなというふうには思いますけど。
2:20:17	ええ。
2:20:20	どちらかというと要求事項Dのぶら下がりってところで整理をいただいた方が、
2:20:26	ぱっと見で理解しやすいっていう感じがしてるんですけど。
2:20:31	どうなんでしょうか。
2:20:37	はい、宮城西原でございますそうですね
2:20:41	今おっしゃっていただいたように要求事項、設計方針から、構造説明に展開するときに、どういう分類が一番
2:20:51	すんなり頭に入るかという時おっしゃっていただいている記述をあんまりメインに立てると、違わないものまで分類をして展開をしていくためにはなるってということもあると思うので、
2:21:03	構造説明をする上での、必要な分類学っていうかね、これを考えて展開をするようにしたいと思います。
2:21:12	おっしゃっていただいたように普通の構造を考える議員じゃ、
2:21:18	フィルター。
2:21:19	フィルターを見たときに耐震みたいなものが入れたと、排風機が違うんですが、耐震の設計としてあんま変わらなくて、どちらかという動的、静的みたいな分類額ですかね。
2:21:31	効いてくるのかなと思います。その辺も含めて設計方針を展開するためにどういうグループがいいかをちょっと考えて、このページで展開をして、次につなげていけるようにさせていただきたいと思います。
2:21:47	はい。コサクですよろしく申し上げます。
2:21:53	阿藤 P P S G の関係を、今 37 ページで書いてあるのを、前段で言いますというふうに言われてたんですけど、

2:22:06	前段と言われたのが 34 ページと言ってたような気がしますが、
2:22:10	ここでどういうのっていう感じがして、
2:22:15	ここは何だろう、大枠としての説明方針であって、要求事項との関係でもないの、
2:22:24	等要求事項との関係を言うのであれば、今だと 35 ページの表の次のページで言うっていうことになって、そうすると条文ごとに、
2:22:35	触れるって形になっちゃうんですけど。
2:22:38	なっちゃうんですけどって言いながらそれでいいような気もしてるんですけど何か困ります。
2:22:45	或いはあれですかね全体方針だけで行って行って関係のあるときに普及をするってことですか。
2:22:53	はい。宮城志田でございます。私が思ってたのは今、後にいただいた方法を考えてました。
2:23:00	古作です。状況はわかりました。
2:23:05	が、先ほど 34 ページでいったところでの修正をしたときに、そういった方針を、
2:23:13	これは再処理では言わずに M O X で言うってことになってるんですか。
2:23:21	はい。日本原燃の志田でございます。
2:23:24	いわゆる戸田川井田君。
2:23:27	連体当たり前なんですよねということで、かつ、第 1 回にお約束したのは、両方やっていますので、
2:23:36	はい。
2:23:38	ええ。
2:23:42	今後、
2:23:44	展開する時にやるしか今ないのが、
2:23:49	今言われてるのは最初にじゃあ供給時で同じようなことをやるのかっていう時に今全然触れてもいないですから、
2:23:56	暑う他の常務なんか受けてるかって言ってもそれもやってないですし、
2:24:01	はい。そこも含めて、
2:24:03	会社としてどう説明したいのかっていうのがちゃんとわかるように、
2:24:07	各場所、書き方を考えたいと思います。はい。
2:24:12	はい。補足ですよろしく申し上げます。

2:24:21	先日 I I I A S で面談をした時にもう、狩野さんには、何もしゃべれないというのでは、連携図れないのだから、
2:24:32	効果でしゃべれる範囲をしっかりと認識をして、コミュニケーションをとるようにとコメントをさせていただきました。
2:24:40	ところですけど、
2:24:42	と言いつつも公開会合 d どこまで触れるんだと。
2:24:46	いうのわあ、ちょっと、
2:24:49	レベルが高いかなと。
2:24:51	いう気もしてですね。
2:24:53	D と国井奥が
2:24:58	A p p 設備との関係での配置というか、構造というか、
2:25:06	の考慮っていうのもあるという古藤なので、
2:25:11	その点を、
2:25:14	何て言うのかなあと。
2:25:17	いうところはない。
2:25:18	ちょっと私も、今どこまでなら
2:25:22	いいかなって思うの難しくてですね。
2:25:25	一方で M O X の方ワー総合関係
2:25:29	地、
2:25:30	後グローボックスの中にあるとか、支持するとか、
2:25:34	周辺にあるとかっていうぐらいは当然にいえるよねと。
2:25:38	いう範疇なのでさほど悩まないとは思ってる。
2:25:42	ですね。
2:25:43	なのでどの程度会合で言うかっていうことを再処理等も踏まえながら、話をして、
2:25:55	少なくとももう後囊構造設計の具体っていうところで、何らかの配慮の状況は示していただくと。
2:26:03	そのためにもう関連するところで納要求事項のところには、総合関係を踏まえて設計しますということは述べていただくということかなと思います。
2:26:16	はい、吉田でございます。はい。承知いたしました。
2:26:22	再処理のことで、どう説明するかっていうのも考えて M O X 最初に合わせて、

2:26:28	進め方を決めた上で、
2:26:30	審査会合の資料という意味では、若干先送りになってしまうかもしれませんが、今後具体のものが、条文と展開を適宜、記載をさせていただくと思うんですね。
2:26:40	いうことも含めて整理をしたいと思います。はい。
2:26:51	院長志水です。項目関係で規制庁側から確認ございましたらお願いします。
2:26:59	次、古作です。ごめんなさい、古作ですんす。
2:27:04	ズスキになっちゃいますけど、42 ページ以降ってこれ入りますか。
2:27:14	はい。日本原燃石原でございます。はい。枯れ木の何とかでつけてみましたが、付けたいのかっていうと、別に
2:27:23	結構でございますので、その方向でさせていただきます。はい。
2:27:28	はい。
2:27:28	コサクです。最初に参考ついたところもありますけど、あまり効果を発揮してないので、
2:27:36	いらないと思います。
2:27:39	赤嶺さんどうぞ。
2:27:43	はい。規制庁古味ですちょっと。
2:27:45	な、中身の確認って言われもないんですけど 31 ページで、
2:27:50	2 項申請で、建物構築物堂々子が入ってるんですけど、どうどうて何か変更になったんでしたっけ、今回。
2:28:08	倍の峰でございます。
2:28:11	県として何も変わってないという実態でございます。業務設計方針を書くとかいろんなものも含めて記載の適正化が図られているだけで、設備もそのものは、変更もないです。はい。
2:28:27	規制庁神です。そういう場合って、どういう整理で、
2:28:31	に更新に更新制に変更になってるんですか。
2:28:40	はい。二本木西原でございます。はい。
2:28:44	今回
2:28:46	地域性基準を踏まえた、初めてってか初回の設コーニングを第 1 回受けてますけども、全体として

2:28:55	基本設計方針を展開する仕様表の書き方をどう、どうする、発電所を習いながら整理をするといったことも含めて、全体変更として扱って今回やってますので、
2:29:07	その内数というか、んなのかなと思ってました。
2:29:12	はい。規制庁深見です。
2:29:14	あれですか仕様表対象になってて、仕様表出て行くから変更後にほとんど何も書かれないんで、
2:29:21	ていう意味での2項申請がこうねこう変更だと思えばいいですかね。はい、二本木仁科でございます。はい。そういうことかと思ってました。
2:29:31	同じですか。社長館です。ちょっとどっちで整理してる場合は確認なんですけど、どうも多分火災区域構造物とか、各構造物間には登録されてると思うんですけどあれは同等っちゅうのは深く構造物っていう整理でしたっけ。
2:29:50	はい。日本エネ社でございます
2:29:53	9仕様表の分類としては、そうですね葛西。
2:29:56	区画構築物か例整理をしてました。はい。
2:30:00	規制庁谷です。いずれにせよ、区域ってあの部屋F空間としての火災の条文の要求がかかっているんで何かしら説明は要るのかなと思いつつだったんですけど。
2:30:11	先ほどの話で基本的に新基準の前の対応で意識やってっていう流れの中で一応登録されてて、その時に火災とかそういうのも含めて説明があると思っておけばいいですかね。
2:30:22	はい、日本エリアでございます。はい。今おっしゃっていただいた通りという認識でございます。
2:30:31	規制庁深見です。あともう1点31ページで、
2:30:37	建物構築物に排気塔がないなあと思ってみると1項の海域施設に入っていると。で、実際耐震として、
2:30:48	今回見ますけど、構築物の一つとしては見るんだけど、ここでの整理額としては廃棄施設に入ってくるってそういうことなんです。
2:30:58	はい。稲毛西田でございます。今の書き方としてはおっしゃっていただいている通りでございます。はい
2:31:06	書いたほうがいいかなという気はしてました。はい。すいません。

2:31:11	はい。規制庁深見です。どういう並びで書くのがいいのか、わかりやすく言えばIT建物構築物って感じもしますし、例えば幾つかの設備分類としっかり対応させてっていうことであれば今のあれなのかもしれない。
2:31:29	ですけどそうすると、漏えい防止堰が何か宙ぶらりんな感じもしますが、ちょっといずれにしてもこの表を整理されてると思うんで、考えてもらえればと思います。どちらでも私は特段、こだわりはないですが、よろしくお願いします。
2:31:46	はい。宮城西原でございます承知いたしました。
2:31:50	藤規制庁カミデ私の方からは以上です。
2:31:57	規制庁志水です。MOX関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:32:07	よろしければ、原燃側から振り返りをお願いします。
2:32:16	はい、二本木西原でございます。はい。
2:32:20	修正するポイント、
2:32:23	ですが31ページですねこれ
2:32:26	非常に見にくいところもありますのでお話をした通りの見やすい整理をさせていただきますということと、32ページのところは、医療、枠額以内で1項と2個分かれるように、整理をしたいと思います。
2:32:41	あとは、34ページは、考え方は、31ページの一番最後に入ってるものを再掲しながら、その考え方を踏襲しつつ、各
2:32:53	もうあと最初には健康なしとしているので僕として、主としてやっていきたいものっていうのがこういうものがありますよという流れで展開をさせていただきたいと思います。
2:33:05	はい。あとは、36ページ以降のところ、2-1ですね特に説明の仕方として最初に共通の見解も含めながらそれとあわせて、
2:33:17	やっていく形で整理をした上で、その記載を見直していきます。まず今回、どこまでやるかっていうのを整理した上で、
2:33:26	記載方針の記載範囲というのを、あと、後ろの39ページの裏辺りの例示も含めて対応を決めて、修正をさせていただきます。
2:33:37	以上です。あと参考はいきます。はい。
2:33:43	はい。規制庁清水です。それはボックス関係も%規制庁側から確認ございますでしょうか。

2:33:52	もう。
2:33:53	一応シミズですとか会合資料については、
2:33:57	とりあえず一通り、
2:33:59	9にしましたが、全体的にスケジュール、提出のスケジュールとか、
2:34:06	はいかがでしょうか。
2:34:17	はい、宮城西原でございます。奥寺委員。もう1回、
2:34:21	マーケターでもすべて、
2:34:25	金曜日でいい。
2:34:27	海も、
2:34:33	御説明。
2:34:34	もうできてるわけですね。
2:34:36	はい24日の金曜日に提出をさせていただくとこれも多分24日夕方じゃとてもじゃないですけど、雨話になるので、なるべく早く、24日の早い段階でお出しできるようにさせていただきます。はい。
2:34:52	規制庁吉見です。
2:34:54	しました。
2:34:55	嶋藤。
2:34:57	ちょっと先ほど振り返りであったのは聞き逃したのかもしれないんですけど申請書文に関して、
2:35:03	パフォーマンス改善会議にかける資料を修正してそのまま出すみたいな話があったと思うんですそれはいつ、
2:35:11	合わせて24日でしょうか。
2:35:18	はい、二本木西尾でございます。
2:35:21	24日って言うと思う。
2:35:25	お1人をストールの質問時点がすんじゃない。
2:35:28	そういうこと。
2:35:30	明日です。はい。
2:35:32	明日出せます。はい。
2:35:34	わかりましたね奥津川下。
2:35:37	提出をお願いします。
2:35:39	藤鹿内です。
2:35:41	それは海保CEO全体を通して%規制庁が確認、夢側、よろしいでしょうか。

2:35:49	特に大丈夫でしたらあと共通 12。
2:35:54	細かい話に入りますが言ったんとヒアリング開始して時間経ってるので、休憩を挟みたいと思います。
2:36:03	10 分ほど休憩を入れて、
2:36:06	20 分。
2:36:08	16 時 20 分再開にしたいと思いますが原燃がよろしいでしょうか。
2:36:14	日本原燃、大丈夫です。よろしくお願ひします。はい。それでは、二瓶委員の
2:36:20	どう。
2:36:21	しますので、録音を停止します。
0:00:01	荒廃しました。
0:00:02	それでは共通 12 についてで、資料がいろいろとあるんですけど、原燃側から説明をお願いします。
0:00:13	はい。説明は前にですねちょっと出席者をもう一度紹介させていただきたいなと思います。
0:00:19	トガシ関係ですがまずシミズエビナ。
0:00:22	タナカハラダナリタ。
0:00:25	ラボ稲妻小笠原、それから三菱重工さんから林さんと松永さんが今担当しております。
0:00:33	以上出席者となります。あと共通中に今清水さん言われた通り資料ちょっと多いので、説明者からですねどういうふうに説明するかっていうのをちょっと紹介させていただいて、資料のご説明に入りたいと思います。
0:00:48	はい。日本原燃志水です。
0:00:50	共通中に関係説明資料幾つかありますけども、
0:00:55	説明の順番といたしましては全体の骨格になる部分の、
0:01:01	説明ということで共通 12 の構成全体体系等書いている、3 月 11 日に成立していただきさしていただいた資料。
0:01:09	こちらの説明をまずさせていただくと。
0:01:12	引き続き、共通 12 自治体で本体のレビジョン 6、3 月 11 日こちらへした資料の方をご説明させていただきたいと思います。
0:01:23	これらの二つの説明の中にですね、
0:01:27	と合わせてですね、本日、提出させていただきました。

0:01:31	コメントに対する対応方針カッコ共通 12 という資料、こちらリンクさせながらちょっとご説明の方させていただきたいと思ってます
0:01:42	一番最後に、重大事故等対処設備の分類、3月20日提出した資料、こちらを一番最後にご説明したいというふうに考えているのか。
0:01:52	はい。このような流れでご説明させていただきたいと思いますというのと、あと1点、午前中のヒアリングで、宿題となってございました。
0:02:03	隙間といいますか防護板の設計の設置の設計の設計コンセプトについては、共通12の本体の説明の中であわせて回答させていただきたい。
0:02:14	はい。説明の流れは以上でございます。
0:02:19	はい。
0:02:20	よろしければ説明の方移らせていただきたいと思います。
0:02:28	まずは共通12の構成全体体系ということで、こちら、2点、整理したアートを改めて整理した点がございます。
0:02:38	コメントリストのほうでいきますと、
0:02:48	通しページがですね、
0:02:51	11ページになります。まず、
0:02:55	1ページ、ナンバー61。
0:02:59	対応方針のところで書いてますけども、別紙3との
0:03:04	別紙4ですね。
0:03:05	基本設計方針から構造設計の整理表につながる場所。
0:03:10	その繋がりってものをどう整理するんだという、宿題受けてまして、その点をまずご説明させていただきたいと思
0:03:19	資料の1、
0:03:21	全体体系の方の資料戻っていただきまして1ページ目になります。
0:03:25	今回追加したのが、下の右側ですね、別紙4の整備標語のところ、一番右端になります。
0:03:34	類型分類番号ということで、
0:03:37	この別紙4の中で、構造設計が必要な規模が、に関わる基本設計方針、
0:03:43	抽出したものに対して、
0:03:47	類型分類のどの分類番号はこの基本設計方針の番号に該当するのかっていうのをここで示して、
0:03:55	ここへお示した番号に該当する設備が、
0:03:59	別紙リターン。

0:04:01	の中で、その分類に該当するものがあつたオレンジなり、青のハッチングの構造設計が必要なものだというふうに見えてきて、
0:04:13	この番号にない分類の機器については、
0:04:16	別紙3では、白抜きの'で示される基金があると。
0:04:22	というような形で、別紙3と別紙4のひもづけをしたいというふうに考えてございます。
0:04:28	資料の方、5ページ目の方見ていただきまして、
0:04:33	結果としてこの
0:04:36	構造設計が必要だと整理した基本設計方針に、
0:04:39	該当しない分類のものについては一番最後の5ページ目の右下のところで、この分類の番号のものは、構造設計の対象にならないということで明記してお示ししたいと思ってました。
0:04:51	ただちょっと、本日のすみません、提出した資料でちょっと書かれてないというのが、この番号がその条文の
0:04:59	中でどういう
0:05:02	何だ、分類番号は何に該当するのかっていうのをちょっと、ちゃんと判例として書いてなかったんで、この点はちょっと、すみません次出す時にはしっかり、
0:05:11	わかるようにしたいと思ってますというのがまず1点目。
0:05:15	2点目ですけども、
0:05:18	コメントリストのほう戻っていただきまして、
0:05:21	通し番号12ページ目になります。
0:05:24	ナンバー63番ですね。
0:05:27	基本設計法、構造設計の説明に関連する。
0:05:32	添付書類。
0:05:34	のね、注意する箇所の整理の仕方でございます。
0:05:40	全体構成の全体タイプの方の資料をちょっと戻っていただきまして、
0:05:47	1ページ目別紙資料の真ん中ほどになります。
0:05:52	基本的には、先ほどの整理で、構造設計が必要と整理した基本設計方針。
0:05:59	具体的に展開している添付書類の記載をですね、100条00別紙。
0:06:06	と、別紙3であつたり別紙4
0:06:09	こちらを横に置きながら、内容を確認して1期、

0:06:12	構造設計の展開に必要なものっていうのを抽出してきてこの別紙用のリストの中でお示ししたいと。
0:06:18	いうふうに考えておりました。
0:06:21	本議題でというのがあったという。
0:06:25	やっぱり2ページ以降、
0:06:28	表の中で、今回は竜巻を例に整理したものになります。
0:06:34	このような形で、拡充00で執行の別紙4、1共通12の別紙4を津両方見ることによって、
0:06:43	どういったものを注意したのかっていうのが経理がわかるようにちょっとしたいなというのが、まず全体のちょっとやりたいことでございます。
0:06:50	はい一旦ここで説明の方区切らせてください
0:06:57	規制庁のタジリです。
0:07:01	ちょっと再度ヒアリングだったかね、今日のどこまでヒアリングの時、結局、順番の整理の話途中であった気がするんですけど今別紙2参与とったっていうのは結局、流れる的にはどう整理が今なってるんでしたっけ。
0:07:17	はい。日本原燃清水。
0:07:19	今いただいたご指摘に対しては、
0:07:25	コメントリストのナンバー18まで、通しページ11ページ、ナンバー59のところをご確認いただきたいと思います。
0:07:37	実際の整理のプロセスとしましては、
0:07:40	基本設計方針から頭から、
0:07:43	どれかが、構造設計の説明必要なものなのか、添付がどれが必要なのかっていうのを整理した上で、
0:07:52	それらに関連する、
0:07:54	機器を抽出し、それを累計して構造設計するという全体の流れではあるんですけども、
0:08:00	別紙のたてつけとしましてはですね。
0:08:04	今の別紙4でこの
0:08:07	表適用方針添付書類を抽出したものを、
0:08:11	今別紙3の別添ということで、
0:08:14	この別紙3の、

0:08:16	色塗りしたものの妥当性を示すものを、
0:08:20	にもなりますので、
0:08:22	その別紙3の別添につけることをちょっと今考えてございました。
0:08:31	ていうのが、今これは別紙3別添で名前に置き換えるっていう説明で使わず、
0:08:39	はい。そのような形で見直したいと考えておりました。
0:08:42	清澄たりですね、さっき開放資料の説明聞いたときは、基本設計方針をダイレクトに受けとめしよんだから別紙4の内容を先に書いてっていう順番の流れを聞いた気がしたんですけどあれは使い方資料だけの話だったということ。
0:09:07	日本円でシミズ、衛藤整理の流れとしては基本設計方針から提示するということには、海越例でご説明した通りそこには変わりはありません。
0:09:18	後はこの資料の示し方ということで、基本設計方針で整理したもの、すみません、古作です。はい。
0:09:27	コメントリストなりー或いは共通12の資料出した時にはこう考えましたっていうのは、
0:09:37	あってもいいんですけど、今更そんなこと説明しても意味なくて、
0:09:41	午前中のヒアリングを踏まえると、どうあるべきかっていうのを改めて、この記載どうでもいいんで、
0:09:48	改めて言ってもらえませんかね。
0:09:53	この回答だったらまた1時間でも議論しますけど、
0:09:58	繰り返します。
0:10:00	日本原燃志水です。はい。いえ、いたしたいわけではございません。
0:10:06	おっしゃっていただけてる通り、まずは基本設計方針から定義するという流れになります。
0:10:14	ので、そこにあるような形で、別紙の順番を見直したいと思います。
0:10:23	はい。コサクです別紙で入れるんだったらこれが別紙1になるんですよ。
0:10:28	なんですけど。
0:10:30	そうしますっていうのがあって、別添っていうのを付けるんだったら全体の別添で、
0:10:35	入れればいいし、

0:10:38	それを踏まえて別紙 123 がつくってということですよ。
0:10:46	はい。日本原燃清水です。ありがとうございます。確かに各別紙に関連することになりますので別紙。
0:10:53	2 枚別紙 3 にも関連しますので、それらを共通するものだというのでちょっと別添という位置付けでちょっと整理する方向で考えたいと思います。
0:11:02	はい。補足です。そうすると最低限の作業で、筋は通ってということになるんですけど、そういう数字をなぜ考えられないのかっていうと、共通 12 の本体の文章を、
0:11:17	ほとんど見直さないからだっていう気がするんですけど、どうなってます。
0:11:23	はい。日本原燃志水すみません 17 の制定にちょっと間に合っていなかったんですけども、今、本文特に 3 ポツのところですね。
0:11:33	こちらの説明をですね、基本設計方針からちゃんと整理するんだというスタンスで今、資料の方見直してございまして、
0:11:40	それを見直しているものをですね、次の提出、金曜日に向けて出したいと思っておりました。
0:11:46	コサクです。それはどこに書いてあるんですか。
0:11:52	日本原燃志水です。そうですねそこはしっかり書けてないですね。
0:12:01	コサクですすみませんそれ、いつ出されるって言われましたっけ。
0:12:07	日本原燃清水、衛藤 24 日金曜日の提出に間に合うように今見直してるところでございました。
0:12:15	コサクですわかりました。そうすると一す。
0:12:20	別添でってということで、それを一番最初に整理をした上で、別紙 123 の整理が入るんだと。
0:12:28	ということであの会合資料で話をしたことが表されるようにしていただければと思います。
0:12:37	はい。日本原燃清水です。承知いたしました。
0:12:43	はい。規制庁可児です。全体の構成の話が何となく見えたのでちょっと次の話に行かせていただいていたんですけど。
0:12:50	'のやつの整理がちょっと下に説明を言い切れなかったのかわからなかったところがあるんですけど。

0:12:59	'のやつ、結局、何かここに該当しないやつは、広木なんですっていう話だったんですって言ったらかしいけど、その理由は結局どっかに何か書いてあるんですけど。
0:13:11	日本原燃志水で、今、その理由の示し方として、現状の資料で別紙3と書いておりますけども、
0:13:19	この類型分類番号の1の中で、
0:13:22	このラックに該当する。
0:13:25	ものが、結果的に、よく関連する基本設計方針に該当しないということをお示しすることによって理由になるかと思ってございました。
0:13:36	店長、谷です。ごめんなさい。伊賀。
0:13:39	僕は理解できなくて申し訳ないんですけど。衛藤。
0:13:42	共通順位の整理のやつ、2枚目ぐらいに抱えてる訳11のイメージですか何かここだとまた括弧構想宣言であるためパッと改善するこれとも今は別の話ですかね、何か該当しない小コサクですけど。
0:13:57	やっぱり作業が間違っているような気がしてですね。
0:14:00	'になるやつって、構造設計関係するんですよ。
0:14:05	するんだけど変更がなくて、今回説明する必要がないと。
0:14:10	ということなんじゃなかったでしたっけ。
0:14:17	日本原燃清水衛藤。
0:14:21	認可からの変更点で
0:14:25	変更がないもので出すとなるものもありますし、
0:14:30	成果要求を受けていても、安全機能を有する施設みたく、
0:14:37	何かあったら保守修理で対応しますとかっていうその更新しか変わらないようなものは構造設計の動きを設計保全絡まないで、そういったものは雑誌の整理になるという整理を考えております。
0:14:47	ごめんなさいそれでやってもう、
0:14:52	代替措置でできる設計になってるか、そういう構造かっていうことは確認が必要なんですよ。
0:14:58	そちらから不要ですっていう案、短絡的に作業してるから、
0:15:03	符号がつけられなくなっているだけで、
0:15:06	発想がおかしいと思いますよ。
0:15:14	ちゃんと説明しろっていう意思が全然感じられないんですけど。
0:15:19	そんな資料だとヒアリング進めらんないんですよ。

0:15:27	はい、日本原燃清水です。すいませんちょっと考え方が甘かったんです。
0:15:33	はい。中出ししっかり整理したい。
0:15:36	データ。
0:15:37	大分
0:15:38	あそこがちゃんと
0:15:41	新しいベッドの中でしっかりそこをちょっと整理をさせていただきたいと。
0:15:47	コサクですそれで私もちょっとちゃんと聞き取れなかったんですけど、
0:15:51	それが5ページの一番下に、
0:15:56	何て言うんすかね、尻尾のように、一行岩城だけついでる。
0:16:01	この0206かな。
0:16:05	てなってるものだっていうことなんでしたっけ。
0:16:10	はい。日本のシミズはそういったものが、今、今の資料のつくりでは入るものということで考えておりました。
0:16:18	この②⑥って書いてあるのに、古作です0206って書いてあるのに、
0:16:23	何最初のページ行くと'になるんですか。
0:16:33	古作です。②だから、A-2のやつは全部'なんですって言いたいってこと。
0:16:46	はい。日本原燃清水です。はい。ソウノウ認識です。はい。
0:16:52	コサクです'いますっていうね。
0:17:01	はい。日本原燃志水です。
0:17:06	そうですね。同じ丸番号のものでも、
0:17:11	もしかしたらちょっと該当する、全部そうもないのかとそうですね要らないかもしれないですねちょっとここ、
0:17:20	はい。ちょっともう少しほかの例を見て考えさしていただきたいと。
0:17:23	はい。補足です。いらないように累計するんですよ。
0:17:29	なので、丸番号で説明はし切れるって、何で色塗ってないのって言ったら、別紙4の方見見ると、
0:17:42	説明不要の方針しかないと。
0:17:46	ということなのでっていうことだと思うんで、しかもこの②何っていうのを角加工の記載見たら、まあそうだねとすぐわかると。
0:17:55	ということだと思います。

0:18:03	はい、日本エネシミズです。はい宗のような定義になるようにちょっともう一度ちょっと、はい。整理させてください。
0:18:18	店長の谷です。今の話を取り出しじゃなくてばこうで、要は、設計の講師別必要がないものっていう丸の番号が特定されていってっていうふうになると思うんですけど。
0:18:29	今、共通、12 から共通中には本体の方で、
0:18:35	128 ページぐらいから、
0:18:37	累計文に書いてあるそれぞれの内部のルーのやつの説明が書かれてるんですけど、
0:18:43	さっきの②⑥ってここでいうとどれになるんですかね。
0:18:52	はい。日本原燃清水です。
0:18:55	ここで言いますと、照射後計算、8 条は、
0:19:03	これまで言いますと、
0:19:09	ちょっと先ほどちょっとコメントでそれがオオオカないんじゃないかという話になるかもしれませんが、まず、
0:19:15	②の防護対象でも、建屋の中に置けばいいようなもの。
0:19:20	はこの説明を館蒔田徳田必要なくなるものもございますので、そういう意味ではこの②ももう少しブレイクしなきゃいけないという話になるのかなと思います。というのと⑥番も、
0:19:31	先ほど話代替措置でというところのものを今外してたので⑥番に書いてございましたが、
0:19:39	ここも先ほどのコメントを踏まえてちょっと外すのかという、多分考えなきゃいけないんです。はい。
0:19:44	店長の二見です。ちょっと要領聞いてなかったんですけど、今のご説明は要はこの表のところで、先ほど要はちゃんと除外できるように分類考えなければいけないという指摘をしたところになってるんですけど。
0:19:57	そこが今表し切れてないところは1億円見直して、いやこの理由を見たら、確かにこれだと除外できるものだけ示してから、事実行動示すものではないねっていうのがわかるような記載になっていくと思えばいいですかね。
0:20:10	はい。日本原燃シミズですはい今おっしゃっていただいた通り、今の丸の番号の数だけだと、分類だけだと、明らかにというところがわからな

	いので、必要に応じに応じてる細分化して番号を取って、わかるようにしたいと思います。
0:20:27	大谷です。とりあえず方針はわかりました。はい。
0:20:32	コサクですけど今の説明だと、建屋に収納する防護対象設備っていうのは、構造設計を説明する必要がないと。
0:20:42	思っているんですけど、配置設計っていうのは構造設計の内数にはしないってことですか。
0:20:57	日本原燃シリーズ、すいません、そこの、
0:21:01	先ほどの案いうと同じで、ちょっと私の認識が甘かったかもしれません今配置設計を外そうと思ったんですが配置設計のものもあるという認識を今持ちました。
0:21:14	はい。補足です。
0:21:17	2-1の説明の中に配置も、
0:21:20	入ったような気がしますけど。
0:21:23	特に竜巻もですね、裏面はクリーの話で、直近には起きませんとかっていうような話もしてなかったでしたっけ。
0:21:41	はい。日本原燃清水です今、竜巻の例でいきますと、裏面剥離が大きなような、厚さなりを持たせるという設計思想でございました。
0:21:54	コサクですごめんなさいなんかMOXらしいんですけど、
0:22:00	配置設計の議論をしたこともあつ。
0:22:04	そういうのはちゃんと言いましょねっていうことなので、
0:22:10	最初にはそういうのがないならそれでいいですけど、配置っていうのは忘れられないようにということでよろしくお願いします。
0:22:21	はい。日本原燃新城です。承知いたしました。
0:22:41	えっとコサクです。ちょっとコメントR I S等、
0:22:44	が多くてちょっと見れる状況なんですけど。
0:22:48	話をしている資料でいうと、
0:22:53	当初、コメントリスト10ページの57番から、
0:23:01	あと12ページの65番までっていうことのようなんですけど、
0:23:11	認識として合ってるかどうかを確認したいという項目は先ほどの説明以外にはないということでもいいんでしょうか。
0:23:28	はい。日本原燃、清水です。

0:23:34	コメントリストとしては今おっしゃっていただいた通り 57 番以降のところに関連します。
0:23:46	そういう意味で、し悩むところとしましては、
0:23:51	この
0:23:54	基本設計方針の繋がりところはすいません、類型分類との繋がり部分は今クリアになったんですけども、
0:24:02	添付書類の該当のところに心の
0:24:07	今我々の整理でいきますと、該当箇所の縫い抜いたところが結果形になってしまっているところがあるのでそれを、
0:24:18	六条 00 別紙を横に置きながら見て整理するという対応なんですけど、
0:24:25	側溝のどこまでちょっと
0:24:28	添付書類の記載を要らないのちょっと仮定を残すかというのがちょっと悩ましい悩ましいところでした。
0:24:36	古作です。ごめんなさいそれって、
0:24:39	何番の話ですか。
0:24:45	はい、日本円でシミズです今の N o とおっしゃったのコメントリスト N o のことでございます。
0:24:52	はい。
0:24:54	コメントリストのナンバーで言いますと、12 ページの
0:24:59	63 番のナンバーになります。
0:25:04	はい。補足ですとそうすると一61 は最初説明がされていて 63 があってということなので、
0:25:12	先ほどこちらからの質問で 59 番の話がってと。
0:25:18	ということですけどそれ以外は相談事項はないと。
0:25:33	日本原燃清水。
0:25:39	牛、つきません。そういう意味ではすいませんちょっと説明が足りてなくてコメント R I S 上でもちょっとご説明させていただきなきゃいけない点があって、
0:25:49	例えば 58 番ですね、設計の上の配慮事項。
0:25:55	こちら、ちゅ、括弧書きで周辺環境等と書いてございましたが、
0:26:01	ここ、主たる要因ではないというところで、括弧書きを削除するというような方向で項目の名称をちょっと見直したいという点が 1 点。
0:26:10	まずあります。

0:26:13	コサクですこれはただ、記載を修正するだけなのであまり相談事項じゃないような気はするんですけど。
0:26:20	一方でこんな簡単なのに何で今回反映せずに次回提出になってんですか。
0:26:28	日本原燃志水こちらはですね、私の心理はちゃんとできてなかったの で、加来城さんに取り込みの指示が遅れたためです。
0:26:40	わかりました。
0:26:48	コサクですけど、
0:26:50	はい、ほかに相談所ないですか。はい。
0:26:54	他に、相談事項として通し番号ええと、コメントリストの通しページ 12 ページ目のNo.66 番ですね。
0:27:04	こちらですね、
0:27:09	施設共通に絡むものでも前回の提出した資料においては、竜巻の個別上 限なりで、試験検査保守性の方をちょっと書いていたものがあったんで すけども、
0:27:23	これらについては、やはりちょっと施設共通基本設計補償を受けての展 開で整理するものだというふうに考えまして、これは個別の条文で展開 するものではなく、
0:27:35	藤施設長と野辺さんという、主査ごめんなさい時間ももったいないので ちょっと聞きましたけど、この対応は納得いってなくてですね。
0:27:47	主要条文その節、それに関連する設備のすべてを説明すると。
0:27:55	関連条文一式説明すると言っておきながら、
0:27:59	この関係だけは別紙 2-8 として説明しますと、
0:28:02	言われても、話がぐちゃぐちゃになっちゃうだけなので、
0:28:10	結局は、これも関連条文でしょうということで、それぞれでやる必要が あると思ってますんで、特に今回の共通 12 で入っている。
0:28:21	やつも、2-8 で入ってるのは、防護版脳しかも 5 番と言っていいのかも よくわからない防護扉と、
0:28:30	いうことになってて、それは一体で説明してもらって、扉をは、坂以外 に追加で説明する必要はないのかと。
0:28:42	というようなことの議論が必要だと思ってます。
0:28:50	はい。日本原燃市民です。
0:28:53	はい今のご指摘、まず承知しました。

0:28:58	個別の中で対 16 条の要求とひもづけて整理する方向で対応させていただきます。
0:29:09	ちょっと、そうすると、ちょっと別紙 2-8 のちょっと位置付けもちょっと考えなければいけないのでちょっとその点は、
0:29:15	ちょっと検討させていただいた 3 ヶ月ごめんなさい、別紙 2-8 はいらないんですよ。
0:29:23	はい、日本エネシミズで承知いたしました。
0:29:26	規制庁谷です。なぜ、いずれも関係条文なんだから関係条文として整理されたら、2-8 は勝手に決めましたということだと思ったんですが、そのあたりで認識合ってますかね。
0:29:38	はい。日本原燃清水です。今、認識しましたので、そのように対応させていただきますと思います。
0:29:53	はい。すいません。日本原燃志水後ですね、ちょっとご相談させていただきたい点としましてはちょっと今、総数十 2 の本体の方で対応できないんですけども、
0:30:04	通しページ 13 ページになります。ナンバー 72 番、ごめんなさい、古作です。まず、
0:30:13	整理放水のところの範囲で行きましょう。ちょっと今の 66 番で、
0:30:20	少しはみ出ちゃいますけど、
0:30:28	はみ出ちゃったの整理方針についての相談事項は以上ということと理解をしますけど、
0:30:36	戻ると 57 番ってこれ、
0:30:40	どういことでしたっけ。
0:30:44	これも本文で対応しますと言ってて、次回なんですけど、
0:30:49	趣旨がちょっとぱっと見て思い出せないんですけど、どういことでしたっけ。
0:30:54	日本原燃志水です。こちらがですね前回提出。
0:31:00	させていただいた整理方針がですね、私が説明した中でやりたいことを説明した内容をちゃんと表現できてなかったのもので、
0:31:09	ちゃんと基本設計方針の拡充をゼロベースの要求種別に基づいて、
0:31:13	設置要求なりはしっかり構造設計の必要な基本設計方針と整理するというのをしっかり、12 の本文にか今書いている対応してるところでございました。

0:31:24	古作です。
0:31:26	その部分だけでレバー書き下せばいいということのような気がしますけど、一方先ほど田尻が言ったように、冒頭宣言ということにしちゃっててパーにしてるのはそうじゃないでしょと。
0:31:40	言われたこともあり、それがどういう対応なのかによって、ここ本文で書く内容も変わってくるんだと思うんですけどそのあたりってどうなってます。
0:31:51	はい。日本原燃清水です。そこの今の家田部分については本文の中で、
0:31:58	応答宣言は構造設計必要ないものがないのはあくまでも後の中で、以降の基本設計方針の中で具体を展開してるからなんだという趣旨をしっかりと書いて、
0:32:12	それ以外は駄目だよということがわかるように、本文にカチク出そうと思った書き出してる所でした。
0:32:18	古作です。何らか対応されているのはわかりました。
0:32:24	が、
0:32:25	それを別紙4でどう表すん。
0:32:30	ですか。
0:32:35	それもなんか備考ちゃんとわかるように付記してねって話をしたはずなんですけど。
0:32:41	今回提出資料だとそうはなっていないくて、
0:32:49	はい。
0:32:50	日本原燃清水です。
0:32:52	すいません。ここは対応されてないのでこの
0:32:56	構造設計との関係等図面の括弧書きの記載をですねしっかりと書き込みいただいています本部の考え方に沿って、これだから外していいんだということがわかるように、
0:33:09	はい、古作です。で、それも明示的にコメントしたはずなんですけど、コメントリストのどこにあるんですか。
0:33:25	はい。日本原燃清水でちょっと少々お待ちください。
0:33:35	コサクですけど62番なんですかね。
0:33:43	はい。日本原燃志水はいその通りですね。はい。

0:33:49	62 番になります。なのでここも今検討中としか書いてませんが、本文と別紙 4 の中でしっかり対応するという事で整理させていただきたい。
0:34:00	コサクですこれスケジュールが検討中だからまたちょっと悩ましいんですけど、これ確定しないと何も進めらんないんですけどどうするつもりですか。
0:34:17	はい。今のですねすいません午前中、
0:34:21	もうヒアリングの内容等も踏まえまして、基本設計方針から上流からしっかり整理するんだという、その整理の方針をしっかりと本文、
0:34:30	に書き込みましてこちらの方、はい。24 日の金曜日に資料として反映したいと思います。
0:34:41	店長の 2 人です。なぜ、コメントリストを作った時点での回答をつくれてなくて、検討集計してたけど今日ヒアリングを踏まえた上方向性は見えて、
0:34:51	何か
0:34:52	ちょっと明確に書くとかそういうのができそうな今状況とっていいですかそれともまだこっちもどの程度かけばいいか悩ましいですか。24 日の何に出てくるかわかんないんですけど。
0:35:04	た部屋も出てくるとそれなりにきついですけど、
0:35:10	日本原燃志水です。上流から成立するという、整理の考え方につきましては、午前中今のヒアリングを踏まえまして、
0:35:20	私としてはちょっと流れは整理できたと思ってますので、
0:35:24	その内容の中に本体の本部の元木中出光括弧 M e l t を持っております。
0:35:32	状態です。ちなみに 24 日で何時ぐらいに出そうとしてますかね。
0:35:42	アクセント下でちょっと今だけなので 24 日に正式なものを出すのは多少とっても、その前のタイミングが旭山長谷部あるタイミングのところで、どんなイメージで今作ってますよぐらいいは紹介できそうだと思いますかね。
0:36:00	はい。日本原燃清水です。
0:36:03	はい。金曜日の朝ヒアリングの中で、整理の具体的にこういう整理をしていますというのをちょっとはい。ご説明できるようにさせていただきたいと思います。

0:36:25	古作です。
0:36:30	今日、水曜の夕方なので、
0:36:33	企業の朝日家でやって緊要点数間に合うのかって言いたいところではありますけど、明日に出せるっていうのもいまいちびんとこないので、
0:36:43	頑張ってくださいと。
0:36:45	いうところかと思えます。
0:36:52	話を少し戻すと。
0:36:55	59 は先ほどお話をしたところ D 60。
0:37:00	は何ですか。
0:37:09	はい。日本原燃清水。
0:37:12	60 番につきましては、
0:37:20	別紙両方
0:37:24	整理方針の 1 ページ目になりますけども、
0:37:27	これの別紙 2 との関係という欄の中で、
0:37:35	ここに複数なり複数の条文というものが出てきますのでそこをお示すのかというのと、別紙 2 関係案でも、関連があるところをどう示すんだというところを、
0:37:49	ご指摘いただいていると思ってまして。
0:37:52	それについては、主任との関係の中でしっかり関連するものは複数あっても全部限っていきますというところと、
0:37:59	別紙 2 館の条文間の繋がりにってというのは堤括弧で示すというのは今までの整理の方針の通りですけども、
0:38:07	それをしっかり本資料として書き込むことを考えておりました。
0:38:11	古作です。隅括弧の話は先ほども話をしましたし、例示でもされているので、ある程度その増見かこの中身っていうのは、
0:38:22	大事ではあるんですけど、理解はしてるのかなと思っているので、提示いただいたらわかるかと思ってるんですけど。
0:38:30	別紙 2 の中での、
0:38:33	業務の間関係っていうのは、先ほど 62 番、
0:38:40	かな。
0:38:41	とかとの関係で備考でどう繋がりを持たせるのかと。
0:38:45	ということと、同意の対応だと思いますので、
0:38:49	ちょっと気にはなっているんで、

0:38:53	提示をされてから見ていきたいと思います。
0:39:04	はい。日本原燃清水承知いたしました。
0:39:07	コサクです。61番は先ほどの'の関係は話をしましたが、
0:39:13	へえ。
0:39:17	あと丸数字とかでもう、累計でわかるようにしてということで、
0:39:25	一応それでクローズする。
0:39:28	ところですかね。
0:39:31	はい。日本原燃清水です。はい。今までのご議論の中ではフローズすると思っ てまして後は、それが明確にわかるようにちょっとどこまで細分化して分類を作るか というところかと思っております。
0:39:46	はい。コサクです。丸数字書いてるんですけど、この丸数字って何っ ていうのはどこで説明されるんですしたっけ。
0:39:56	はい。日本原燃清水です。
0:39:58	それがですね。今、大変申し訳ありません。月曜の今の、
0:40:02	2ページ以降のところ、番号しか書いてなくてそれが何なんだって いうのを書き込めてなかったんで、まず、
0:40:10	最終的に別添になりますけども、資料上の別紙4の中で、
0:40:15	この丸番号の意味合いを書くというのと、別紙3の凡例のところの中 でも、各条文の分類がわかるように示したいと思っております。
0:40:28	別所。
0:40:29	コサクです。別紙3ワー、
0:40:37	確か、あれ。
0:40:40	すいません。共通、12の方の資料一番最後2、
0:40:48	リストになって、
0:40:50	いましたよね。
0:40:53	で、これって、これ、
0:40:55	別紙何番何でしたっけ。
0:41:00	はい。日本原燃志水です。はい。場所としては一番最後の方でございま して、これをですね。別紙3の一部ということでですね、
0:41:10	整理してございました。
0:41:14	はい。姑息です。
0:41:19	当初そちらの考えは別紙3別添だったので、別紙3のところの最後でこ う書いてあれば、使えるだろうと。

0:41:29	いう思いがあったってということかなと理解をしつつ、
0:41:34	もう丸数字って、条文さら2外部衝撃だと事象ごと、
0:41:42	に振っているので、
0:41:44	別紙C4D単純2ス丸数字会。
0:41:50	でも、
0:41:53	あれ、別紙4ってどういう単位で作るんでしたっけ。今度別添になるものですけど、
0:41:59	はい。日本原燃清水です。条文毎、外部衝撃の場合は事象ごとに作ることを考えておりました。
0:42:06	コサクテストだそうすると、別紙3の0数gのものと整合をとってやりますっていうことでいいんですね。
0:42:18	はい本件シミズです。はい。その通りでございます。
0:42:22	はいコサクです。逆に言うと、別添がスタートで、
0:42:28	そっちに
0:42:30	表をつけて、
0:42:31	それをも、それを踏まえて、別紙1の方で、その隅括弧なり丸数字ナンバーのものは、
0:42:42	例示として、サンプルとしてこれとこれとこれをつけます。
0:42:48	ていうようなことで、提示され、具体的に別紙に、
0:42:52	別紙3の展開に入り、確かにそうだねというふうに見えてくるっていう形になるんだと理解をしました。
0:43:02	はい。日本のシミズですはい、そのようになるようにちょっと資料の方、見直したいと思います。
0:43:12	古作です。
0:43:18	6263が話ができて、
0:43:23	65も今の話で、
0:43:29	多分収束する方向にいくんだろうなと思いますので、
0:43:38	整理方針の関係は後、
0:43:42	議論することはないですかね。
0:43:48	はい。日本原電シミズですはい今のここまでの議論で。はい。
0:43:54	大丈夫かと思っております。
0:43:58	はい。古作です。そうですね。
0:44:03	金曜日に出てくる資料って、

0:44:06	大分まだ記載方針を議論しなきゃいけないようなものがありますけどどんな形で出てくる。
0:44:13	でしょう。また整理方針の資料のリバイス版っていうところで話をするのか、
0:44:18	もう共通 12 そろえるんでそっちでやりますなのかっていうのはどうなってますか。
0:44:27	はい。日本原燃清水です。今、私の方で考えたのは、整理方針というよりは、12 の中に具体の取り込んだものをイメージしてございました。
0:44:42	はい、古作です。わかりました。
0:44:45	ちょっと。
0:44:45	と提出を受けて、こちらが読み解けるのかっていうのは少し不安なものがありますけど、
0:44:55	このコメントリストでの書きぶりで読み解けるようになってるといいなとちょっと期待をしつつ、はい。
0:45:03	考えたいと思います。
0:45:09	古作ですというのもですね、この整理方針についている別紙 4、
0:45:15	記載例も、
0:45:18	細かすぎて、
0:45:20	現場でパッと見るには厳しくてですね。
0:45:24	いいのか悪いのかがよくわからないのですね。特に、
0:45:30	備考の方、
0:45:32	備考って書いてないですけど、構造設計との関係有無なり、別紙 2 との関係というところがまだこちらの思いの通りには修正されてないバージョンなので、
0:45:43	より一層ちょっと見づらいというところ、見づらいかわからないというところなんですけど。
0:45:53	何でこんなにないのかなと。
0:45:55	思うと、
0:45:57	多分要約をせず 2、
0:46:00	関係するところは全部入れているので、物量が増えちゃって、これぐらいにしないっていう、
0:46:07	ことなんだろうなと思いますけど、何か。
0:46:13	思うこととかってありますから。

0:46:16	僕たちはこう見こういう見方で見れるようになってますよとか、何かあれば教えて欲しいんですけど。
0:46:23	すいません。日本原燃、志水、そういう意味ですと、添付書類の記載をそのまま工夫でちょっと持ってきたがために入りにくくなって、
0:46:35	いるのかと思う、思っております。
0:46:39	古作です。
0:46:42	一方そのまま持ってきてるんですけどっていうところでいうと作業で悩みとか発生してませんか。並びが合ってなくて、
0:46:52	ずらさなきゃいけないとするとずれちゃっていて、網羅性の説明がしづらくなっちゃってるけどみたいなことはなく、整合をして手順に入れていけてますっていうことですかね。
0:47:07	はい。日本原燃清水です。
0:47:12	ここの対応をやっていくとですね、綺麗に横に並ばないものも出てくると思っています。
0:47:22	そういうところはですね、
0:47:26	本来であれば、こう直しますというところも含めてちょっと示さなきゃいけない場合もあるかと思うんですがちょっとそこまで追いつくかというのにはちょっとありますが、
0:47:36	はい、古作ですそうしない等、漏れなくというところのチェックができる資料にならないんですよ。
0:47:43	この部分抜き出して別の場所持ってってますだったら、備考なり
0:47:49	くう行一行入れて、そこに付記するなり、
0:47:53	し、
0:47:54	ておかないと。
0:47:56	あれどこ行ったのっていうのを、のエビデンスにならないから。
0:48:00	そういう配慮をしていただきたいなと思いますけど。
0:48:05	とりあえず何かそういう場所があるのであれば、それをサンプルとして、
0:48:11	次回説明していただく、こういうふうにしてみましたけどっていうので説明していただけますか。
0:48:18	はい。日本原燃清水です。はいちょっと具体のものこういうところを横の展開とかをですね、悩ん

0:48:25	悩むというか、詰まったところっていうのをちょっと具体でご説明したいと思いますが今回のところでも、
0:48:32	横の関係をちょっと結合して示しているなりにちょっとそこが見にくくなっているところもあるかと思うのでちょっと、はい、整理させてください。
0:48:43	はい。
0:48:43	コサクですよろしく申し上げます。
0:48:49	整理方針はこれぐらいでいいですか。
0:48:56	ほかになければ先ほどのコメントリスト相談事項というのをその次の
0:49:02	辺りとかであれば言っていただけますか。
0:49:08	はい。日本原燃清水です。
0:49:12	定理方針以外ですねちょっと今回 17 に出した資料で取り込めてない点で、
0:49:20	ちょっと悩んでるところとしまして通しページコメントリストの方の止め、通しページ 13 ページNo.17 ですね。
0:49:29	構造設計 2 の 1 の説明の中で、2-2 の、
0:49:34	2 展開される場所、
0:49:37	に対して、
0:49:39	そこの紐づけといいますかキック出すといいますか、というのを、どのレベルまで書くんだっていうのをちょっと今悩んでるところでございまして、今、我々が今考えてたのは、
0:49:53	例えば、
0:49:55	整理表なり、図面の中の吹き出しの中で、
0:49:59	この背構造設計の説明は 2-2 の中で評価方針とかを説明するインプットになるものですよっていう。
0:50:07	正しいワーカーク書くのかなと思ってまして具体の添付書類番号なり名称みたいなところまでは、
0:50:14	12 の中で扱うというよりは、今後の 2-2 の説明の中の個別説明、補足説明の中で扱うのかなというふうなところをちょっと悩んでおりました。
0:50:32	古作です。ちょっと、
0:50:35	聞き洩らしたんですけど 72 番でいいですよ。
0:50:41	はい。日本原燃清水はい。72 番になります。

0:50:44	古作です。
0:50:47	当然 2-2 なので、今回説明いただく部分じゃないから、パスだして いうことでいいんですけど、
0:50:58	多数パス先の内容がどういうものかによって、ちゃんとしたパスになっ てるのかっていう、
0:51:05	ことがわからないといけないので、
0:51:08	その点で、考慮しなきゃいけないってところがあると思うんです ね。
0:51:20	例えば、
0:51:23	今回の飛来物防護ネット防護盤であっても、Vな-を、
0:51:33	な那波なんていうんですかね、にしているやつが評価でこうするのでみた いなことがあったと思うんですよ。
0:51:42	なのでA、
0:51:44	その趣旨を書かないといけなくてで、それでいいかどうかは、評価のこ の部分で説明しますよと。
0:51:54	いうことでこの部分っていうのが、
0:51:57	何とか評価の中と。
0:51:59	何、V系の評価なのか。
0:52:02	V系じゃないな。
0:52:06	その評価の項目っていうんですかね。
0:52:08	いうことぐらいは書いていただく。そうすると、具体的な添付書類名と か書かなくても、見ようと思えば見に行ける。
0:52:16	ということになるし、2-2の説明の時にもそこにスポットを当てて確認 ができるっていうことになるかなと。
0:52:26	思っ
0:52:26	てますがそんなんでもイメージわきました。
0:52:31	はい。日本原燃志水はい。イメージの方は置きまして、
0:52:35	はいありがとうございます
0:52:38	共通事業本体で行くと、通しページ 50 ページを、50 ページのところ で、当該図の概要でつけてございますので、ここの取付ボルトの強度評 価は、2-2 で、
0:52:51	他法人とご説明するというふうにつながれば今の

0:52:54	言っていた趣旨に急ぐのかなと思いますので、そのような形で対応したいと思います。
0:53:05	はい。コサクです今書いてるやつだと、うまいパスではなくなって考慮しないってなんでいいんだみたいな感じなっちゃうので、逆にじゃあ何でこういう設計で、それで、
0:53:17	評価が繋がるんだっていうところをわかるようにしていただければいいんだと思います。そう言っていたんだと、すいませんちょっと頭が回らなくて、ドンピシャかわかりませんが、
0:53:29	次の版で見ていけるかなというふうに思います。
0:53:39	はい。日本原燃志水です。はいこの 50 ページの吹き出しに、
0:53:43	2-2 でボルトの強度の評価をこんなふうにせで説明するんだよという趣旨のちょっと書き出しをしたいと思ったのではそのイメージをちょっと、はい。書き出して、ご説明させていただきたいと。
0:53:58	はい。補足です。
0:54:02	具体に入ってるから 1 回 1 回、
0:54:05	よろしく御対応よろしく申し上げますそれで、72 番でしたけど、
0:54:13	67 から 71。
0:54:17	わあ、どうなってんだっていうところなんですけど、パッと目につくところという、7711 が、これも対応スケジュール検討中なんですけど、
0:54:30	これは何ですか。
0:54:35	はい。日本原燃清水です。こちらについてはですね、
0:54:40	まず今、設計上設計の中でどんなこと等を、どういう考えで考慮してたんだっていうのをですね関係者とメーカー集まって今整理しているところでございます、
0:54:54	その形整理結果をしっかりと確認した上で、どういうふうに対応するんだというのをちょっと考えたいと思ってて今、すいませんまだ検討中としか書いてない状況でございますちょっと事実確認なりがどのぐらいのスケジュール感でやるんだというのは、
0:55:09	すいませんもう確認させていただいて、しっかりご回答できるようにしたいです。
0:55:15	古作です。午前中の会合資料で話をしたポイントだと思いますけど、
0:55:21	どうするって午前中は言ってたんですけど、
0:55:26	日本原電シミズです

0:55:28	そもそも、応募板を設置する時の隙間といますか
0:55:35	40 ミリであったり、ラビリンスにするとかっていう設計コンセプトの方は後程ちょっと
0:55:41	今我々が整理したものをご説明させていただきたいと思ってました。後程はい。
0:55:46	伊勢先生は2人です。いや、今説明できるのは何か後程ちゅうのが何か話しかわかんないですけど、何か概略言えたら言ってもらった方がやりやすいんですけど。
0:55:58	ちなみに、古作ですけど、ヒアリング一応 10、我々も皆さんの提示は、
0:56:05	すつ頑張ってるんですけど、
0:56:08	一応我々の提示 18 時 15 分で、
0:56:12	一応そこまでに終わらせられるようにざっといこうかなと思ってたんですけど。
0:56:17	何かもう、もっとやって欲しいということなんですかね。
0:56:23	日本原燃シミズすみませんはいそこは 8 時まで、
0:56:27	ちょうどできるように、すみません、ご説明させていただきます。まずはちょっと担当の方からは、ご説明させていただきます。
0:56:38	はい。日本原燃田仲でございます。午前中のヒアリングで
0:56:42	板野設計、防護盤の設計にあたって、ラビリンス構造の採用、採用のところも、考え方つつの江藤説明して欲しいというところでちょっとすみません僕はその時点でちょっとちゃんと整理できなくてちょっと時間をいただいて整理してきました。
0:56:58	ラビリンスを採用するしないっていうところ。
0:57:02	についてはですね支持学校同士の定義が大きいもの、具体的に言うと中学校の変位が 40 ミリ近くあるものが、その検討の対象としておまして、
0:57:13	それに対して防護版を張っていきましてその 5 番の八田結果が 40 ミリ以下と、となるように張られた場合はそのまま OK という判定をしております。
0:57:25	ただし 40 ミリ以下に貼ったことで、板同士が大きく干渉していた外れてしまうようなそういう状態があるとか考えられるそういうな、そういう状態になった場合は、場合は、40 ミリから、

0:57:38	大きい隙間とすることで、その干渉を回避いたします。その結果、40ミリ以上の隙間が生じるんですけども、その結果で、
0:57:48	その隙間から防護対象に、飛来物が当たるか当たらないかっていうのを確認しまして、当たらなければその形で設計は完了となります。ただしそれでも当たる場合は、NGということで、ラビリンス構造を、
0:58:04	劣るというような、設計を踏まえて、設計をしていくと。
0:58:09	いう内容になっておりました。はい。説明は以上です。今日あたりです。ちょっと頭の整理をしたいんですけど、とりあえず、他人との関係で、辺がどれくらい起こるかっていうのを確認して、それが40mm以下だっという場合は、40mm以下の隙間にして、
0:58:26	それ以上の変位が生じ得るっていう時に関しては、もっと幅を確保するしかないので、40mm以上は受けますよと。そのときの対策に関しては、まずは飛来物の進入角度を考慮してぶつかるかどうかの判定をして、
0:58:40	ぶつからないからそれで終わってぶつかるようだったら、ラビリンス構造ってということですか。
0:58:49	日本原燃田仲です。はい。その通りでございます。
0:58:52	規制庁谷です。前に何か説明あったときに、
0:58:57	学校は使えないけど言ったろうぶつかるですとか何か微妙なことを言われたという声があるんですけど、あそこの関係先ほどの、ぶつからない場合は40ミリ入れた使わない。
0:59:08	使えばUDよりちっちゃくとかそこの関係って何か整合してるんですかね。
0:59:15	日本原燃たすいませんちょっと言葉が足りておりませんでした。40mm以上の変位が考慮される場合でも
0:59:24	40ミリ以下で友野収めるっていう場合につきましては板同士が衝突するっていうところになってございます。
0:59:35	清家大谷ごめんなさい今でもよくわかんなかったらもう1回ちょっとお願いしていいですか。
0:59:50	はい、規制庁タジリさんと聞こえてますか。
0:59:54	日本現在ももう1回とおっしゃったんですか。そうですねだから結局ぶつかって話をしてるのかぶつからないっっちゃう話をしてるのかがわかんなくて、

1:00:06	日本エヌタナカです。40 ミリ以下にを抑える場合はといた同士はぶつかることを考慮して設計を、
1:00:15	きます。
1:00:16	40mm以上離す場合は板ぶつからないよう、ものとして設計をいたします。
1:00:22	はい。
1:00:23	今日は2人です僕最初に聞いたときは、変位量と確認して、ぶつからないかぶつかるか判定して40 ミリかどうかを決めてるような気がしたっていうふうに聞いてたつもりだったんですけど。
1:00:35	そうではないんですかね。どうやって40 ミリ以下にするかしないかとか9点でしたっけ。
1:00:46	日本原燃木田です。ちょっと整理させていただきます。少々お待ちください。
1:01:27	規制庁、谷です。時間かかるような場をやりつつ、後ででもいいんですけど、どんな感じですか。
1:01:39	日本原燃の蝦名です。ちょっと整理させていただくのにお時間いただくんで他のものを進めさせていただきます。
1:01:50	はい。コサクです。それで言うと、
1:01:53	飛ばした部分の振り返りですけど、67 番わあ、先ほど方針で話をしたことと同じだと思いますので、
1:02:04	展開いただければと思います。
1:02:06	68 番。
1:02:12	これわあ、
1:02:18	はい。日本原燃清水です。68 番につきましては、
1:02:24	共通、中に本体の方で
1:02:28	竜巻の整理表、鋼材の方つけてございまして、
1:02:33	前回提出のときにはですね、
1:02:37	医者配当なり、ダクト内作る防護板等建屋につく防護板のところの、
1:02:45	設計で、防護板の厚みの考え方が違ったのでちょっと2列で表現してたんですけども、ここはしっかり、設計の差分として出るように一律でちょっと
1:02:55	整理表の方をまとめて記載したという、
1:02:58	対応でございます。

1:03:00	コサクですけど、
1:03:02	具体の場所を示していただくなり、
1:03:06	できますかね。
1:03:10	はい。日本原燃、清水です。
1:03:14	具体の場所少々お待ちください。
1:03:18	生協タジリ数百 30 分の 27 の一番下の 7 とか 8 のところのことですか ね。
1:03:26	8 か。
1:03:28	N o 。
1:03:33	はい。はい、日本原燃、志水です。はいありがとうございますはいそ この部分でございます。
1:03:38	古作です。
1:03:40	ものの違いという横に分けずともう縦で場合分けをする基本ルールの中 で対応ができるっていうことですね。
1:03:51	はい。日本原燃清水です。はいその理解で対応させていただきました。
1:03:56	はい。古作です。対応方針はわかりました。一方でこの構造設計の書 いてるのが意味がちょっとわからないところではありますけど、
1:04:06	内容は次回、話ができればいいのかなと。
1:04:10	ます。
1:04:23	次の 69 番ワー
1:04:27	他条文要求を踏まえてってということですけど、
1:04:34	他条文要求を踏まえた記載であることを隅括弧にて記載したと。
1:04:40	なってこれでも前回話をしたんですか。
1:04:46	補足で鷺見加古が今構造設計の方に書いてあるんですけど、設計方針で 繋がる、設計上の配慮事項なりで繋がるのでは、
1:04:57	ないのかなというふうに思ったんですけどそのあたりどうなんですか ね。
1:05:04	日本原燃清水です。おっしゃる通り配慮事項としてその他条文を見据え て入る事項ができてますので、
1:05:12	はい。構造的の列ではなくて配慮事項のところにリンクを示したいと思 います。
1:05:20	はいコサクです。その方が

1:05:24	介護資料でも最初に要求事項並べたところで明確になるところだと思うんで、よろしくお願いします。
1:05:43	補足です一応先ほど相談されたところ、
1:05:48	やはり前のところは振り替えたと思うので、
1:05:53	規制庁の谷です。ちなみになんですけど、
1:05:56	だから、衛藤右田 19 ページとか手前以降のやつは特に相談事項がなかったらよかった事項だったんで、60、60、10 ページぐらいから始めたんですけどその場合は大丈夫でしたっけ。
1:06:11	どこまで行くか見ていくかってところあるんですけど。
1:06:15	はい。日本原燃角ですいません。資料の説明に入る前に、
1:06:20	資料まずかったところちょっと、はい。全然説明すべきでした。64 番は番号の振り直しお待ち間違っちゃって
1:06:31	ここは後程しっかり直したいと思います。ちゃんとメンバーになるように、
1:06:36	違うのは、右下 9 ページの下のところ、まだまだ 53 とか、その次といたら、何とか 55 とか言うんですけど今回 57 以降ぐらいは結構、今話をしっかりしてると思うんですけど。
1:06:51	その世代までの 5646 は終わってんのかな。でも、55 より手前の番号のやつは、特に相談事項はないと思っていいですかっていう質問です。
1:07:05	はい。日本原燃清水です 15 日以降のところの認識合わせを踏まえて、上の方は大体整理できてると思っている。
1:07:18	ございますし、思っております。はい。
1:07:26	ここの場。
1:07:33	規制庁カミデです。9 ページの 53 番ってもう事業者の中ではもう、つきっきり整理ができたってこと。
1:07:43	日本原燃清水ですそういう意味でいうとこちらの方はですねちょっと 53 番の方は、
1:07:49	今ちょっと条文側と今、整理をしてましてその整理した案をご提示して、ちょっと認識合わせの方させていただきたいというふうに考えておりました。
1:08:01	規制庁カミデです。
1:08:04	原燃として今どこまで整理できたのかもよくわからなくて、

1:08:09	対応方針だととりあえず、何か4分類ぐらいでいけそうだなみたいな話なんですけどそれは、中で、
1:08:20	きちんと話をして、もう1件いけるって感じなんですか。
1:08:27	はい。日本原燃清水です。はい。耐震メンバーと話した時には
1:08:33	方針としては類似して同じですので、この整理でいけるのではないかと いうところで今作業を今始めたところでして、その作業の結果を踏ま えてちょっとはい、この分類でいけるかももう一度ちょっと確認したいと いう、
1:08:49	規制庁カミデです。まず、コメント内容でいうと、
1:08:55	方向性を整理して、
1:08:57	欲しいとか要は考え方を整理してくださいねっていうことなので、
1:09:02	その結果4分類とかっていうのはあんまり興味がなくて、どういう考え で、整理をしていくのかっていう話をした内容を対応方針に変えて欲しい んですよ。そこまで言っているなら、
1:09:17	です結局そのまあ、それを展開すると四つですっていうのがもう、後で ついてきてもいいんですけど、話を聞きたいのは前者のところ、
1:09:26	なんですけど、どういう
1:09:29	考え方で四つに繋がるようになったのかっていうのは説明できますか。
1:09:38	はい。日本原燃清水です。地震の基本的用地の評価要求の部分添付書 類展開していくと、Sクラスとは急で、
1:09:48	方針というものは同じになります。
1:09:51	ていうのでまずその二つに分かれるということと、コサクです。ごめんな さい。
1:09:59	何ですかね。
1:10:00	方向性指名するのが時間かかるんだったらもう作業してんなら、とりあ えず出したいなっていう気もするんですけど。
1:10:07	これって来ないと介護資料NO、別添も出てこないっていう感じになっ ちゃいい。
1:10:13	まずけど、
1:10:14	どう進めるつもりで作業してんですか。
1:10:24	おい。日本エネシミズです。
1:10:26	まず、この分類の

1:10:32	介護に関わる場所というところですね、波及のところを先行してちょっと今、作業してたところなんですが、それを次の資料出す時にお示しできればなというふうに考えておりました。
1:10:46	コサクですこれ対応スケジュール検討中って書いてますけど、金曜日の提出、
1:10:52	少なくとも波及施設は出しますってことですか。
1:10:59	はい。日本原燃清水です。はい。その認識でございます。
1:11:06	コサクは9見ればほかの数なり何なりもう、方向性が見えるのかどうかっていうのが少し心配ではありますが、
1:11:15	その辺り何か配慮することあります。
1:11:25	はい。日本原燃清水です。ちょっともう一度中出元パートも含めてちょっと話をして、
1:11:34	S、もう、
1:11:36	必要かちょっと考えさせていただきたいと思います。コサクです。Sを出せと言っているわけでもなくて、作業のやり方なり、こういうふうにやれば、Sなり何なりも、
1:11:47	同じようにできますよっていうのが、共通理解になってて、具体が波及の話をするっていうんだったら構わないと私は思ってますけど、あまりそういう、
1:11:58	確証が持てない状況なので、
1:12:01	議論になってるのかなと思ってます。神谷さんすいません、あと具体よろしくお願いします。
1:12:10	はい。規制庁可児です。大体いいたいことは言ってもらえたので、事業者でちゃんと説明できるようにしてください。
1:12:18	ちなみに、
1:12:21	関係者と話をして四つぐらいでいけそうだったということになったのはいつぐらいに話をしたんですか。
1:12:35	はい、日本エネシミズですと、日付がぱっと出てこないんですが選手機種先週、
1:12:43	先週のタイムディック 1015 日だとかに 1 回ちょっと中で話はしたん。しておりました。はい。
1:12:57	はい。規制庁深見です。だとすると線周辺の時には耐震は耐震では話をしなきゃねと言って、

1:13:04	いて、なかなか 22 で、
1:13:07	今日今 20 ですよねってこういう状況で 24 日に波及だけってというのは、あまりタイムリーな感じはしませんけど、いずれにしても今あんまり話をしてもしようがないので、
1:13:19	24 のところで提示をしてもらって話が来て、話が聞けるというか全体どいう考え方でやっているのか、っていうところがわかるような話ができるように、整理してもらえればと。
1:13:33	以上です。
1:13:38	はい。日本原燃清水承知いたしました。
1:13:42	古作です。同じ 9 ページ 49 番ですけどこれ先ほど少し話をしてましたが、先ほど
1:13:53	今日、
1:13:54	表 2 の中でっていう話でしたけど、表にも複数あるので、その複数あるものとの間ちゃんとわかるようになっていう、これコメン等ですけど、
1:14:07	これもうあれですかね、同じように、隅括弧なり
1:14:13	見えるようになっていてことなんですかね。
1:14:20	はい。日本原燃清水です。資料でいきますと、
1:14:24	通しページの 27 ページ。
1:14:28	になります。こちらのですね右から 2 列目の配慮事項のところの共通設計のところに隅角で、
1:14:36	関連を書いてございまして、このような形でちょっとやりやろうと思っ てまして、
1:14:41	いえ、やろうと思っ てございまして、ちょっと火山のところ がちゃんと書き込めてなかったところ でちょっとすみません、次回の時にし っかり対応します。
1:14:51	コサクですわかりました
1:14:56	菅北野。
1:14:57	そっか。
1:14:59	関係性はこうの形で示されるというこ とで、今みたいに何とかですね、コ メントリストでもわかるように今、表 の番号でしか書いてないんですけど、 行数も書いてもらおうと。
1:15:12	チェックしやすいかなと思うんです けどいいですかね。
1:15:19	イメージング済みです。

1:15:21	表のはいナンバーとリンクできるようにちょっと対応させていただきたいと思います。
1:15:43	日本原燃清水です。私の先ほどのご回答聞こえておりましたでしょうか大丈夫でしょうか。
1:15:52	古作です。すいませんな、聞こえてたと思うんですけど何の回答のことでしたかね、火山。
1:16:00	日本原燃志水で、コメントリストの中で、表番号でここで対応してますというときには、表のどこの別なのかというのがわかるように、具体の表の左側のナンバーの方、
1:16:13	先を見たいと思ってますコメントリストの中で、
1:16:17	はい、古作ですそれで結構ですよろしくお願いします。
1:16:31	古作です。
1:16:34	大体ダブってコメントしてる人が多いような気がするのですが。
1:16:39	見方仕分けになってるのは検討中って言うところなので、
1:16:44	3 ページにもう、
1:16:46	3 ページまでさかのぼっても検討中が残ってますけどこれ何でしたっけ。
1:17:00	規制庁、伊勢さん。日本原燃志水こちらにつきましては、飛来物防護ネットの
1:17:08	前回の会合でご説明した隙間の設計の考え方のところを、ちゃんと許可での約束内容、
1:17:16	等をしっかり整理して再度ご説明するところを今社内で整理して、
1:17:20	いうところでございましてすいませんちょっと日程、いつっていうのが、まだあらわしてませんけどもちょっと、はい。そういう状況でございます。コサクですけど、これもう午前中少し話を、
1:17:32	していたところとも関連すると思うんですけど、
1:17:40	2-1として、表、
1:17:44	共通 12 という表、第 2 表、
1:17:48	整理をしている中には当然、基本設計方針があってその条例には許可があるので、
1:17:57	対応できるものだと思うんですけど、何で検討中なんでしょうか。スケジュール決まってないんですよ。

1:18:11	はい。日本原燃志水です。まず関係の整理は、対終わってございまして、
1:18:19	今後、飛来物 5 痛む、R、表の作り方なりの整理が
1:18:28	反映したものをだして、ネットの中で議論させていただきたいと思っておりました。
1:18:36	これ、
1:18:38	規制庁のタジリです。4月にかけるんですよね、ネットとかその他のやつも。
1:18:45	はい、日本エリアでございますとシミズの言い方が回りくどくてすみません。4月にネットも含めてあげますので、ネットの資料を提示するタイミングを変えて、そのときに示しますということが明らかにさせていただきます。はい。
1:18:58	はい。清家大谷です。他の4月案件を変更した話が初めて二つあると思うので、今の時点で上の立ち会いそもそも4月間に合うんだってまた聞かなきゃいけないので、よろしくお願いします。
1:19:13	はい、日本原燃清水承知いたしました。
1:19:33	規制庁谷です。江藤若井番号の方に置かなければさっき 70。
1:19:39	72 万 72 まで言っていましたよね多分。73 以降で原価を何か確認したいことがあれば先に。
1:19:56	はい。73 以降では、
1:20:00	図面関係の見直し等やってはいるんですがちょっと午前中の話も 73 番とか、進入経路の話はちょっと今の情報でも書き、
1:20:12	足りてないところがございますので、これについてははい金曜日提出に向けて、再度、資料の方、見直したいと。
1:20:21	いうふうに考えているのと、
1:20:27	一番最後、通しページ 15 ページナンバー 79 番につきましては、今回資料の方をちょっと追加させていただいております。
1:20:39	法令がですねちょっとお待ちください。ページがですね。
1:20:44	はい 88 ページになります。
1:20:48	一応こちらの方はですね今参考資料と位置付けてちょっと書かせていただいております一つ、
1:20:54	今回のナンバー 79 としては、紙廃棄と、

1:21:01	落雷起こす便益でね、補足するんですけども、そのときに、周りにつけてる防護板が邪魔しないのかとそれによって、
1:21:11	設置局へ流す流れに悪さしないのかというご指摘をいただいております。ご質問いただいております。ホンセイについては、障壁等の構造設計の整理の中でちょっとご説明しようという位置付けであったもので今ちょっと参考資料としてつけさせていただいて、
1:21:28	結論としては、防護行ったとし、
1:21:32	主排気塔が電氣的偽繋がってるところがないというところをもちまして、我々としては、設置クエン駅で促すことに対しては、悪さをしないというふうに考えているという印をつけさせていただき、
1:21:48	はい。
1:21:49	以上でございます。
1:21:55	それを下です。79の、
1:21:58	色、
1:21:59	させていただきます。まず、これなんでしょうはい。
1:22:04	主排気塔で説明するかっていうその理由は、
1:22:08	どういうことなんですか。
1:22:13	はい。日本原燃清水。
1:22:15	まずは落雷を捕捉するという設計、落雷岩石基本の方針の約束を受けるものが、主排気塔だという認識のもとで今ちょっとそういう整理させていただきました。
1:22:29	はい。規制庁加瀬です。それはそうなんですけど、
1:22:33	この、
1:22:34	飛来物防護盤に対しての設計方針は、この時点では生じているという認識なんですけど、
1:22:44	そこ、
1:22:45	の扱い、つまりこの構造設計としてどこまで考慮するかっていうところから外れる理由が、
1:22:53	わからなかったんですねそこはどのような整理になってますでしょうか。
1:23:02	コサクですけど、ごめんなさい、割り込んでいますけど。
1:23:06	さっきと一緒にこれ構造設計なんですよ。
1:23:10	それを構造設計と思えない皆さんが、
1:23:14	まだ考えが改まってないってことだと。

1:23:17	思っていて、
1:23:20	88 ページの説明。
1:23:24	何か構造的に前提条件がありませんか。
1:23:31	はい。日本原燃清水です。そういう観点では、
1:23:35	手話値等、防護板というものが繋がらないというところ隙間を設けると いうところが繋がる場所ですね。
1:23:46	はい。それは構造設計じゃないですか。
1:23:53	どう。はい。日本原燃新です。はい。構造の制約事項になりますので、
1:24:00	構造的になりますので。はい。ちょっと私の認識が甘かったです。はい。
1:24:07	とコサクですって。
1:24:09	それで言うと、今、第2条の、
1:24:14	落雷ってあるんですけど。
1:24:19	日本原燃志水です。
1:24:22	先ほど来の
1:24:25	整理のまずさが影響してる清今、別紙の表はつけてなくて今、白抜きに してしまっているところなので、
1:24:33	そこの構造設計の対象のちょっと位置付け、対象内にするかのところを しっかり、
1:24:38	改めたいと思います。
1:24:44	はい。補足です。今言われたのはベース。
1:24:49	別紙4で整理をして別紙に持ってくところすでに落としちゃってて、 こっちでも入らなかったということだと、理解をしましたが、
1:24:59	今言ったように構造設計になるので、ちゃんと拾い上げて入れていく と、その上で、今言ったその分離される、分離すると。
1:25:08	というようなことが、配慮事項としてあって、
1:25:12	ちゃんと説明はされると。
1:25:14	ということと理解をしました。その上でまだちょっと多分大川さん言い足 りないことがあると思うんでよろしくお願ひします
1:25:21	はい規制庁じゃちょっと細かい話なんですけど、電氣的に接続してないこ とが、
1:25:27	隙間との関係っていうところをもう少し案、
1:25:32	理由として弱いので、そこはちゃんと、

1:25:35	設計として示してもらおう必要があると思っていますが、その辺の認識は いかがですか。
1:25:53	はい、日本石田でございます。先ほどフェーズが言った通り、設計とし ての何を構造設計とするかは、
1:26:03	この排気塔の構造体利用から、引き下げ動線があって設置局に繋がる という落雷、
1:26:10	避雷設備ですね、これの機能に影響を与えないというのがまず構造上の 要求事項だと思ってますし、その影響を与えないということを具体的に どういう設計に結びつけるかと。
1:26:23	いうことが、単純に隙間を開ければいいのか、今にもなんていうか要求 事項があってこのぐらい離れてないと、電氣的に影響を与えて、
1:26:33	設置もモニカずに途中で返してしまうみたいな話になるのかというところ を、設計として展開をしていくということかなというふうに理解をし ました。
1:26:41	はい。長です。はい。その考えで結構ですのでそういうところが肝。
1:26:45	今後ベースに当然整理されるものだと理解しておりますので、よろしく お願いします。
1:26:52	私から以上です。
1:26:57	社長の谷です。ちょっと番号戻って 73 番とか 74 番なんですけど、
1:27:02	新屋鎌田の話するときに、どっかのヒアリングで梅崎がするんですけ ど、大分ものに口からそのまままっすぐ取ってきたらこの進入経路で使 用するのに 1 回ずつなんですけど、
1:27:13	これ何かに接触した後等にもう 1 回、防護対象にぶつかってもそれはも う大丈夫っていう整理を元としてつけてるってことでいいんですけど
1:27:28	はい。日本原燃の蝦名です。そちらについては、まず、原燃の整理とし ては、
1:27:36	直接的なもの以外は考えてないということです。はい。以上です。
1:27:44	規制庁谷井です。考えてないかっていうのは考えてないよまず答えとし てなくて、考えたけど、こうすることによって設計上考慮する必要はな いと整理してますという説明はいただきたいんですけど、2 回終わって ますか。

1:28:05	はい。日本原燃の蝦名です。はい。はい。滝さんのおっしゃることは理解しましたがちょっと今現時点で即答はできないのでちょっと持ち帰って検討させていただきたい。
1:28:19	検討された上でこういった考えでっていうのは示したいと思います。以上です。
1:28:26	古作です。どこでどう示すか方針を言ってもらえますか。
1:28:34	少なくとも、この資料の中に表せ。
1:28:38	表していただきたいんですけど。
1:28:41	設計上の配慮ということなのか、個別での説明なのか。
1:28:48	頭た方針にまでさかのぼるのか。
1:28:52	どうでしょう。
1:28:56	ちなみに今、選択肢で今言っちゃいましたけど、個別になっちゃうと全部説明してもらわなきゃいけないので、類型としてとてつもなく大変になりますけど、
1:29:12	はい。日本原燃の蝦名です。はい。ありがとうございます。今の話で共通 12 の中でご説明する必要があるのかなというふうに思いました。以上です。
1:29:24	コサクです共通 12 の中のどこだっていうことで、少なくとも配慮事項では、
1:29:31	入れられるっていうことでいいですかね。
1:29:36	日本メーカー下でございます。入れるべきところとしては設計上の配慮とそこから繋がる構造設計に書くべきかなと考えておりましたが、いかがでしょうか。
1:29:48	高坂です。まずはちゃんと綱領について整理をされるということで、対応いただけると理解をしましたが、そこで変えた結果上流がちゃんと書けてるのかっていうのは検討してください。
1:30:06	日本原燃田中です。了解いたしました。
1:30:24	日本原電の蝦名です。すいませんさっきお時間いただきたいという話をした件についてちょっと説明できそうになったので説明させていただきたいんですが、
1:30:37	ちょっとすいません私の理解も不十分じゃない、私の説明も不十分じゃないところがあるかもしれないので、そこはちょっと遵法さんなり、フォローいただければと思います。

1:30:50	まずは、最初ですね指示学校が変位量を考えて、ぶつかるかどうかというのを確認すると。
1:30:59	で、知事学校がそもそもぶつかってしまうようであれば、もう一度配置設計をしてそれはぶつからないようにします。
1:31:06	で、次のステップでは、支持架構がぶつからないのであれば、今度はそのぶつからない支持架構に対して、板を配置して、40mm以下になるようにしてみます。
1:31:21	で、それがA棟ですね、脱落するようなら、NGで、次のA棟建つか、脱落するようなぶつかり方であればNGとなって次のステップに行きますと、
1:31:34	で、40mm以下にして配置してもぶつからない、ないしはぶつかっても脱落しないようなぶつかり方であればそこはもうOKとして、それで設計が終わると。
1:31:46	脱落するような、ぶつかり方をしてNGになった場合は次のステップで今度は脱落するような、ぶつかり方ということは結果としてもう40ミリ以下にできない。
1:31:59	ということになりますんで、その次のステップでは、とせ、防護対象設備に、その隙間から入ったとして、直接衝突するかどうかを見ますと、
1:32:10	直接衝突しないようであればそこでOKということで設計が終わり、
1:32:17	直接設計するような隙間であれば、そこはラビリンスを採用して、直接当たらないようにすると。
1:32:30	そういったステップになります。
1:32:33	はい、説明の方は以上です。
1:32:36	店長の2人です一つ一つなんですけど、まず加工はぶつけないですってというのはもう、こんなこと全体が触れたくないからまず加工部つけないんだと思いつつ、
1:32:47	板に関しては、
1:32:50	これを、ぶつかってもとりあえず落ちなければいいやん。のフェーズにとりあえず行くっていうのがまず基本だと思えばいいですかね。
1:33:02	はい。日本原燃田中でございます。
1:33:05	今の考え、考えでは板同士がぶつかって脱落しなければいいというふうに考えて設計を進めております。

1:33:13	清長谷です。で、そのぶつかってもうこっちな評価っていうのは、なんか別途また示すっていうことなんですかね。
1:33:26	はい。日本原燃田仲でございます。そちらについては別途のお示しとなると考えております。
1:33:33	規制庁、佐治です。どこの家どこの、竜巻なのか耐震なのかわかんないけど、どういった形で今、それって何かどっかに今、設計方針で示されてでしたっけ。
1:33:43	設計方針というか添付でもいいんですけど、まずは、
1:33:57	日本原燃田中でございます。カクウ扱うべきところとしては波及影響での影響を与える場合の評価の部分に入ると。
1:34:07	考えておりますので耐震に関係するところになるのではないかなと考えておりました。
1:34:13	現時点でまずどっかで示されてるかっていうと、示されてないけど示す必要があると思ってますっていう。
1:34:25	はい。その通りです。日本稲タナカです。
1:34:31	今日、佐治です。で、今回、共通 12 かな、共通順位で示してるやつにはそこが盛り込まれている。
1:34:42	すいません。日本原燃の蝦名です。ちょっと田尻さんのこのところが、音が聞こえにくくてですね最後のところがちょっと聞こえなかったんですいませんもう一度。
1:34:52	下がちょっとコサクですけど、関係してるのは 27 ページの 3 番とか 4 番っていう古藤なのはさっきから話をしてることで、
1:35:04	耐震の方がまだ整理できてないから、耐震の表のナンバー 0 としかなってない。
1:35:10	ということなので早く措置を整理しないとねっていうのが先ほどカミデからも話があったところと、
1:35:15	ということです。
1:35:17	現状書いてあるのはっていう等、今説明があったようなことは書いてないので、
1:35:24	ちゃんと書いてねっていうこ等、最低限今口頭で説明があったと。
1:35:29	いうところろうですけど、
1:35:35	等、

1:35:36	現状の書きぶりだと、クリアランスがどれぐらいであればっていうような感じ。
1:35:43	に、組み合わせてかなんだ。耐震での相互影響の程度がどうであればっていう間gでしかなくて、変位置でしか表現できてないんですけど、
1:35:56	一応ここで支持架構の変位置と言ってるのは、最初に言われた、そのクライテリアで加工がぶつからないようにっていうことを踏まえて書いてるのかなと。
1:36:08	いうふうに理解をしましたが、そうすると、学校の構造設計っていうのがまず第1にあると。
1:36:20	いう。
1:36:22	ことに。
1:36:23	なりますけど、そういうふうに上流が書いてあるように見えない。
1:36:29	ですよ。
1:36:30	そこら辺はどう構成されるつもりですか。
1:36:44	日本原燃蝦名ですちょっとお待ちください。
1:37:17	はい。日本原燃清水です。上流からしっかり流して構造設計いただければいけない、いけないという基本方針がありますので、しっかり読めるような、
1:37:27	添付書類の記載をすいません、考えさせていただきたいと思います。
1:37:32	コサクですごめんなさい、添付書類以前に、設計コンセプトをちゃんと順々に整理しましょうねっていうことです。その内容が、今度じゃあどこにどれだけ書くかっていうふうになるので、
1:37:45	まず内容を整理しなきゃいけないとそれでいうと設計上の配慮事項のところの記載。
1:37:50	がしっかりと論理構成できてるかということなんですけど。
1:37:54	今は支持架構の設計方針がない中いきなり変位置を考慮し、と言っているんで、全然なってませんねっていうことを指摘したまでです。
1:38:03	で、今までの話を聞くと、基本、直接衝突させないように、
1:38:13	防護ネット防護盤を設置すると。
1:38:16	いうこと等の指示のために、シュカコウを設けるのだけれども、その時には耐震
1:38:24	での相互影響を踏まえてしっかりと話して、設置をすると。
1:38:31	というのが基本設計方針です。強制とそれが基本ですと、

1:38:36	正しいそれがうまくいなくて、
1:38:41	接触せざるをえないような場合には、
1:38:47	隙間をあけて、ぶつからないような設計をしますと。
1:38:53	ぶつからない、或いは脱落しない。
1:38:56	という設計にしますと、
1:38:59	ということで、
1:39:02	平木家たの説明は耐震の
1:39:07	相互影響でのクリアランスの説明で対応しますと、になると。
1:39:12	というのがまず大枠の一つで、その次に脱落しないってところについては、こういうような形での脱落しないような設計をします。
1:39:24	それを評価をこういうふうにします。
1:39:27	ということだと
1:39:29	ここまでの話を踏まえると、理解をされていてそれはここの設計上配慮事項でまずちゃんと書きくださること。
1:39:38	それを踏まえて上流としての添付書類、基本設計方針、
1:39:42	等々の対応関係を整理をしていくこと。
1:39:45	ということかと思っておりますけどよろしいですね。
1:39:52	日本原燃の原田でございますけれども。
1:39:56	コサクさんに2、今ご説明いただいた通りのことを考えており、
1:40:03	ちょっと共通住人の資料で、少しサンプル的に示したページがございますので、ちょっと紹介しますと、共通12の資料の26ページですね。
1:40:15	ここにちょっとサンプル的に、波及影響についての、
1:40:19	体制強化をやるかっていうのをちょっと付けてみたんですけど、その6行目ですね。
1:40:25	ここで、
1:40:27	6行目右に行っていただくと。
1:40:32	相対変位の観点から構造部材がショートしない設計としますよとかですね、あと、構造物以外に接触した場合には状況確認の上、
1:40:41	安全機能を維持する設計とします。
1:40:44	いうことを、
1:40:47	整理したいなということでちょっとこんな感じで資料整理しているところでございます。以上です。
1:40:57	規制部長カミデですけど。

1:41:04	耐震でいう波及影響とかっていうのは、Sクラスと下位クラス施設。
1:41:13	が登場人物な話なんですよって。
1:41:16	今話してるのって、下位クラス同士の接触の話をしてますよね。まずそこだけ確認したいんですけど。
1:41:30	ハイクラスだけ、
1:41:33	日本原燃のナリタでございます。今の議論としては、会長会クラス同士とか波及同士の投票話になっておりましてもともとそう考えておりましたのが、
1:41:45	ちょっとそこの部分についてはすいません規制庁カミデです。
1:41:48	要は9°Cというのは、下位クラス同士、要は、
1:41:54	要は竜巻来の設備投資のぶつかってぶつかることに対して、どうかっていうことを今話をしてるんですよね。
1:42:04	日本原燃成田です。はい。おっしゃる通りです。
1:42:09	はい、規制庁カミデつってそうなっちゃう等耐震で行ってる波及影響の話から展開するのかっていう感じがして、そもそもその
1:42:20	そうではなくて、構造計画としてどう考えてるのか、今日午前中コサクからも言ってますけど、その基礎が違う場合は別々にするっていう思想があるんじゃないのって言いましたけど多分、
1:42:34	そんなことを皆さん考えてるんじゃないかなって思ってますよ。要は間接支持構造物！！
1:42:40	を跨いで一つの構造物にはしないというのが大本設計思想であるんだけど、それって何か耐震としてもあれだし、結局
1:42:53	設計方針として現れてないってことなんじゃないかなと思ってるんですけどいかがですか。
1:43:00	日本原電の原田。
1:43:04	おっしゃる通りだと思っていて、やっぱり
1:43:07	相対変位がないように最初の設計の入口で考慮しますというよりはですね、やっぱり支持を取る。
1:43:15	ところが、違う、例えば杭基礎等等、直接基礎、
1:43:21	当間渡すような竜巻がこう作りたいとか、あとA B建屋、建屋を渡るようなものを作りたいといったときに、
1:43:31	一体もので、

1:43:33	組むのもなかなか難しいので、まず構造的に分離したいというのが先に。
1:43:39	思想としてあったということですか。
1:43:42	その点はおっしゃる通りでございます。
1:43:45	はい。規制庁深見です。区域外、直接基礎っていうのはちょっとわからないですけど建屋、異なる建屋っていうのはカー分って要は異なるし、振動モードを
1:43:56	を有する者に跨るものについて、どうするのか、方法二つあって、2月っていう方法と、二次応力としてちゃんと二次応力が収まるように設計するかと。
1:44:10	ということなんですけど、原燃としては二次応力を考慮するっていうのもなくて、そこはもう、へんように月方向で考えるんだと。
1:44:20	いうところの大本のまず方針をうたい、それにぶら下げて説明をしていかないと、原燃の場合、たくさん施設があって跨るものもあってっていうところで、ちゃんと構造計画説明できないんじゃないかと思う。
1:44:35	てますけど、その辺はいかがですかね。
1:44:39	はい。日本原燃原田です。その辺をちょっと書きくださいと考えてまして、
1:44:46	なのでちょっとこの25ページ目最初、木曾の話から展開してますけれども、
1:44:54	そういったこと等があるので、ちょっと木曾の話から上手く展開させて整理したいなと考えてます。
1:45:02	1点です。
1:45:04	規制強化みたいな話というか耐震でいうと、今、方針には書いてないけど多分構造計画のところを少し出さなきゃいけないんだと思うんですね。なんでここは今、
1:45:18	書いてないけど将来的にはこういう方針をうたう予定だとして、構造計画として、その異なる間接支持構造物のもの、
1:45:27	いうことを書いてその展開として説明があると。
1:45:32	いう感じにしないと、なかなかすっきりしないんじゃないかと思えますんで、ちょっとその一応認識はあったのか、大丈夫そうだと思いますけど、よろしくお願ひ
1:45:43	はい。日本原燃原田です。はい。わかりやすい整理。

1:45:50	北井。
1:45:59	はい、古作ですクリア乱数なりラビリンスの関係はそれで、全体整理をしていただいて、見ていければと思います。
1:46:10	あともう1点先ほどもたびたび言いましたけど、防護盤っていうの中身2、いろいろとありますねと。
1:46:17	いうのを本当にこのままいくんですかっていうのを、
1:46:21	議論するネタとして、コメントリストだと76番2、
1:46:26	指示の状態によって違わないのかどう整理するんだという話を言ったつもりなんですけど。
1:46:34	これの対応ってどうなってます。
1:46:44	特に2-8だといって言ってたやつは、防護盤というよりは防護扉じゃないかというような気がしていて、
1:46:52	扉としての機能として、
1:46:55	どう、
1:46:57	構造を設計するんだっていうのは、統合版では説明しきれないと思うんですけど、どうなんでしょう。
1:47:10	日本の下でシミズ少々お待ちください。
1:47:24	はい日本原燃清水です
1:47:28	イッタツだけでなく安全機能を有する施設の条例の基本的方針も踏まえて、
1:47:36	2-8という整理はやめて個別の中でしっかり展開
1:47:44	個別の防護盤なりの高野設計の中で、アクセス性なりっていうのをしっかり展開して記載するというのはその今までの議論、またその通り。
1:47:54	対応するつもりではいます。
1:47:57	古作です。わかってないということがわかりましたけど、2-8はやめまですっていいんですけど、じゃあ持って行き先で防護盤っていうのでいいのかと。
1:48:09	防護扉がないのかっていうことについてはどう考えてるんですか。
1:48:23	コサクですけど類似で言うと溢水の方でも似たような話してて、発注について、
1:48:31	あれ、あれは富田の扉の中に発注があるんですって言うてるんですけど、指示形態違うじゃんと言って、議論、検討するようにコメントしてるんですね。

1:48:43	それだけここで書いていただいている指示っていう意味は、
1:48:48	いろいろと構造設計上すごい大事なポイントなんですよ。
1:48:55	で、
1:48:57	発電所でどう整理しているのかわかりませんが、少なくともそれで支持どういうふうに対応してて、性能が維持できるかみたいな話はしてるはずなんですよ。
1:49:10	規制庁の谷ですけども、発電所は普通にいたと。扉は別物だったと僕は覚えてますけど、ちょっと違ったら申し訳ないんですけど、違うと思ってます。
1:49:35	日本原燃海老名です。すみません、またちょっとやっぱり田尻さん、八木です。いつごろは普通に医者と扉をいつもだったと思ってますけど、何か原燃内で実用量の整理と変えたのか。
1:49:48	それとも、何か理由があるのかとか何かあります。
1:50:02	すみません日本原燃蝦名です。ちょっとそちらについて今ちょっと即答多分できないと思いますんでそちらまた確認してですね、
1:50:13	ヒアリングの場でお話させていただきたいと思います。以上です。
1:50:22	はい。コサクですよろしくお願ひしますちなみに竜巻は電力支援ってどなたですか。
1:50:30	溢水は笹川さんが大分入って頑張っていたいただいているのは、ヒアリングで十分認識してますけど。
1:50:39	はい。日本原燃稲井です。竜巻についてもですね、電力でやってたものが、きちんと中に入ってですね、やっていますんで、
1:50:52	はい、電力支援は、受けながら、皆さんごめんなさい、やってるのはわかかって誰ですか聞いてんですけど。
1:51:03	はい。日本原燃の蝦名です。うちで竜巻やってる坂盛というものが、電力の方でやってた、支援者という形になってございます。以上です。
1:51:17	すみません。もう一つ言うとちょっと今日は席外してまして出席できておりませんのでちょっと即答できない状態でした。
1:51:26	申し訳ございませんはいコサクです次回は同席してもらって、対応できるようによろしくお願いします。
1:51:34	はい。井上リーダで承知しました。
1:51:50	コサクですコメントリストを見て雑踏気になったところは話をしたのかなと思いますけど、

1:51:59	共通中に対応の中で、コメントリスト以外で何か話が、
1:52:06	ある方がいれば規制庁側でも原燃側でも、と。
1:52:10	思います。いかがでしょうか。
1:52:14	規制庁ハバサキです。よろしいでしょうか。はい。
1:52:18	共通 12 のですね 130 分の 31 ページ。
1:52:23	これ排気塔周りの
1:52:25	竜巻 5 番の話なんですけれども、
1:52:28	特に中央ブロックなんですけど、これって、この
1:52:35	竜巻 5 番の木曾でこれ木曾に関しても竜巻防護盤の範疇に入りますって いうのは前々回のヒアリングで確認したんですけど、
1:52:44	この木曾っていうのはこれ、主排気塔の基礎から支持をとっている構造 だという、まず理解でいいですか。
1:53:00	日本原燃原すいません見るとしてました。この 31 ページの緑色に塗っ ているところがございますけれども、
1:53:09	これがいわゆる中央ブロックと呼んでいましてですね。
1:53:13	これは主排気塔本体の基礎の上に、増設基礎を打ってですね、支持をと っています。
1:53:22	ので、何だ、
1:53:25	そのように考えていいと思います。はい。はい。知久の上だけで支持を とっていて、その基礎って言ってもこれだけじゃないんで、
1:53:35	地面と接してるところもあるんですがそこに関しては支持をとってない ということで、今の説明理解しましたけれども、
1:53:42	ここをですね、そういう複雑な基礎構想であること。
1:53:47	それから主排気と管理等との関係ですね。それと、これ度等もあります よねこって。
1:53:53	非常にここ複雑な構造になってますので、今、木曾に関する説明ところ のさ、31 ページのところにしかないんで、
1:54:02	もう少し詳しい説明が、これ耐震だけじゃなくてですね、ほぼ、関係す る話なんで、
1:54:09	もう少ししっかりとした説明、記載の拡充をしてもらいたいと思うん ですが、
1:54:14	全体を幾つか、

1:54:17	はい。日本原燃原田です。その辺、対応したいと思っているところですが、
1:54:26	ちょっとここへ悩みというのが
1:54:29	共通中にどこまで書くかなってところが、実は悩んでいるところでございまして、
1:54:35	そうですね、できるだけ評価に使うような構造の話ってというのは、盛り込みたいと。
1:54:45	考えていますけれども、
1:54:48	盛り込むという方向で、当初、私、耐震だけの話ならば耐震の資料の方にと考えたんですけども、
1:54:58	この施設の耐震以外でもですね影響する内容だというふうに思いますので、適切にそこは結構の住民の中でスペースという項目に関して、図面等を用いてですね、説明をしてもらえればと思っています。よろしいですか。
1:55:16	はい。日本原燃原です。はい。対応させていただきます。以上です。
1:55:21	はい。よろしくお願いします。
1:55:24	ハバサキ以上です。
1:55:31	規制庁高梨です。共通 12 っていうのは資料の名前はついてないんですがエッセイ関係の方今日昨日から月曜日で出てるかと思うんですけども、
1:55:41	その関係で今日のヒアリングの中でも、整理の仕方で機種分類っていうところを入れるかどうかという話が話題だったかと思うんでその辺のコメントを踏まえて、
1:55:54	の整理の仕方ってのは何か変更があるかどうかというのをちょっと
1:55:59	少し先生補足いただけますでしょうか。
1:56:03	はい。日本原燃の安保でございまして。重大事故設備の分類の資料のまさに今おっしゃっていただいた 3 ポチのところ岸分類は、先ほど MOX の中であったように、7 分類これ、
1:56:15	気になったところで設計が変わらないというのがありますので、この機種分類はちょっと今やめようかなということで今考えています。
1:56:23	ですのでこの機種をとっばらうことで、大きな分類としては、図 1 ポチポチから出てくる五つになるかなと考えています。その上で、4 ポチを本ポチ、

1:56:36	5次のページ4ポチですけども、それぞれの中で、構造概要を示していくということになるのかなと考えています。
1:56:43	その時に、その設置場所保管場所の考え方も記載してございましたけども、ここも例えば、屋内に保管してるものを設置しているものはその建屋の構造を示すのかなと思ってたんですけども、
1:56:57	これもやっぱり1、1の情報が必要になりますので、この1-1もを追加していくと、というような対応が必要になると考えています。
1:57:06	ということでちょっと3ポチがなくなるんですけども、1ポチ2ポチ4ポチ、こういったような流れで次、整理ができるかなと考えてございますけども、
1:57:16	いずれにしましても今日いただいたコメントを踏まえまして、ちょっと一度綺麗にした上で、今回ご説明した方がいいかなと考えております。
1:57:24	以上です。
1:57:27	規制庁高野です今もう一度綺麗にした上でというのは全体を整理の分離の考えでもう1回整理した上でもう1回示し直すという、
1:57:34	理解でよろしいでしょうか。
1:57:37	はい。日本原燃伊奈でございます。はい。重大事故設備の分類に関してはもう一度はい、考え方を整理した上でご説明したいと考えてございます。
1:57:45	はい。議長高瀬よろしく申し上げます。
1:57:50	規制庁の藤原です。
1:57:52	一番最初の1ポチのところ常設と可搬等あと接続こういう話があるんですけど、機密のご案内されてるんですけど、これ三つ目の説明
1:58:03	別に分けた理由って、
1:58:09	有名でございます。若干大変申し訳ないです声が多くてですね。
1:58:15	すいません、土井です。
1:58:16	慶長の藤原です。
1:58:20	1発のところの、
1:58:22	分類でおおきく三つに分かれていて、常設化は、それとあと接続孔、接続口ですかね、その三つに置かれてるんですけど、この三つに分けた理由というか、
1:58:34	接続わざわざ別にして、一つ立ててる理由を聞きたいんですけど。
1:58:41	説明いただけますか。

1:58:43	はい。日本原燃の郷でございます。はい。この技術機技術基準規則の 36 条に従ってございますけども、その中で明確にこの三つが見えてございますので、それを基本設計方針の中でも、
1:58:57	特に位置的多様性指摘分散であったりこういうふうな項目はこの三つの項目で分けて記載してございますので、大きくまず三つで分けたというところでございます。以上です。
1:59:08	規制庁の藤原です。技術基準規則だとこの三つ。
1:59:12	或いは、上へ常設可搬
1:59:15	共通というか、そういった項目で分かれていたとされていて、
1:59:20	わざわざ
1:59:24	何か他のなんですかね。
1:59:26	技術基準規則の構成とかそういうのではなくて別に何か、
1:59:32	そこからみ出してることですか。
1:59:37	はい。日本原燃難波でございます。おっしゃる通り接続口と言ってるのは常設の一部のところにはなるんですけども、常設、常設設備のものと、あとは接続、
1:59:50	プラント中増設の接続があるものでは、示すべきものが違うと考えたのでまず三つに分類をいたしました。なんですけども、そのヒアリングをちょっと今は踏まえますと、
2:00:01	この段階ではやるのが本当に良いのかなというのがちょっと思っていたところでして、この今の整理の中で、この口というのも結局のところ調節の一部でありますので、その中に入れた上で、
2:00:14	後で展開した方が説明しやすいのかなというのをちょっと今考えています。
2:00:20	そもそも安保ちゃんがなぜこれを見つめを出したかの考え方が、
2:00:24	知りたい。
2:00:26	D種を見ても二つしかないんだよ。
2:00:28	接続法はなんていう手法で設計を展開してる技術じゃなくて、
2:00:33	何でこう三つ目を出したかって、
2:00:36	すいません日本原燃仲でございます。それで一応、確かに技術基準からは直接接続というのはないんですけども、藤参事 36 条の基本設計方針を展開する上で、

2:00:48	我々は多様性位置的分散の中でこの三つに分類したということがありましたので、それを踏まえて、この三つの分類にしました。
2:00:57	菅考え方は以上です。
2:01:03	規制庁の藤原です。もともと許可の時にこういう分類で、多様性知的分散ごめんなさい、ここコサクですけど、それは方針としてと、他の
2:01:16	単純に分散すればいいというものではなく配慮事項があったから、個別に変えたというだけであって、設備分類としてこうしますなんて言った覚えはないんじゃないですかね。
2:01:30	はい。人間等でございます。はい。設備分類として出すのではなくて、そういう個々の設計、ここの構造として、間瀬所の冒頭の分類ではなくて後段で説明されるべきものかなと、ちょっと考え直したところです。
2:01:49	規制庁のフジワラですわかりました。では1ポツのところは大きくは常設と可搬で分類されるということで理解していいですかね。
2:01:59	はい。日本原燃の安保でございます。はい。まず受重大事故設備を大きく二つ、謳う分類としてその二つだと考えており、
2:02:07	規制庁の藤尾です。あと、
2:02:10	アサカイだったかそのあとのところだったかで、石井との関係の進め方を、何か午後に聞きますみたいな話があったと思うんですけどその家ってどうなってますか。
2:02:27	はい。日本原燃の篠崎でございます。
2:02:30	はい遠浅のスケジュールのところ、S Aと溢水ですね。内容も、スケジュールの連携取れてないといった、
2:02:38	ご指摘をいただいています。
2:02:41	早速でございますけれども、明日提出予定の十時17、そのような、設計要求をですね、
2:02:52	36条から1セガワにせ、引き渡されるのかといったところの、
2:02:57	内容につきましては、江藤教諭、させていもらいましたので、
2:03:02	はい。それを踏まえて、DBとしてそれを受けて、同じ守り方評価できる部分と、
2:03:09	そうではない部分の検討というのをもう始めてございます。
2:03:14	続きましては明日のですね、注17でセガワで説明させていただく内容を踏まえまして、その次の日にヒアリングを予定してございますので、
2:03:24	そこの議論もフィードバックした上で、

2:03:28	デービー側としてもらった、的要求をどのように、藤雪子申請書に、
2:03:34	受けて、評価をやっていくといったような方針を、
2:03:39	ええな。
2:03:40	来週ですね中旬にはお出しして説明をさしていただくというふうに、スケジュールさせていただこうというふうに考えてございました。以上です。
2:03:49	古作です。今、最後言われたその来週中旬に、溢水側でS Aを受けたものを出すって言われたんですかね。
2:04:01	はい。衛藤日本原燃篠崎でございます。おっしゃる通りで明日、十時17で出す内容を踏まえて、それと整合した形で、
2:04:10	溢水がそれを受けてどういうふうに評価しているかといったものを溢水側で、対応方針、溢水側としての対応方針を示させていただこうと考えています。
2:04:18	はい。支店長の田尻ですすみません、したS Aの資料を出されてあさっ形に、いうGのヒアリングの午前中か何かにS A入ってたと思うんですけどそれはこの話とは別の話ですか。
2:04:32	日本原燃の堀口ですこの話です篠崎は先ほど、
2:04:37	申しましたのは、ちょっと明日提出、明日説明すると言いましたけど明日提出して明後日説明する十時17に関しての話で、それを受けて、来週中旬にS E側で説明するという事を申しております。
2:04:51	規制庁、西井です。一切ワ一午前中燃性やったらヒアリングが予定されてるんですけど、午前中のやつを踏まえて、資料はないにせよ方針を説明できると思っておけばいいですかね。
2:05:08	はい。日本原燃篠崎でございます。はいちょっと資料という形で間に合わないかもしれませんが、こういうことを渡されてうちにどういうふうにするという検討はもう進めて参りますので、
2:05:20	金曜日何かしら何かしらすいません江藤説明できるように、冒頭でも説明できるようにですね。
2:05:26	規制庁谷です。なんで24日の午前中にS Eから渡すものD24の方に、S Aから渡されたものを受けた溢水の対応の説明が聞けるということで、了解しました。
2:05:43	規制庁田井です。ちょっとすみません別件で共通中に戻って恐縮なんですけど、共通12の100ページのところなんですけど、鉄筋コンクリー

	ト部板の話が書かれていて、フードにくっつくタイプのやつが書かれていて、
2:05:58	今回は換金防護板をどうつけるのか何か部品を書かれたんですけど、もともとついてるフードの設計の方があんま書かれてなくて、結局、もともとの風洞に乗っかる形で保護とかつくので、フードの根元の部分の設計を示してもらわなきゃいけないというのが1点と、
2:06:16	あと側面部分は、もともとあるフードを使ってるようにも見える図が書かれてるんですけど、板厚を見ると別に側面だろうが照明部分だろうが変わらない気がするんですけど。
2:06:28	これ何で場所によって考え方が違うんですしたっけ。
2:06:35	はい。日本原燃の東です。まず1点目につきまして、基本施設もともとある風土の構造、
2:06:42	もうしっかり経っても建物に対してしっかり
2:06:47	いうところを示す
2:06:49	ましては、
2:06:50	了解いたしました。図面上示して、
2:06:56	側面と、正面側のその違いについては基本的には
2:07:02	新たな増設分の厚さをもって、防護できると。
2:07:08	ということで設計してございまして、こちらの方もちょっと
2:07:12	もともと表の中の文章ですとか表、
2:07:15	図面の中での表現としてしっかり説明できる形で対応したいと。
2:07:20	考えております。以上です。
2:07:23	規制庁田井です一つ目はちゃんと図確認してくださいねでいいんですけど、二つ目の方は、今の説明は側面の方は、裏面剥離とか貫通をしないっていう説明ですか何か、それでいい辰巳則だかもしれないけど同じだと思ってたんですけど。
2:07:41	はい。日本原燃稲熊です。すいません。説明がちょっと先に申しますと、開口部に対しまして、竜巻飛来物の侵入を防止するという意味では
2:07:53	増設分、正面側といいますか、の部分について増設の
2:07:59	追加のRC版で統合すると、側面につきましては、基本的には既往の風土の方で守れているのかなというふうに考えているというところござい。

2:08:11	以上です。規制庁谷です。何で守れてるかで、正面と側面での側面の方が、板厚が実は倍あるんですっていうんだったらそれはそうかなって思うんですけど、そういう差があるんでしたっけっていうふうに聞いてるんですけど。
2:08:32	日本原燃の東です。はい。
2:08:34	正面側につきましては、その飛来物を防止するという意味では、新たにつけたんですけれども、側面からの侵入は、
2:08:44	も考えていないというところでちょ、既往の風土で漏れているというふうに考えているところでございます。
2:08:50	規制庁田尻です。回答が食い違ってるのが食い違ってないのかわからないので一応確認なんですけど、今の説明はここでも飛来物が飛んで狂う方向そっちに建物か何かがあって飛んでこないとかそういう説明をしたってことですか。
2:09:11	4グループになるので少々お待ちください。
2:09:15	古作です。多分ここは屋外むき出しになってるので、そう言った遮へい物はないと思うんですよ。
2:09:26	先ほどの説明からする等、ガラリになっている開口部との、
2:09:34	配置によって、
2:09:36	裏面剥離しても影響の出るような侵入はしませんと。
2:09:42	言いたいんじゃないかなと思いますけど、そんな設計方針聞いた覚えがないんですよ。
2:10:06	はい。日本原燃石原でございます。おっしゃっていただいている通りだと思いますがまずそもそもやはりこの、
2:10:13	先ほど長谷さんがあった、取ってつけたような後でつけたものだけの説明で、設計方針が語れるわけではなくて、もともと守るべきものがあってそいつに対して、
2:10:26	飛来物が影響を与え、直接当たらないとか裏面剥離とかの、することによってコンクリートが当たらないとかそんな話をもととした話であって、
2:10:36	守りたいものとの関係でちゃんと設計として期待するものを、設計足せ対応しないといけない範囲がどこかっていうのをまずちゃんと説明することが必要だと思います。おっしゃっていただいたように

2:10:48	飛来物のルートです、別に意図的に変えるなんてことはありません、それは平守るべき本との位置関係でどういことを考慮して設計してますかっていうことなのかなと思いますので、
2:11:01	ということがちゃんとわかるように、この図なり、必要な条件なりして、設計方針との紐づけをさせていただきたいと思います。
2:11:12	古作です。
2:11:18	裏面剥離なりの関係からしっかりとここ設計方針なり配慮事項というところ整理し直していただいてから議論と、
2:11:29	ということと理解をしました。
2:11:33	で、100 ページ見ると一方てなんですけど、
2:11:36	元脳フード脳外 2 分厚いものをさらにぶら下げるっていう形になってますけど、これ一、裏面剥離しちゃ駄目なんですかねっていう、
2:11:49	配置関係になっててですね。
2:11:53	もつように設計するからいいでしょって言われたらまあそうかもしれないですけど、先ほどは元の風土の部分はしっかりと、建屋にくっついてますからって言い方だったんですけど、
2:12:05	余計なものをくっつけてさらに大丈夫かっていうことなので、元の設計にさらに負荷かけてますんで、
2:12:12	その点を念頭に説明いただけると思っていいですよ。で、それは 2-2 でどういうふうになるんでしょうかということなんですけど。
2:12:21	大丈夫ですか。
2:12:27	はい。日本原燃谷津まで、はい。元の風洞というのは防護の上で変えない部分について、増設しているというふうに
2:12:36	計画を考えてございますので、その辺りも、
2:12:38	出荷
2:12:48	うん。
2:12:49	はい。規制庁田井ですよろしくお願ひしますというところと、あとすみません 100 ページついでになんですけど、ここ市岡さんの設計が欲しいみたいな前のページで述べられていて、
2:12:59	この部分の出っ張ってるところってそこだけの堆積を考慮して、古閑佐口の評価するって考えてよかったでしたっけ。
2:13:13	日本原燃の東、すいませんちょっと質問がちょっと私も理解できなかったんですよ。風土がでっばってる形になってるので、建屋だったら建

	屋全体での評価ってなると思うんですけど、このフード部分って、建屋から側面に入る形になっていて、
2:13:29	若干上に客土ついてるような表記はあるんですけど、大した角度もついてないと思うので、降下火砕物の堆積としては、フードの上に堆積した物の重量を考慮して、その評価を3%とか何かでしてると思えばいいんですかね。
2:13:44	はい。日本原燃渥美さんがおっしゃった通り、河西工業、
2:13:48	火災の荷重を考慮した上で評価しているといったもの。
2:13:52	はい、規制庁タジリつなげ後付する防護板と、降下火砕物を考えても大丈夫そうってことですね。状況わかりました。自分からは以上です。
2:14:04	古作です。
2:14:07	共通12の一般的なあ書き方、前々からいろいろあったと思うんですけど、
2:14:14	写真がただ写真貼ってあるだけで、どこの何がどうなのかが全然わからないんですけど。
2:14:20	図面との関係だったり吹き出しこれが、ここがこういうものですかっというのをつけるつもりはないんでしょうか。
2:14:30	日本原燃シミズ、すいません。そこの点の配慮が足りてませんでしたし、しっかり前の概要図と写真との関係がしっかりわかるように、
2:14:39	平木等説明書きをさせていただきます。
2:14:43	はい。補足です。写真を拡充すればするほど何かよくわからなくなってくるよくわかんない流れだったので、よろしくお願いします。
2:14:58	先ほどの、
2:15:00	フードの関係もそうなんですけど、各受、今の写真もそうなんですけど、学習した部分が結局何でこれがついてんのとか、
2:15:11	そのあたりが何かわかりにくくなってるような気がしていですね。
2:15:18	表見ながら、二重に書く必要ないよっていうことは申しあげましたけど、本当2、ちゃんと書き切れてますかね。
2:15:27	ていうところはチェックしてます。
2:15:40	はい、日本原燃清水です確認してるつもりですけども今おっしゃっていただいた通り十分見積もりで、今おっしゃるところがある、あろうかと思しますので今一度すいません確認させてください。
2:15:55	はい。補足です。例えばですね93ページに、

2:15:59	ダイイチ図がありますけど第1図が、そういう、何もなくて、何でこれがついたってわからない。
2:16:07	ものなので、
2:16:10	おかしいと思うんですけど。
2:16:12	どうなってますか。
2:16:23	はい。日本原燃飯沼です。はいこちらにつきましては先ほど江藤の質問、
2:16:31	どのように今後角を形成してここにポインターまたRC版つけるのかといったところがわかるか。
2:16:38	図面、写真等でわかる形で表現したいと。
2:16:45	はい、古作です。よろしくお願いします。それもなぜRCなのか、構成なのかとかってということも方針として整理が、
2:16:55	されて、そういう基本的な説明が最初の図の方であるから、その後同様の説明をしなくてもいいと。
2:17:03	いうことになっていると思うので、最初の方がより重要だと思いますのでよろしくお願いします。
2:17:15	はい。日本下にあります。はい。ただいまご指摘踏まえて、資料を修正したいと思います。以上です。
2:17:31	規制庁清水です。他、共通中に関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:17:40	規制庁、上出です。すいません。ちょっと細かい話かもしれないですけど、
2:17:45	65 ページで、
2:17:49	何かダクトが浮いたように見え照屋氏が、
2:17:54	これどういう、
2:17:55	どこなのかなと、よくわからなくて、
2:18:00	その62ページの断面機ってところを見てもよくわからないんですけど、本ダクトの下の方で斜めに線2本と、外側にこう引っ張っても、
2:18:11	ちょっと引っ張ってますけどこれどんな感じになってるんですか。
2:18:20	日本原燃田仲でございます。現物の状態としましては今ちょっと7、
2:18:26	あとは、
2:18:27	ラップの底が消えてるような状態になってますけど、
2:18:31	サポートが

2:18:33	屋外ダクトのサポートが、建屋の屋上に対して立っていてそれに、遠田古閑井田が指示をしているというような状態になっております。
2:18:47	規制庁カミデです。
2:18:50	有井先生、上の吹き出しのところもよくわかんないんですけどあれですかコンクリートの課題みたいのが、
2:18:58	1メートル以上まず立ち上がってそこからダクトのサポートとかを、を支えているってそんなイメージなんですか。
2:19:17	日本原燃田中でございます。大体1メートルちょっとの藤木曾田井がありましてその上から
2:19:25	虚血性の足が生えてそれでダクトを支持しているというような構造となっております。
2:19:34	はい。規制庁深見です。
2:19:36	その時に今回は
2:19:39	楽とそのものしか線は書いてません。サポートも、サポート脳課題サポートの課題というサポート中脚コンクリート、
2:19:49	みたいなのも書いてませんってということで、
2:19:56	はい。日本原燃多賀です。今そういった意味では書いていない状態となっております。前回のヒアリングで物との位置関係を示すことに注力をしてちょっと
2:20:08	今その記載の方へと抜いておる状態とはなっております。ただ、サポート自体の方に当たらんのかって話っていうのも、ちょっと大事な用ファクターだと思っているんでちょっとそこ衛藤表現についてはまた見直したいと思います。以上です。
2:20:25	はい。規制庁カミデです。
2:20:29	図面はちゃんと書いていただいた方がいいですよってということと、あと、じゃないと話が進まない。
2:20:35	あとは猪、コンクリートの中核みたいなものとあと、直接支持構造物です。要はダクトなサポート配管のサポート。
2:20:47	これがどう考えてるかがよくわからなくて、この水色の範囲に、ダクトそのものが行っちゃ駄目だっていうのは多分、原燃の考え方なんだろうけど、
2:20:59	ダクトの直接支持構造物がこの水色の範囲にかかっていていいのかっていうのはどういう設計思想ですか。

2:21:20	日本原燃田仲です。
2:21:24	衛藤。
2:21:25	今上出さんがおっしゃった通り原理原則としてこの進入する範囲っていうところには、直接防護対象は来てはいけないっていうところ。
2:21:35	はその通りでございます。それ以外に
2:21:41	サポートに対しても、サポートとかがございますけれどもサポートに対しても、直接支持構造物であるものに対しても、当てないというところは、必要だと考えて、
2:21:52	おりました集客の
2:21:54	ところに対して
2:21:56	いう話になりますと、中核に対しては物としては当たるんですけどもそれによって影響っていうところの話っていうのが、
2:22:06	必要なんではないかなとちょっと今、話しながらちょっと考えていたところでございました。以上です。
2:22:14	はい。規制庁管です。基本的には、ここに限らず、水色の範囲に、構成のサポートみたいのはなくてあったとしてもそれを持ち上げるための工事。
2:22:28	はあるけど、
2:22:30	ていうこ等で一通り統一して設計されてると思っていいんですか。
2:22:39	やっぱり日本元た下でございます。ちょっと、本当にそうかっていうのはちょっと1回ちょっと確認したいところもあるんで、確認させていただきまますけれども基本的にはそういうカミデさんのご理解の通りとなって、
2:22:52	それとの認識です。はい。以上です。
2:22:55	はい、規制庁カミデ須磨いずれに。
2:22:58	鎌田。聞ける時があるでしょうから、またそのとき確認して、
2:23:03	と、とりあえず私からは以上です。
2:23:11	市長シミズそっから共通中に関係で規制庁側から確認ございますでしょうか。
2:23:23	はい。藤原燃側特に共通12で何か説明したいこととかは他なかったでしょうか。
2:23:33	日本原燃清水です。はいエネ側も特にございません。

2:23:37	はい。それでは共通 12 関係について原燃側から振り返りとスケジュールについてお願いします。
2:23:47	はい。日本原燃清水、振り返りとして、まずは
2:23:54	はい構造設計を上流からどう整理するんだという基本的なコンセプト、言いますか考え方の部分ですね、こちら至急整理しまして共通 12 の本部に書き込みまして、そのイメージを
2:24:09	金曜日の旭家の中ですね、ご説明できるように対応させていただきたいと思います。
2:24:17	その整理の中で、今別紙 4 と呼んでいるものにつきましては、別添という位置付けに見直しまして、資料の構成のほうを見直したいと。
2:24:26	いうふうに考えてございます。
2:24:29	あとは入口として、配置設計の部分につきまして今、構造設計の対象 2 割ちょっと、
2:24:38	考え方であってできてないんですけど、もうその部分は、考え方改めまして、別添の整理の中でしっかり反映させていただきたい。
2:24:48	あとは、別紙 2-8 ということで施設共通の部分を、この月ではなくて、共通的に整理しようとしたところについては全面的にちょっと考え方見直しまして、
2:24:59	各個々の機器の中でしっかり説明の方を展開して参りたいと思ってございます。
2:25:05	あとはこの
2:25:10	落雷の話ですね、対象ととらえてなかったところにつきましてもしっかり構造設計したものと、応募者として構造設計が必要なものと考えたためまして、
2:25:20	ρ 別紙 2-1 の整理表の部分であったり程度を追加して資料の方を見直したいと。
2:25:28	あとは、
2:25:30	別紙 2 の整理の中で、
2:25:35	まずは、その防護板というのは、すいません、全般的ですね。
2:25:43	違うっていう指示するものはちゃんと分離する構造にするという原理系からスタートして、
2:25:48	板野崎山の配置の考え方をちゃんとロジック立てて説明できるように資料の方、見直したいというふうに考えております。

2:26:00	あとは今今の規則繋がりで基礎の部分の説明の中で、齊藤木曾の部分、複雑になってるところをしっかりと資料を取り込めてない点はしっかりと資料のほうに反映する。
2:26:12	内容であったり、鉄筋コンクリート造の
2:26:16	別の部分ですね。
2:26:17	の扱い、トリアイであったり、
2:26:23	裏面剥離扱えるかどうか考えてるんだってところを、安重の配置状況も交えながら資料の方ブラッシュアップしたいというふうに考えております。
2:26:33	あとは耐震の
2:26:39	整理表の部分についても波及の部分、
2:26:43	やっぱり企業用の資料提出に向けてオペラ者、我々を整理した考え方を、も含めてご説明できるように資料の方を取りまとめて参りたい。
2:26:53	あとは、
2:26:55	バラバラで申し訳ありませんけども、
2:26:57	飛来物防護板の扉構造のところですね、こちらを、
2:27:02	を置いたというのが扉の別のものだと整理するのかというような、発電、実用性の実績等も踏まえまして、考え方の方は、再整理させていただきたいと。
2:27:14	考えています。
2:27:20	はい。すいません。大枠としては、以上の対応で、
2:27:23	かけ介護に関わる共通順位の部分につきましては金曜日の資料提出に向けてして対応をして参りたいというのと、スケジュールの中で、
2:27:33	検討中と言っているところについては、いつご提示できるんだってというのは、スケジュールの方をちょっと検討して参りたいというのと、コメントリストの中で、
2:27:43	表に示してますという、書いてあるところについて、表のNo.のどこが該当するんだというのも、コメントリストの中でわかるように資料の方を見直したいというふうに考えております。
2:27:56	はいすいません、ザ青梅ですけども以上でございます。
2:28:00	規制庁の谷井です。
2:28:02	1回は、単なるコメントなんですけど僕言ったの話なんですけど、趣旨は、形状とかは明らかに違うものを同じカテゴリーにしているのはどうな

	のかっていう話なので、溢水の8とかの話とかも関連付けてお金も要るんだったら、全体としての整備を考えていただかないと意味がないと思うので、
2:28:19	動いた方テストだけやるとまたここだけからみたいな話になりそうな気がするので整理をお願いしますというのが一つと、今最後の方で、会話の話があったんでやられるんだと思うんですけど、コメントリストを随時リバイスして今後も提出されるという理解でいいんですよね。
2:28:36	はい。日本原燃清水です。はい。リバイスして提出させていただきたいと思っております
2:28:44	本日の内容、いただいたご意見等を見直したものを、金曜日の資料提出とあわせて提出できるように対応して参りたいと思っております。
2:28:54	はい規制庁タジリそちらでも確認したいと思うのでよろしくをお願いします。
2:28:59	と規制庁タカハシです今あの振り返りまぜは全部元ことないかもしれませんがS Eの話も見直してのがありますので忘れずにお願いします。以上です。
2:29:10	はい。日本原燃清水です。大変申し訳ありませんはいS Aの部分類をブラッシュアップして資料、ページのちょっとスケジュールを検討して参りたいと思ひ
2:29:21	規制庁、志水課長。
2:29:23	成長カミデです。クリアランス絡みのところだと思うんですけど
2:29:29	違う指示違う基礎から違う建物から違う間接支持構造物から支持される場合、別々にするっていう原理原則って言われましたけど、
2:29:41	まるで一般論としてそうあるかのように、
2:29:45	もう聞こえたんですけど、そうではなくて、別に指示は取って、取る方法も一般的にはあるんです。で、
2:29:54	元、元がどう、
2:29:57	選択肢を取るかっていうことだけですから、勘違いをされずにどうか、耐震とか構造詳しい方と、ちゃんと話をしてってということでよろしくをお願いします。で、
2:30:11	ちなみに言うと以前、現場に見に行った時に、

2:30:17	その元に原則立つと、そうならないサポートとかも、見えてますから、ちゃんと実情をちょっとみんなに聞いてですね、認識を持ってもらう。
2:30:27	思いますので、よろしくお願いします。
2:30:31	はい。日本原燃清水です。はい。耐震のメンバーとも話をして、原燃としての考え方をお示しできるようにしたいと思っています。
2:30:42	清長シミズです。他、全体を通して規制庁だったら確認ございますでしょうか。
2:30:52	藤原燃側もよろしいでしょうか。
2:30:57	はい、日本原課では特にございません。
2:31:00	はい。
2:31:00	それではこれで今日はヒアリングは終了したいと思います。録音を停止し、